

事業年報

Activity Report 2014 (No.32)

.....
平成26年度版
.....

通巻 第32号

公益財団法人 兵庫県予防医学協会
Hyogo Health Service Association

綱 領

1. 国民の健康保持増進のため、予防医学事業の進展に務めることを目的とし、広く社会に貢献します。
2. 常に新しい医学の研究に取り組み、技術の向上を怠らず、正確に迅速な健診検査業務を行うとともに、保健知識の普及に努めます。
3. 確固とした自主独立の精神を堅持し、質実を心掛け、謙讓の気持ちを忘れず、協会発展のため誠実かつ積極的にその職責を全うします。

公益財団法人 兵庫県予防医学協会

はじめに

本会の事業運営につきましては、日ごろより格別なるご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

健診・検査を取り巻く環境の変化としましては、平成26年6月の労働安全衛生関連法の改正により、特殊健診を必要とする特定化学物質が追加され、平成27年12月からは50人以上の事業場でのストレスチェック実施が施行されることとなりました。

特定健康診査、特定保健指導やがん検診の受診率は増加傾向にあるものの、依然として低い水準であり、受診率の更なる向上を図ることが引き続き重要です。一方、企業においては、従業員の健康を重要な経営資源ととらえ、健康増進に積極的に取り組む「健康経営」の認知度が高まりを見せており、この取り組みに対し支援をおこなうことが求められています。

このような状況下、平成26年度は御影健診センターの改修工事をおこない、検査部門の機能整備を充実させました。また、健康ライフプラザ（神戸市健康づくりセンター）は、当協会・株式会社オーグスポーツ・株式会社日立ビルシステムによる共同事業体で指定管理を受託し、三期目の管理運営を始めました。

健診事業では要介護予防を目的とした「いきいきライフドック」を新たに開始し、生活習慣病の予防はもちろん、幼児期から高齢期まで継続した健康管理の支援に取り組み始めました。

市民・県民の健康保持増進のために、健診・検査の精度向上および予防医学事業の進展に努め、広く社会に貢献するという公益財団法人としての使命を果たすため、更なる努力を続けてまいります。

このたび、平成26年度の事業活動内容を取りまとめ、「事業年報」を発刊いたしました。ご高覧の上ご活用いただきますとともに、尚一層のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

平成27年5月

公益財団法人 兵庫県予防医学協会
会 長 南 部 征 喜

公益財団法人 兵庫県予防医学協会 事業年報

平成26年度版 第32号

目 次

綱 領

はじめに

I 疾病予防に関する知識の普及・啓発活動

1. 広報・情報提供事業 3
 - (1) 機関誌「あすの健康」の発行 3
 - (2) ホームページでの情報提供事業等 3
2. 講演会開催、講師派遣、普及・啓発活動 4
 - (1) 講演会の開催 4
 - (2) 講師派遣（産業医としての指導も含む） 6
 - (3) 普及・啓発活動 6

II 疾病予防のための健康診断及び検査事業

1. 地域保健 9
 - (1) 特定健康診査・神戸市健康診査 9
 - (2) 特定健康診査（その他自治体） 13
 - (3) 胃がん検診 14
 - (4) 乳がん検診 16
 - (5) 子宮頸がん検診（指定医療機関分） 17
 - (6) 肺がん検診 19
 - (7) 大腸がん検診 23
 - (8) 前立腺がん検診 24
 - (9) 結核健診 25
 - (10) 肝炎検査 26
 - (11) エイズ（HIV/AIDS）及びクラミジア・梅毒検査 28
 - (12) 骨粗鬆症検診（骨量検査） 30

2. 学校保健 31
 - (1) 心臓検診 31
 - (2) 脊柱変形学校検診 33
 - (3) 腎臓・糖尿病検診 36
 - (4) 結核検診（胸部X線） 38
 - (5) ぎょう虫卵検査 39
3. 産業保健 40
 - (1) 労働安全衛生法・じん肺法に基づく健康診断 40
 - (2) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診 41
 - (3) 労災保険二次健康診断 42
4. がん検診（産業保健巡回健診、施設健診） 43
 - (1) 胃がん検診 43
 - (2) 肺がん検診 45
 - (3) 大腸がん検診 47
5. 人間ドック 49
6. 保健指導 53
 - (1) 特定保健指導事業 53
 - (2) 健康相談事業 54
7. 細胞診 57
 - (1) 子宮がん細胞診 57
 - (2) 喀痰細胞診 59
8. 腸内細菌検査 61
9. 環境測定 62
10. 食品検査 63
11. 水質検査 64
12. 水道施設検査 65

Ⅲ 予防医学に関する調査研究事業

調査・研究	69
1. 論文発表（総説論文、原著論文等）	69
2. 学会報告等	69

Ⅳ 健康支援のための健康増進事業及び健康教育事業

1. 健康づくり事業	73
（1）健康学習	73
（2）健康づくり教室	75
2. 健康づくり支援事業	79
（1）講師派遣等	79

Ⅴ 沿革・概要

1. 沿革	85
2. 施設概要	90
3. 組織図	91
4. 名簿	92
（1）役員名簿	92
（2）評議員名簿	93
（3）顧問・名誉会長名簿	94
5. 有資格者一覧	95

I 疾病予防に関する知識の 普及・啓発活動

1. 広報・情報提供事業

(1) 機関誌「あすの健康」の発行

昭和48年7月から、予防医学知識の普及・啓発や健康づくり情報を広く提供することを目的として発行しており、現在は年4回発行、県内の学校（小、中、高、大）、県内医師会、関連事業所、行政、関係機関などに配布し

ている。

誌面は、「からだの話」「エッセイ」「赤ちゃんの四季」「ひょうご・小さな旅」「歴史を歩く」「トピックス」「協会情報」欄から構成されている。

	94号 平成26年6月	95号 平成26年9月	96号 平成26年12月	97号 平成27年3月
からだの話	早期胃・大腸がんの内視鏡治療	ロコモティブシンドローム	皮膚がん	健康づくりの展望
エッセイ	新聞は私の「宝」	医院雑感	かみしめる	予防医学
赤ちゃんの四季	日本の子どもの貧困率は先進35カ国のうち9番目の高さ	スマホとこどもたち	子どもの健康を脅かす食の環境トランス脂肪酸とマーケティング	野放しの「電子たばこ」
ひょうご・小さな旅	養蚕住宅のまち	塩屋の洋館とジェームス山周辺	玄武洞－山陰海岸ジオパーク	太山寺周辺
歴史を歩く	官兵衛・村重と伊丹	布引の滝と清盛・重盛	最明寺滝と木接太夫	六甲山系の天狗岩
協会情報	保健指導技術の向上を目指して－指導者の自己評価と指導効果の関連について－	高齢者の健康へ向けた新たな健診システム『いきいきライフドック－あたまと体の健康づくり』がめざすもの	－	－

(2) ホームページでの情報提供事業等

従来と同じく、機関誌「あすの健康」の掲載内容やセミナー、フォーラムの参加者募集の案内を掲載するなど、予防医学の普及・啓発をおこなった。新たに臨床研究の告知についてなど、情報公開ページの項目を追加し、トップページに電話での問い合わせバナーを配置するなど、昨年度のリニューアル後も追加修正を加えながらよ

り利用しやすいものに改善している。

また、4月より放送を開始した「頭にいいラジオ」（ラジオ関西）のバナーもトップページに配置し、神戸新聞電子版を通して放送内容をいつでも聴いていただけるようにしている。

2. 講演会開催、講師派遣、普及・啓発活動

(1) 講演会の開催

i. 予防医学フォーラム

昭和61年の予防医学事業推進神戸大会からさまざまなテーマで開催し、今回で29回目を迎えた。平成25年度は、神戸新聞松方ホールにおいて平成26年11月8日に開催した。

国立長寿医療研究センターもの忘れセンター長 櫻井

孝氏から「認知症は予防できるかーもの忘れ、軽度認知障害のとりえ方」と題し、ご講演いただいた。

講演後は、聞き手に元神戸新聞論説委員 古山桂子氏との対談がおこなわれ、認知症の発症をゼロにするのではなく、発症を遅らせるためにはどうするかについて話し合われた。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第29回 11月8日	認知症は予防できるか ーもの忘れ、軽度認知障害のとりえ方ー 【要旨】 認知症とは、脳の器質的な障害やうつ病などは認められないが、記憶力や判断能力、会話能力などの認知機能が低下し、社会生活に支障をきたした状態。軽度認知障害（MCI）は、認知機能の低下はあるが日常生活に支障はない状態をいう。 心配なもの忘れは、「経験そのものを忘れる」「ヒントがあっても思いださない」「徐々に進行する」「自覚がなく、忘れても気にしない」など。 認知症の促進因子として、生活習慣病があげられる。防御因子はバランスの良い食生活。中年期はメタボリック症候群予防を、高齢期は低栄養に注意を。定期的な運動は予防に有効だけでなく、認知症の進行を抑える効果もある。	国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長 櫻井 孝 氏	640

ii. いきいきライフセミナー

毎年9月のがん征圧月間にちなみがんの話や、さまざまな健康をテーマに「いきいきライフセミナー」を開催している。今年度は、平成26年9月13日に神戸新聞松方ホールにおいて開催した。

「睡眠の話ーすこやかに生きるために」と題し、大分

大学医学部公衆衛生・疫学講座教授 兼板佳孝氏にご講演いただいた。

講演後、元神戸新聞論説委員 古山桂子氏との対談では、健康づくりのための睡眠指針2014についてのお話があり、続いて座ったままできる健康表現体操があった。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第27回 9月13日	睡眠の話 ーすこやかに生きるためにー 【要旨】 不眠症には、夜寝つけない「入眠障害」、夜中に目が覚める「夜間覚醒」、朝早くに目が覚める「早朝覚醒」の3症状がある。現在、日本人の5人に1人にこのような症状があり、不眠とされている。 不眠になると、うつ病や高血糖、肥満の発生リスクが高くなるほか、心血管のリスクも高くなると言われている。睡眠に問題があれば放置せずに、受診していただきたい。 「眠れなくて日常生活に悪影響が出るくらいなら、医師の指示に従って薬を使ってもいい。しかし、お酒に頼るのはよくない。私自身は、すぐに薬を出すより、運動や起床時間など生活習慣を見直すことを最初に勧めている。」と話された。	大分大学医学部 公衆衛生・疫学講座教授 兼板 佳孝 氏	605

iii. がんをよく知るための講座

日本人の死亡率のトップを占める“がん”についての知識を深めるために、専門分野の医師による講座を開催

している。

今年度は健康ライフプラザ5階多目的室において2回開催した。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第41回 8月21日	皮膚がんの話 【要旨】 皮膚がんは内臓などのがん違って目に見える。早期に発見できれば治療もしやすい。比較的短期間に大きさや形が変わるシミやほくろ、いつまでも治らない傷などは皮膚がんの可能性もある。 悪性黒色腫（メラノーマ）は悪性度が高く、放置すると他の部位に転移する危険性が高い。最初はシミのような見た目で色や形、境界が不均一なことが多い。それがアメラバのように徐々に拡大していくのが特徴。大きくなるとともに、立体的に盛り上がってくることもある。30歳以降に新たにできたほくろは要注意。 ただし、皮膚の異常は見分けるのが難しいので、少しでも気になる場合は皮膚科を受診すること。	神戸大学大学院 医学研究科 内科系講座 皮膚科学分野 教授 錦織千佳子 氏	77
第42回 2月19日	肺がんの予防と早期発見とは？ 【要旨】 肺がんはがんの中で最も亡くなる人が多いがんである。肺は血液の流れが非常に多く、がん細胞が血管の中に入り込み、転移しやすいため予後や死亡率が悪いと考えられる。早期発見のために検診が重要。厚生労働省は40歳以上の人に年に1回胸部X線検査を、50歳以上で喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が600以上の人には喀痰細胞診検査を受けるように指針を示している。 肺がんの最大の原因はたばこで、男性の場合、喫煙者は非喫煙者の4.5倍、女性は4.2倍危険率が高いとされる。予防にはたばこをやめることが最も重要。禁煙を10年続ければ、危険性は非喫煙者に近いくらいに下がる。	神戸市立医療センター 中央市民病院 呼吸器内科 部長 富井 啓介 氏	88

iv. 働く人の健康管理研修会

「働く人の健康管理研修会」は、県下の各種団体や事業所・健康保険組合に勤務する衛生管理者、健康診断担当者や医療従事者に、産業保健分野に関する新しい情報や時事の話題をタイムリーに提供するとともに、参加者

相互の情報交換や交流の場として活用ができる機会となることを目的に、定期的に年2回開催している。

平成26年度はその対象を地域にも広げ、市民への健康管理啓発の一環としての役割も担った。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
第44回 9月30日	①働く人のアンチエイジング 究極の脳卒中予防法とは？ 【要旨】 脳卒中は脳の血管が切れて起こる「脳出血」、血管にできた動脈瘤が破れて起こる「くも膜下出血」、そして血管が詰まることで起こる「脳梗塞（こうそく）」の3つの病気に分類され、ひとたび発症すると後遺症のために生活が著しく損なわれてしまう可能性がある。 脳卒中は突然雷に当たるような運の悪い病気と思われがちだが、実はほとんどのケースで予防が可能である。「脳卒中にならないための5か条」を中心に予防法について具体的にご講演いただいた。 ②頭にいい体操	①兵庫医科大学 脳神経外科学講座 主任教授 吉村 紳一 氏 ②公益財団法人 兵庫県予防医学協会 保健師 長澤 明子 氏	81
第45回 1月23日	①働く人のアンチエイジング 糖尿病と認知症（アルツハイマー病） －予防への新たなアプローチ－ 【要旨】 日本では65歳以上の高齢者の約15%が認知症をかかえていると推定されており、認知症対策が喫緊の課題となっている。認知症の約6割を占めるアルツハイマー病は、今まで予防方法のない病気と認識されてきたが、近年の研究で、糖尿病がアルツハイマー病の発症に関わっていることが明らかになってきた。 最新の知見を踏まえ、糖尿病に着目した予防へのアプローチについてご講演いただいた。 ②頭にいい体操（続編）	①大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学講座 准教授 里 直行 氏 ②公益財団法人 兵庫県予防医学協会 保健師 猪又 麻子 氏	55

(2) 講師派遣（産業医としての指導も含む）

実施日	対 象	テ ー マ	講 師
6月19日	株式会社ノーリツ 明石工場	健診結果の読み方	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
10月31日	神戸交通振興株式会社	頭痛・肩こり	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
12月17日	神戸交通振興株式会社	睡眠時無呼吸症候群	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
3月6日	一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社	ストレスチェックの概要	健診センター副センター長 中 谷 利 夫
3月23日	神戸交通振興株式会社	ストレスチェックの概要	健診センター副センター長 中 谷 利 夫

(3) 普及・啓発活動

結核、乳がんの早期発見や知識の普及啓発を目的に、自治体や各種団体が主催するキャンペーン事業に協力し、胸部X線検診車や乳がん検診車を配車するなど、市街地で結核検診、乳がん検診の集団検診を実施した。

結核検診受診者は、こうべ福祉・健康フェアで101名、結核ハイリスク者に対する早期発見および蔓延防止のための啓発活動で1,533名であった。

乳がん検診受診者は、母の日乳がん検診街頭キャンペーンで29名、ピンクリボンフェスティバル神戸大会で80名であった。

ピンクリボンフェスティバル神戸大会では神戸推進委員会の一員として、企画運営に参加し、街頭キャンペーンやシンポジウムへの協力、スマイルウォーク参加者へ

の乳がん検診実施など多方面で啓発活動をおこなった。

また、健康診査、がん検診の啓発を目的に、神戸市立中央図書館でおこなわれたイベント「“けんしん”で早期発見・早期治療」の大腸がんクイズラリーに協力し、198名の参加者に大腸がん検診の重要性の啓発をおこなった。

その他、4月より要介護予防事業の一環として、ラジオ関西、神戸新聞社と連携し、認知症の予防啓発や高齢者の健康な生活の提案を目的に、「頭にいいラジオ」の放送を開始した。放送内容は、日替わりで、脳トレーニング、食生活、回想、コミュニケーション、運動などを放送し、その内容は神戸新聞電子版でも聴けるようになっている。

Ⅱ 疾病予防のための健康診断 及び検査事業

1. 地域保健

(1) 特定健康診査・神戸市健康診査

特定健康診査を神戸市国民健康保険などから受託し各区拠点会場において実施した。同時に神戸市独自の若年者（30、35～39歳）・後期高齢者などの神戸市健康診査も受託し実施した。検査項目、実施回数、受診者数は以下のとおりである。

基本項目：身長・体重・BMI・腹囲測定・尿検査・血圧測定・血液検査（肝機能、脂質、血糖）・診察（問診）
 詳細検査：貧血検査・心電図検査・眼底検査
 希望検査：骨粗鬆症検診、前立腺がん検診（PSA検査）
 追加検査：結核健診

表1 特定健康診査・神戸市健康診査受診状況

年度	実施回数	実施人数	性別	受診者数						
				特定健康診査		神戸市健康診査			骨粗鬆症検診	前立腺がん検診
				神戸市国保	市国保以外	若年者	生活保護受給者等	後期高齢者		
平成24年度	394	49,365	男	16,659	66	1,139	88	1,703	2,721	9,756
			女	23,321	1,155	3,500	157	1,577	11,125	
			計	39,980	1,221	4,639	245	3,280	13,846	9,756
平成25年度	406	51,844	男	16,875	160	947	101	1,965	2,670	10,108
			女	23,169	3,536	3,071	141	1,879	11,703	
			計	40,044	3,696	4,018	242	3,844	14,373	10,108
平成26年度	410	54,746	男	17,289	207	988	101	2,376	2,647	10,555
			女	23,200	4,957	3,121	144	2,363	12,210	
			計	40,489	5,164	4,109	245	4,739	14,857	10,555

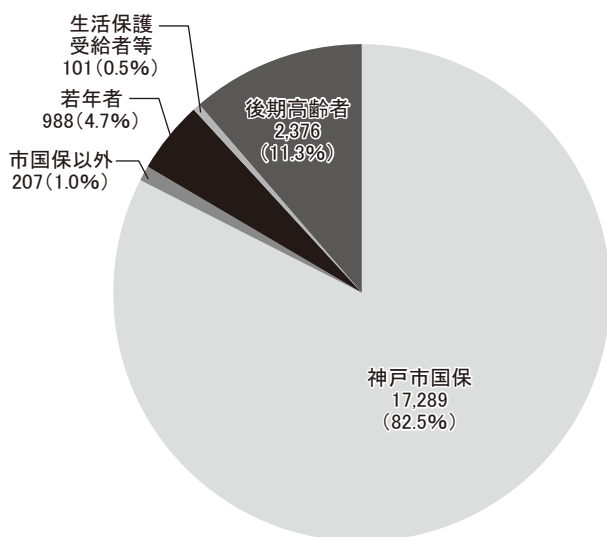


図1 特定健診・神戸市健康診査受診割合（男）

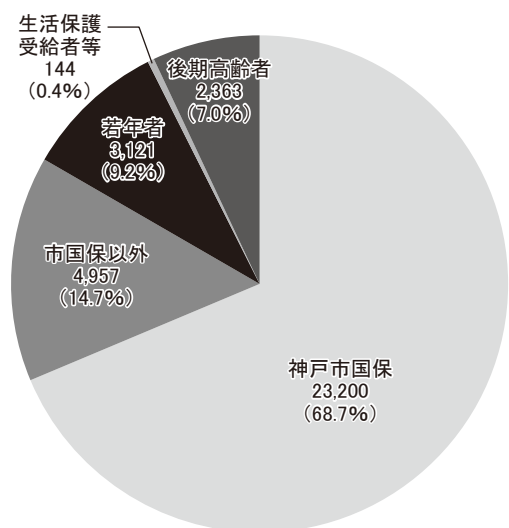


図2 特定健診・神戸市健康診査受診割合（女）

表2 特定健診（神戸市国保）受診結果

年度	実施人数	性別	受診者数	総合判定				有所見率 (%)
				異常なし	要注意	要医療	医療中	
平成24年度	38,481	男	16,122	421	3,479	6,570	5,652	75.8
		女	22,359	1,508	5,139	9,132	6,580	70.3
		計	38,481	1,929	8,618	15,702	12,232	72.6
平成25年度	40,044	男	16,875	448	3,449	6,794	6,184	76.9
		女	23,169	1,624	4,947	9,607	6,991	71.6
		計	40,044	2,072	8,396	16,401	13,175	73.9
平成26年度	40,489	男	17,289	508	3,442	6,910	6,429	77.2
		女	23,200	1,382	5,116	9,771	6,931	72.0
		計	40,489	1,890	8,558	16,681	13,360	74.2

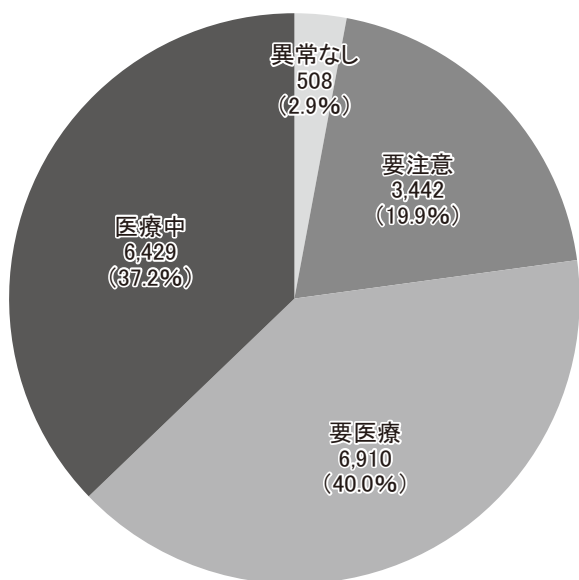


図3 特定健診（神戸市国保）受診結果（男）

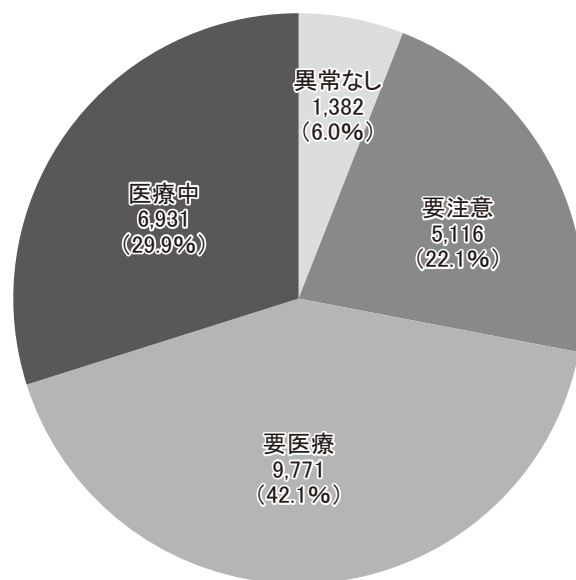


図4 特定健診（神戸市国保）受診結果（女）

表3 神戸市健康診査受診結果

種 別	年 度	実施人数	性別	受診者数	総合判定				有所見率 (%)
					異常なし	要注意	要医療	医療中	
若年者	平成24年度	4,639	男	1,139	179	526	421	13	38.1
			女	3,500	1,765	1,124	598	13	17.5
			計	4,639	1,944	1,650	1,019	26	22.5
	平成25年度	4,018	男	947	160	398	374	15	41.1
			女	3,071	1,554	971	533	13	17.8
			計	4,018	1,714	1,369	907	28	23.3
	平成26年度	4,109	男	988	171	391	405	21	43.1
			女	3,121	1,469	1,042	586	24	19.5
			計	4,109	1,640	1,433	991	45	25.2
生活保護 受給者等	平成24年度	245	男	88	4	25	32	27	67.0
			女	157	28	47	48	34	52.2
			計	245	32	72	80	61	57.6
	平成25年度	242	男	101	1	25	43	32	74.3
			女	141	29	36	47	29	53.9
			計	242	30	61	90	61	62.4
	平成26年度	245	男	101	6	21	39	35	73.3
			女	144	18	57	48	21	47.9
			計	245	24	78	87	56	58.4
後期高齢者	平成24年度	3,280	男	1,703	41	404	554	704	73.9
			女	1,577	29	294	597	657	79.5
			計	3,280	70	698	1,151	1,361	76.6
	平成25年度	3,844	男	1,965	38	409	656	862	77.3
			女	1,879	39	365	657	818	78.5
			計	3,844	77	774	1,313	1,680	77.9
	平成26年度	4,739	男	2,376	31	511	757	1,077	77.2
			女	2,363	47	451	885	980	78.9
			計	4,739	78	962	1,642	2,057	78.1

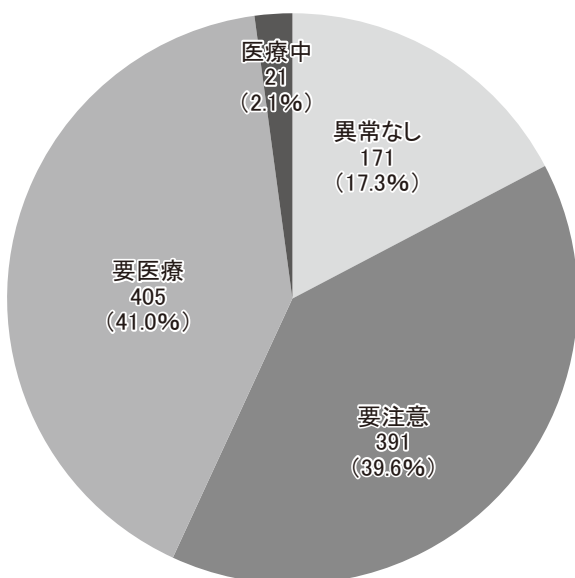


図5 若年者受診結果 (男)

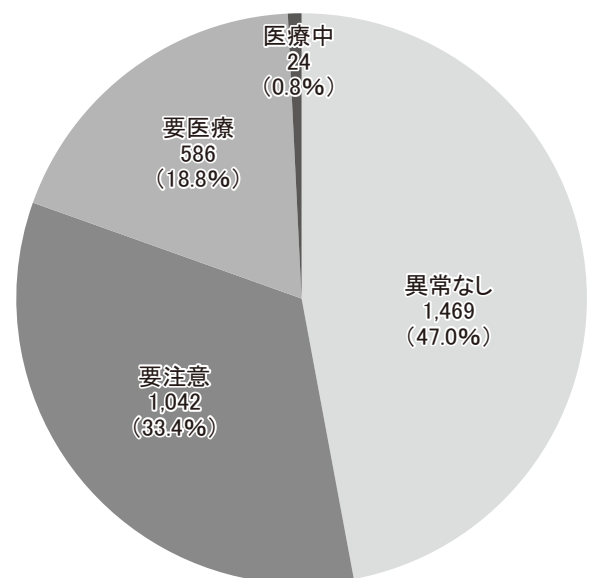


図6 若年者受診結果 (女)

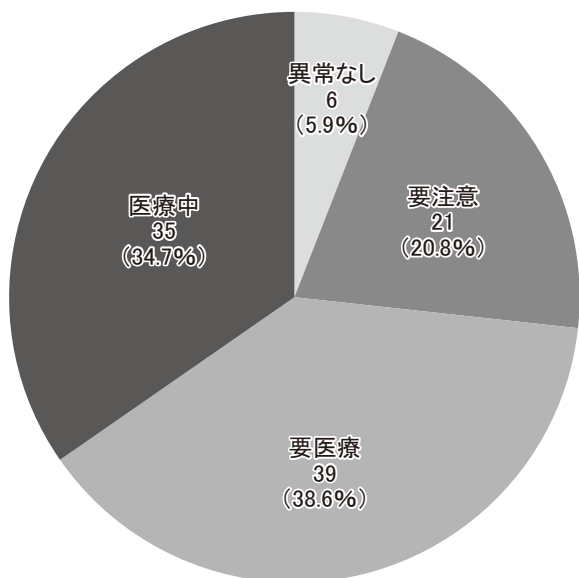


図7 生活保護受給者等受診結果（男）

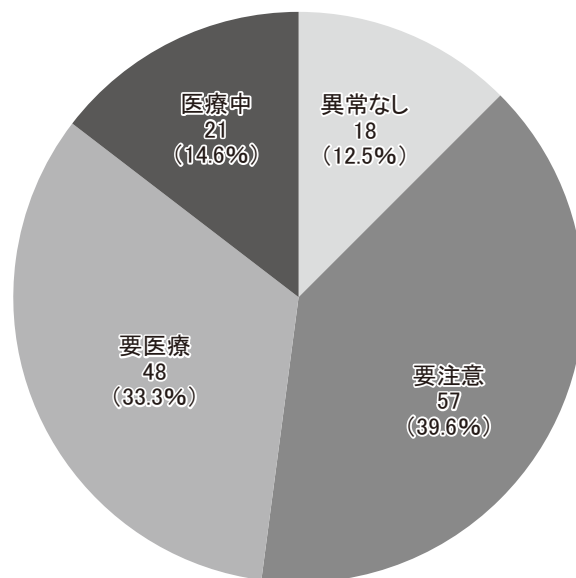


図8 生活保護受給者等受診結果（女）

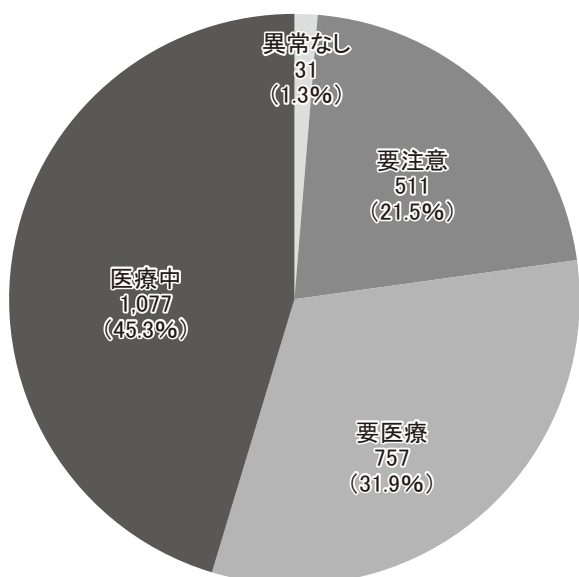


図9 後期高齢者受診結果（男）

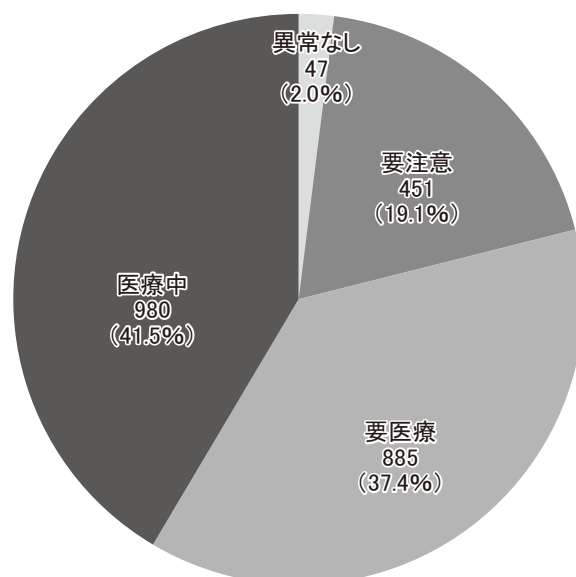


図10 後期高齢者受診結果（女）

(2) 特定健康診査（その他自治体）

表1 特定健康診査受診結果（その他自治体）

年齢階級	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
40～44	男	83	47	56.6	70	35	50.0	60	35	58.3
	女	125	33	26.4	119	28	23.5	110	22	20.0
	計	208	80	38.5	189	63	33.3	170	57	33.5
45～49	男	71	27	38.0	73	36	49.3	82	53	64.6
	女	105	25	23.8	103	29	28.2	99	21	21.2
	計	176	52	29.5	176	65	36.9	181	74	40.9
50～54	男	57	41	71.9	71	47	66.2	52	32	61.5
	女	115	47	40.9	127	61	48.0	120	54	45.0
	計	172	88	51.2	198	108	54.5	172	86	50.0
55～59	男	64	45	70.3	84	61	72.6	60	42	70.0
	女	145	87	60.0	159	97	61.0	146	83	56.8
	計	209	132	63.2	243	158	65.0	206	125	60.7
60～64	男	187	154	82.4	152	116	76.3	128	102	79.7
	女	354	239	67.5	301	199	66.1	253	168	66.4
	計	541	393	72.6	453	315	69.5	381	270	70.9
65～69	男	225	181	80.4	271	221	81.5	292	237	81.2
	女	329	227	69.0	387	265	68.5	427	304	71.2
	計	554	408	73.6	658	486	73.9	719	541	75.2
70～74	男	125	101	80.8	154	120	77.9	185	142	76.8
	女	180	128	71.1	190	141	74.2	228	161	70.6
	計	305	229	75.1	344	261	75.9	413	303	73.4
合 計	男	812	596	73.4	875	636	72.7	859	643	74.9
	女	1,353	786	58.1	1,386	820	59.2	1,383	813	58.8
	計	2,165	1,382	63.8	2,261	1,456	64.4	2,242	1,456	64.9

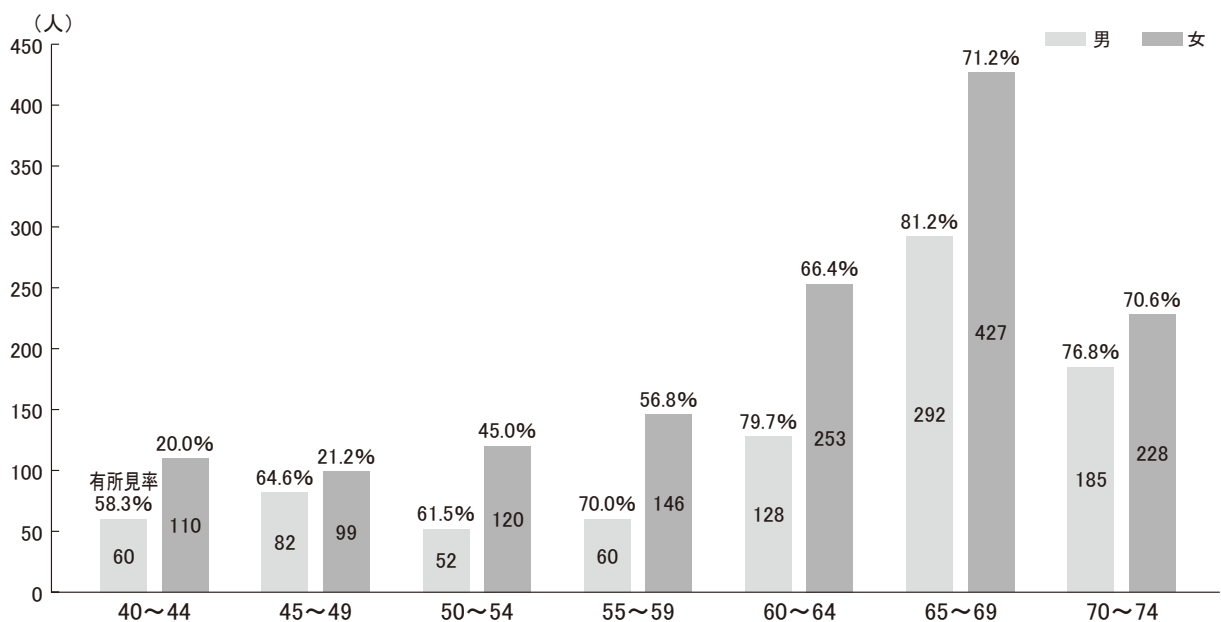


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

(3) 胃がん検診（神戸市・伊丹市）

地域胃がん検診は、神戸市、伊丹市より委託され地域住民を対象に実施している。神戸市は撮影を当協会、読影は神戸市医師会（一部当協会）、追跡管理は当協会でおこなっている。伊丹市は撮影、読影は当協会が、追跡

管理は伊丹市でおこなっている。受診勧奨を積極的におこない、休日にも検診を実施するなど、受診を促す環境の整備をすることにより受診率向上を図っている。

表1 胃部X線検査（神戸市）

年齢階級	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
40～44	男	805	31	3.9	795	17	2.1	909	27	3.0
	女	2,243	105	4.7	2,187	67	3.1	2,297	96	4.2
	計	3,048	136	4.5	2,982	84	2.8	3,206	123	3.8
45～49	男	381	21	5.5	408	18	4.4	481	25	5.2
	女	655	27	4.1	743	38	5.1	867	20	2.3
	計	1,036	48	4.6	1,151	56	4.9	1,348	45	3.3
50～54	男	324	23	7.1	342	23	6.7	412	26	6.3
	女	668	32	4.8	625	22	3.5	800	31	3.9
	計	992	55	5.5	967	45	4.7	1,212	57	4.7
55～59	男	382	33	8.6	376	18	4.8	437	34	7.8
	女	818	52	6.4	730	31	4.2	880	47	5.3
	計	1,200	85	7.1	1,106	49	4.4	1,317	81	6.2
60～64	男	1,044	64	6.1	903	71	7.9	957	78	8.2
	女	1,798	106	5.9	1,562	79	5.1	1,676	112	6.7
	計	2,842	170	6.0	2,465	150	6.1	2,633	190	7.2
65～69	男	1,956	174	8.9	2,031	144	7.1	2,109	184	8.7
	女	2,157	121	5.6	2,214	127	5.7	2,320	163	7.0
	計	4,113	295	7.2	4,245	271	6.4	4,429	347	7.8
70～74	男	2,366	203	8.6	2,448	189	7.7	2,621	235	9.0
	女	2,209	136	6.2	2,182	132	6.0	2,200	160	7.3
	計	4,575	339	7.4	4,630	321	6.9	4,821	395	8.2
75歳以上	男	1,806	173	9.6	1,726	155	9.0	1,858	163	8.8
	女	1,344	79	5.9	1,308	72	5.5	1,387	102	7.4
	計	3,150	252	8.0	3,034	227	7.5	3,245	265	8.2
合 計	男	9,064	722	8.0	9,029	635	7.0	9,784	772	7.9
	女	11,892	658	5.5	11,551	568	4.9	12,427	731	5.9
計		20,956	1,380	6.6	20,580	1,203	5.8	22,211	1,503	6.8

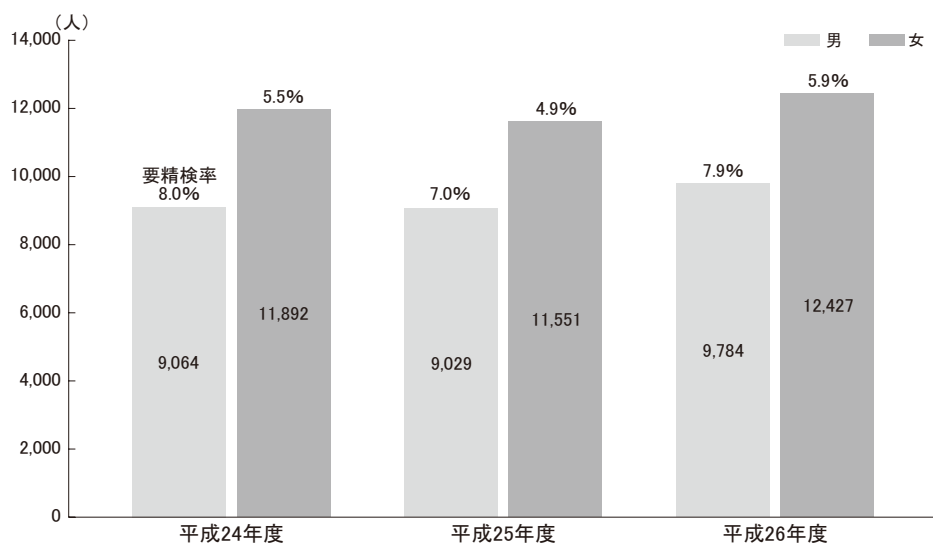


図1 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（神戸市）

表2 胃部X線検査（伊丹市）

年齢階級	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	44	1	2.3	0	0	—	0	0	—
	女	118	1	0.8	0	0	—	0	0	—
	計	162	2	1.2	0	0	—	0	0	—
40～44	男	41	2	4.9	48	1	2.1	53	2	3.8
	女	91	1	1.1	113	4	3.5	109	3	2.8
	計	132	3	2.3	161	5	3.1	162	5	3.1
45～49	男	34	2	5.9	51	5	9.8	39	1	2.6
	女	83	4	4.8	104	2	1.9	93	5	5.4
	計	117	6	5.1	155	7	4.5	132	6	4.5
50～54	男	38	3	7.9	34	0	0	39	0	0
	女	71	3	4.2	85	5	5.9	77	2	2.6
	計	109	6	5.5	119	5	4.2	116	2	1.7
55～59	男	87	6	6.9	39	2	5.1	36	1	2.8
	女	209	12	5.7	89	4	4.5	88	3	3.4
	計	296	18	6.1	128	6	4.7	124	4	3.2
60～64	男	250	18	7.2	80	6	7.5	71	10	14.1
	女	242	8	3.3	176	6	3.4	152	14	9.2
	計	492	26	5.3	256	12	4.7	223	24	10.8
65～69	男	208	20	9.6	244	34	13.9	231	21	9.1
	女	226	8	3.5	255	14	5.5	271	24	8.9
	計	434	28	6.5	499	48	9.6	502	45	9.0
70～74	男	170	15	8.8	259	16	6.2	226	25	11.1
	女	122	8	6.6	229	15	6.6	230	27	11.7
	計	292	23	7.9	488	31	6.4	456	52	11.4
75歳以上	男	70	5	7.1	233	24	10.3	234	29	12.4
	女	38	3	7.9	166	7	4.2	153	17	11.1
	計	108	8	7.4	399	31	7.8	387	46	11.9
合 計	男	942	72	7.6	988	88	8.9	929	89	9.6
	女	1,200	48	4.0	1,217	57	4.7	1,173	95	8.1
	計	2,142	120	5.6	2,205	145	6.6	2,102	184	8.8

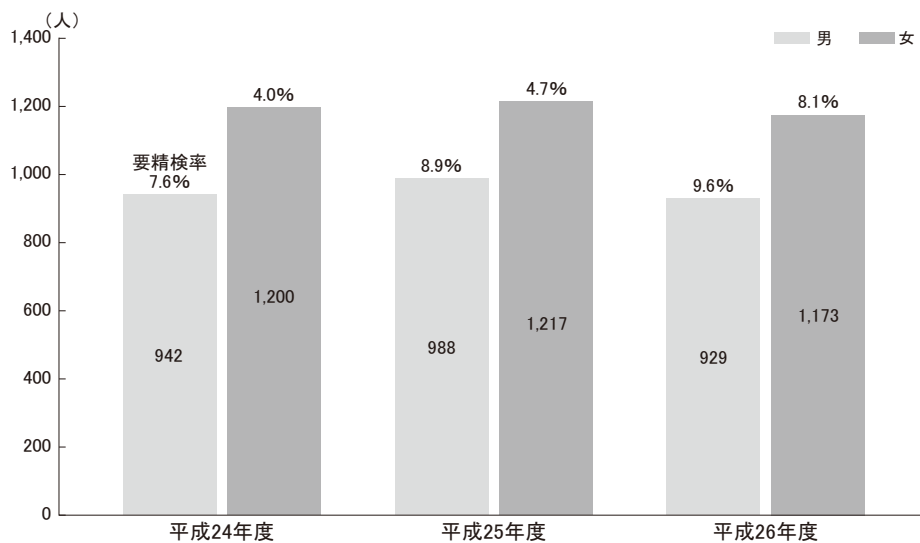


図2 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（伊丹市）

(4) 乳がん検診（神戸市・伊丹市・芦屋市）

近年、乳がんの罹患率・死亡数の増加が注目され、地方自治体からの巡回検診の依頼や受診者数は増加している。これらに対応するため、検診車の効率的稼働と優良

施設認定機関として精度管理など検診体制の充実を図っている。

表1 乳がん検診（神戸市）

年齢階級	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
40～44	995	62	6.2	843	47	5.6	1,230	100	8.1
45～49	659	51	7.7	628	46	7.3	1,174	102	8.7
50～54	1,077	52	4.8	895	46	5.1	1,083	105	9.7
55～59	744	44	5.9	579	28	4.8	1,060	83	7.8
60～64	1,661	78	4.7	1,463	84	5.7	1,566	118	7.5
65～69	952	60	6.3	1,047	66	6.3	1,519	117	7.7
70歳以上	1,542	69	4.5	1,923	102	5.3	1,226	96	7.8
計	7,630	416	5.5	7,378	419	5.7	8,858	721	8.1

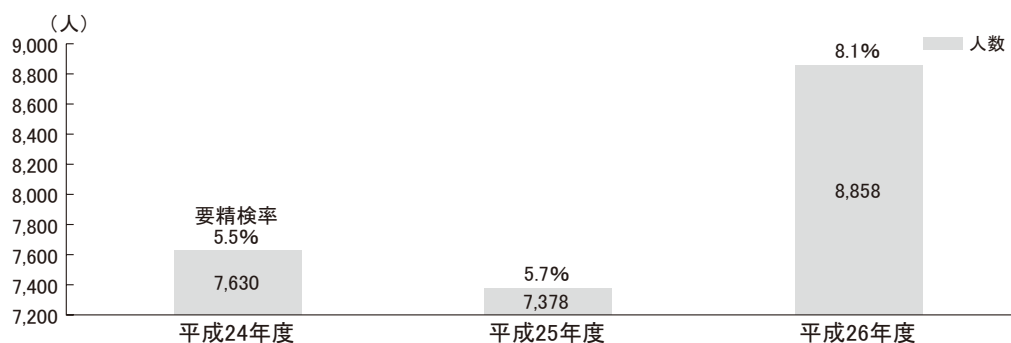


図1 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（神戸市）

表2 乳がん検診（伊丹市）

年齢階級	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
35～39	0	0	—	0	0	—	0	0	—
40～44	272	14	5.2	284	15	5.3	296	16	5.4
45～49	190	12	6.3	204	16	7.8	250	20	8.0
50～54	145	9	6.2	140	7	5.0	183	20	10.9
55～59	97	4	4.1	108	8	7.4	135	16	11.9
60～64	157	11	7.0	136	4	2.9	107	3	2.8
65～69	43	2	4.7	43	2	4.7	40	2	5.0
70歳以上	35	0	0	24	2	8.3	41	3	7.3
計	939	52	5.5	939	54	5.8	1,052	80	7.6

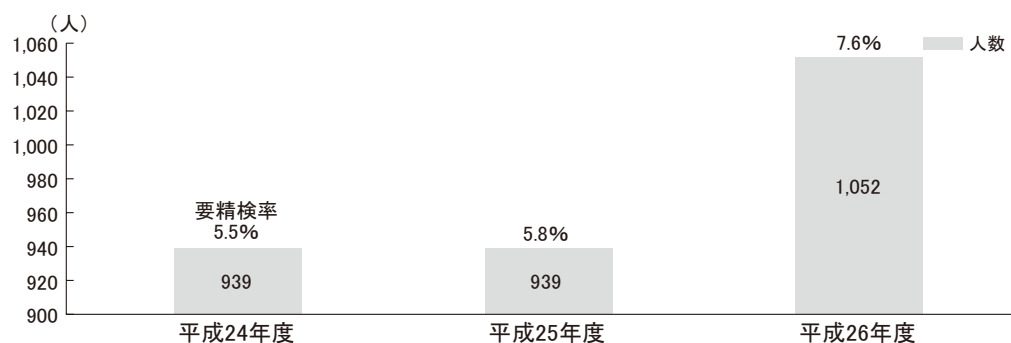


図2 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（伊丹市）

表3 乳がん検診（芦屋市）

年齢階級	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)
40～44	97	9	9.3	127	7	5.5	130	10	7.7
45～49	75	6	8.0	92	4	4.3	83	7	8.4
50～54	79	7	8.9	71	11	15.5	92	8	8.7
55～59	79	1	1.3	93	6	6.5	99	10	10.1
60～64	131	5	3.8	139	5	3.6	88	7	8.0
65～69	84	9	10.7	87	4	4.6	95	8	8.4
70歳以上	90	1	1.1	78	7	9.0	101	8	7.9
計	635	38	6.0	687	44	6.4	688	58	8.4

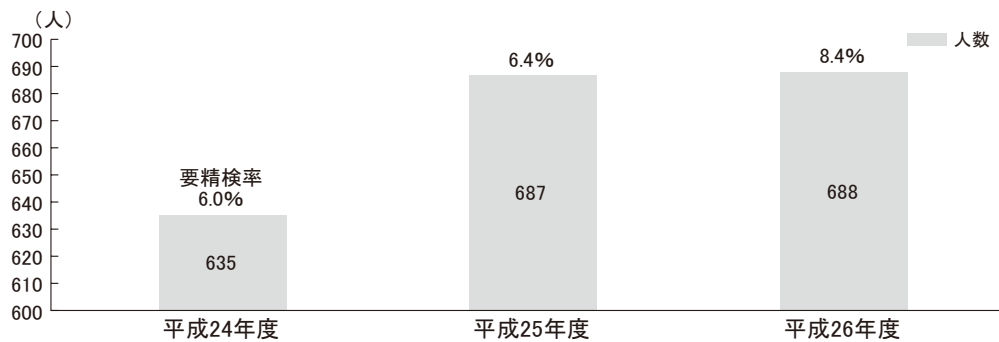


図3 乳がん検診年度別受診者数と要精検率（芦屋市）

（５）子宮頸がん検診（指定医療機関分）

神戸市の「検診・健康診査実施要項」に基づく子宮がん検診の指定医療機関として実施している。

対象者は、神戸市民の20歳以上で偶数歳となる女性（自己負担1,700円）と70歳以上の女性（無料）および国の「女性特有のがん検診推進事業」により無料クーポンの配布を受けた神戸市民に加え、三田市民の受け入れ

もおこなっている。

また、検診項目に含まれる細胞診検査については、当協会が神戸市医師会を介して検査を全面的に受託しており、受診率向上の一端を担っている。

表1 子宮頸がん検診（診察）

年齢階級	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	受診者数	有所見者数*	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	94	3	3.2	97	3	3.1	128	1	0.8
35～39	75	7	9.3	55	4	7.3	77	2	2.6
40～44	547	22	4.0	453	29	6.4	371	21	5.7
45～49	124	13	10.5	130	9	6.9	107	13	12.1
50～54	132	6	4.5	108	5	4.6	117	5	4.3
55～59	103	1	1.0	88	2	2.3	74	4	5.4
60～64	143	2	1.4	93	4	4.3	92	3	3.3
65～69	80	2	2.5	69	1	1.4	64	2	3.1
70～74	85	2	2.4	68	2	2.9	49	0	0
75歳以上	32	0	0	22	0	0	20	0	0
計	1,415	58	4.1	1,183	59	5.0	1,099	51	4.6

※炎症性疾患、筋腫等の内診による所見

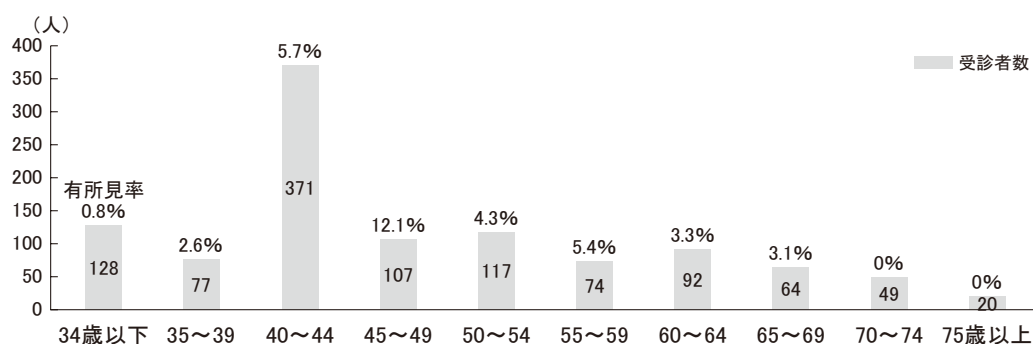


図1 子宮頸がん（診察）年齢階級別受診者数と有所見率

表2 子宮頸がん検診（細胞診）

年齢階級	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	受診者数	有所見者数*	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	有所見者数	有所見率 (%)
34歳以下	94	2	2.1	97	6	6.2	128	5	3.9
35～39	75	4	5.3	55	4	7.3	77	4	5.2
40～44	547	25	4.6	453	20	4.4	371	20	5.4
45～49	124	11	8.9	130	3	2.3	107	4	3.7
50～54	132	2	1.5	108	4	3.7	117	7	6.0
55～59	103	0	0	88	7	8.0	74	1	1.4
60～64	143	1	0.7	93	1	1.1	92	1	1.1
65～69	80	1	1.3	69	0	0	64	1	1.6
70～74	85	0	0	68	0	0	49	0	0
75歳以上	32	0	0	22	2	9.1	20	0	0
計	1,415	46	3.3	1,183	47	4.0	1,099	43	3.9

※炎症等の細胞所見を含む

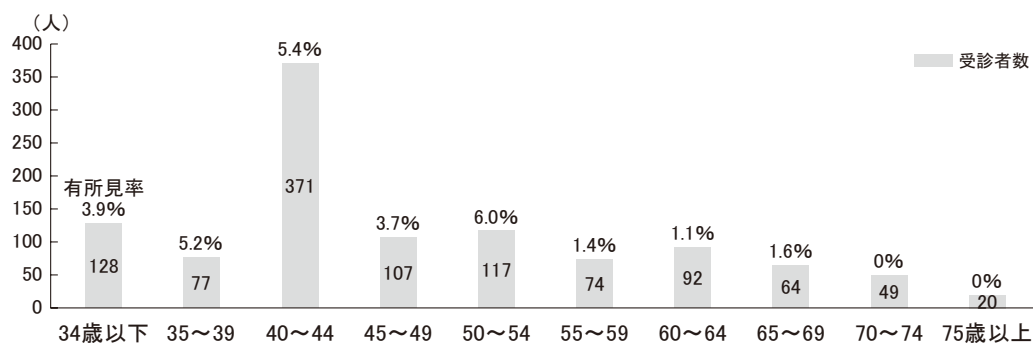


図2 子宮頸がん（細胞診）年齢階級別受診者数と有所見率

(6) 肺がん検診（神戸市・伊丹市）

主に40歳以上の住民を対象とし、胸部X線撮影と喀痰細胞診によっておこなわれている。地域（神戸市・伊丹

市）もこれに準じておこなっている。なお当協会は神戸市の肺がん検診の指定医療機関のひとつである。

表1 肺がん検診 ー胸部X線検査ー（神戸市）

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
40～44	男	16	0	0	18	0	0	7	0	0
	女	229	1	0	207	1	0.5	163	0	0
	計	245	1	0	225	0	0	170	0	0
45～49	男	2	0	0	1	0	0	3	0	0
	女	10	0	0	10	0	0	6	0	0
	計	12	0	0	11	0	0	9	0	0
50～54	男	3	0	0	6	0	0	1	0	0
	女	13	0	0	5	0	0	9	0	0
	計	16	0	0	11	0	0	10	0	0
55～59	男	4	0	0	8	0	0	1	0	0
	女	10	0	0	7	0	0	5	0	0
	計	14	0	0	15	0	0	6	0	0
60～64	男	11	0	0	9	1	11.1	2	0	0
	女	19	0	0	11	0	0	6	0	0
	計	30	0	0	20	1	5.0	8	0	0
65～69	男	20	0	0	19	1	5.3	10	1	10.0
	女	20	0	0	16	0	0	11	1	9.1
	計	40	0	0	35	0	0	21	2	9.5
70～74	男	13	0	0	6	0	0	5	0	0
	女	7	0	0	9	2	22.2	7	0	0
	計	20	0	0	15	2	13.3	12	0	0
75歳以上	男	10	1	10.0	7	0	0	4	0	0
	女	9	1	11.1	4	0	0	2	0	0
	計	19	2	10.5	11	0	0	6	0	0
合 計	男	79	1	1.3	74	2	2.7	33	1	3.0
	女	317	3	0.9	269	3	1.1	209	1	0.5
	計	396	4	1.0	343	5	1.5	242	2	0.8

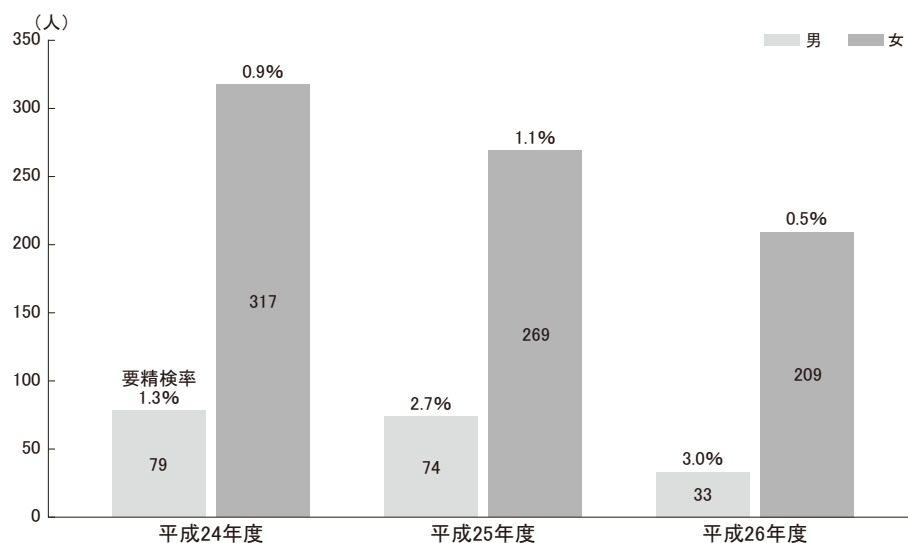


図1 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 ー胸部X線ー（神戸市）

表2 肺がん検診 一喀痰検査一（神戸市）

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
40～44	男	13	0	0	11	0	0	5	0	0
	女	95	0	0	79	0	0	69	0	0
	計	108	0	0	90	0	0	74	0	0
45～49	男	1	0	0	1	0	0	2	0	0
	女	7	0	0	6	0	0	2	0	0
	計	8	0	0	7	0	0	4	0	0
50～54	男	1	0	0	5	0	0	1	0	0
	女	7	0	0	2	0	0	7	0	0
	計	8	0	0	7	0	0	8	0	0
55～59	男	3	0	0	4	0	0	1	0	0
	女	7	0	0	4	0	0	2	0	0
	計	10	0	0	8	0	0	3	0	0
60～64	男	8	0	0	9	0	0	2	1	50.0
	女	10	0	0	4	0	0	5	1	20.0
	計	18	0	0	13	0	0	7	2	28.6
65～69	男	15	0	0	10	0	0	5	0	0
	女	10	0	0	5	0	0	7	0	0
	計	25	0	0	15	0	0	12	0	0
70～74	男	11	0	0	4	0	0	5	0	0
	女	6	0	0	6	0	0	5	0	0
	計	17	0	0	10	0	0	10	0	0
75歳以上	男	8	0	0	7	0	0	3	0	0
	女	6	0	0	3	0	0	2	0	0
	計	14	0	0	10	0	0	5	0	0
合 計	男	60	0	0	51	0	0	24	1	4.2
	女	148	0	0	109	0	0	99	1	1.0
	計	208	0	0	160	0	0	123	2	1.6

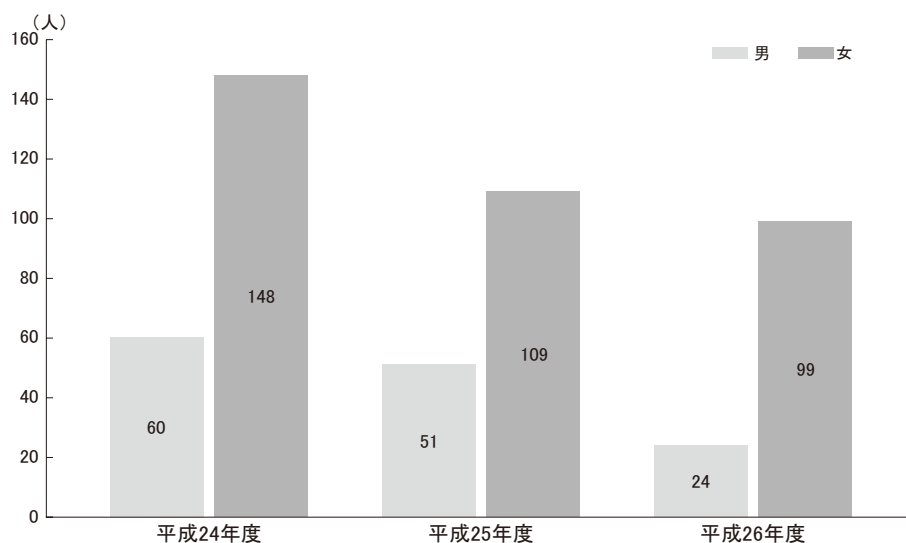


図2 肺がん検診年度別受診者数 一喀痰検査一（神戸市）

表3 肺がん検診 ―胸部X線検査― (伊丹市)

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	0	0	—	6	0	0	5	0	0
	女	0	0	—	15	0	0	8	0	0
	計	0	0	—	21	0	0	13	0	0
40～44	男	52	1	1.9	48	0	0	51	4	8.0
	女	106	3	2.8	93	1	1.1	104	2	1.9
	計	158	4	2.5	141	1	0.7	155	6	3.9
45～49	男	43	0	0	45	0	0	42	0	0
	女	95	1	1.1	104	0	0	94	0	0
	計	138	1	0.7	149	0	0	136	0	0
50～54	男	34	1	2.9	34	1	2.9	35	0	0
	女	80	0	0	80	0	0	87	2	0
	計	114	1	0.9	114	1	0.9	122	2	1.6
55～59	男	39	0	0	43	0	0	36	0	0
	女	75	3	4.0	100	2	2.0	87	1	1.2
	計	114	3	2.6	143	2	1.4	123	1	0.8
60～64	男	89	1	1.1	95	1	1.1	75	2	2.7
	女	211	4	1.9	194	8	4.1	178	4	2.3
	計	300	5	1.7	289	9	3.1	253	6	2.4
65～69	男	257	9	3.5	285	7	2.5	255	4	1.6
	女	274	6	2.2	292	9	3.1	333	8	2.4
	計	531	15	2.8	577	16	2.8	588	12	2.0
70～74	男	233	9	3.9	245	7	2.9	245	13	5.3
	女	242	3	1.2	233	3	1.3	247	5	2.0
	計	475	12	2.5	478	10	2.1	492	18	3.7
75歳以上	男	260	17	6.5	224	12	5.4	234	16	6.8
	女	170	12	7.1	164	10	6.1	162	6	3.7
	計	430	29	6.7	388	22	5.7	396	22	5.6
合 計	男	1,007	38	3.8	1,025	28	2.7	978	39	4.0
	女	1,253	32	2.6	1,275	33	2.6	1,300	28	2.2
	計	2,260	70	3.1	2,300	61	2.7	2,278	67	2.9

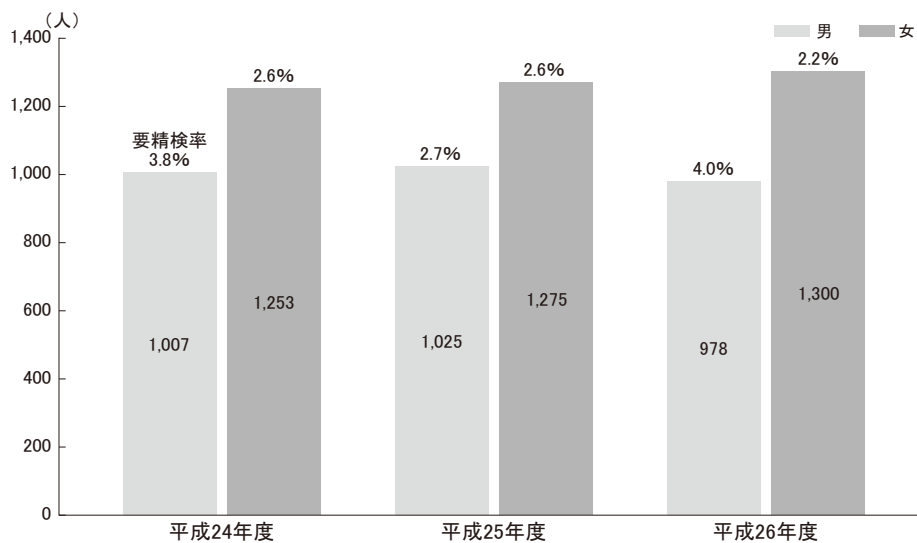


図3 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 ―胸部X線― (伊丹市)

表4 肺がん検診 一喀痰検査一（伊丹市）

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	2	0	0	2	0	0	3	0	0
	女	2	0	0	3	0	0	1	0	0
	計	4	0	0	5	0	0	4	0	0
40～44	男	12	0	0	14	0	0	11	0	0
	女	10	0	0	4	0	0	5	0	0
	計	22	0	0	18	0	0	16	0	0
45～49	男	9	0	0	12	0	0	6	0	0
	女	8	0	0	6	0	0	5	0	0
	計	17	0	0	18	0	0	11	0	0
50～54	男	11	0	0	7	0	0	10	0	0
	女	5	0	0	4	0	0	6	0	0
	計	16	0	0	11	0	0	16	0	0
55～59	男	10	0	0	10	0	0	15	0	0
	女	8	0	0	7	0	0	9	0	0
	計	18	0	0	17	0	0	24	0	0
60～64	男	33	0	0	36	0	0	19	0	0
	女	25	0	0	12	0	0	16	0	0
	計	58	0	0	48	0	0	35	0	0
65～69	男	74	0	0	73	0	0	73	1	1.4
	女	23	0	0	35	0	0	44	0	0
	計	97	0	0	108	0	0	117	1	0.9
70～74	男	73	0	0	79	0	0	65	0	0
	女	21	0	0	33	0	0	31	0	0
	計	94	0	0	112	0	0	96	0	0
75歳以上	男	62	0	0	58	0	0	60	0	0
	女	11	0	0	7	0	0	9	0	0
	計	73	0	0	65	0	0	69	0	0
合 計	男	286	0	0	291	0	0	262	1	0.4
	女	113	0	0	111	0	0	126	0	0
	計	399	0	0	402	0	0	388	1	0.3

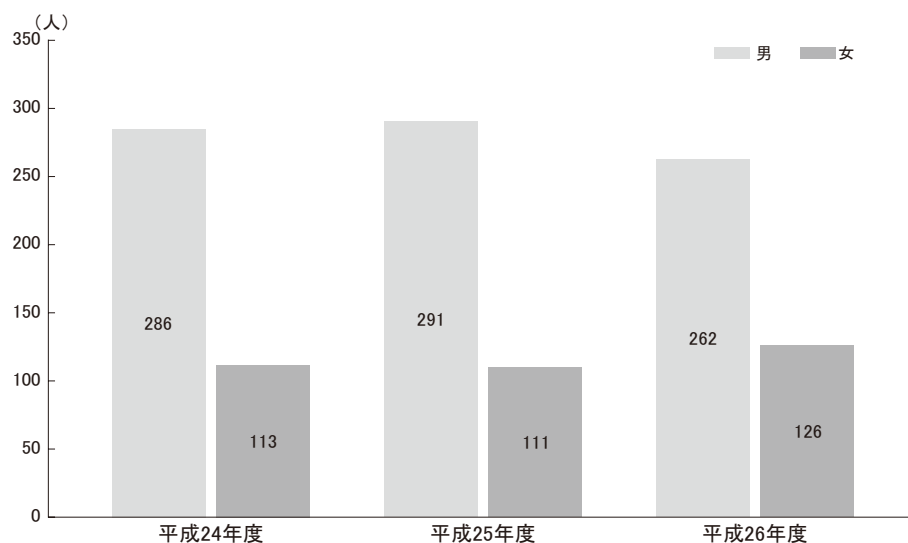


図4 肺がん検診年度別受診者数 一喀痰検査一（伊丹市）

(7) 大腸がん検診（神戸市）

神戸市からの委託により、大腸がん検診を平成3年度から実施している。神戸市在住の40歳以上の住民を対象とし、郵送法での検体受付期間は、外気温が検査精度に及ぼす影響を考慮して11月1日～2月末日、神戸市市民

検診実施時に会場への持ち込みは通年で実施している。
要精検率は4.8～10.3%で年齢階級が上がるほど大きくなっていく傾向にある。

表1 大腸がん検診（便潜血検査）

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
40～44	男	3,111	159	5.1	3,090	147	4.8	3,532	158	4.5
	女	6,337	322	5.1	6,278	324	5.2	6,787	371	5.5
	計	9,448	481	5.1	9,368	471	5.0	10,319	529	5.1
45～49	男	2,559	126	4.9	2,809	145	5.2	3,162	155	4.9
	女	4,730	204	4.3	5,377	246	4.6	5,825	277	4.8
	計	7,289	330	4.5	8,186	391	4.8	8,987	432	4.8
50～54	男	2,679	157	5.9	2,851	167	5.9	3,073	182	5.9
	女	4,790	221	4.6	5,489	289	5.3	5,881	257	4.4
	計	7,469	378	5.1	8,340	456	5.5	8,954	439	4.9
55～59	男	2,699	162	6.0	2,952	199	6.7	3,422	230	6.7
	女	5,020	217	4.3	5,748	287	5.0	6,376	292	4.6
	計	7,719	379	4.9	8,700	486	5.6	9,798	522	5.3
60～64	男	4,822	390	8.1	5,063	403	8.0	5,307	431	8.1
	女	8,111	440	5.4	8,570	466	5.4	8,617	443	5.1
	計	12,933	830	6.4	13,633	869	6.4	13,924	874	6.3
65～69	男	3,723	291	7.8	3,891	315	8.1	3,088	226	7.3
	女	5,500	272	4.9	5,957	295	5.0	5,164	294	5.7
	計	9,223	563	6.1	9,848	610	6.2	8,252	520	6.3
70～74	男	4,587	363	7.9	4,766	423	8.9	3,791	344	9.1
	女	5,851	367	6.3	6,228	391	6.3	5,384	316	5.9
	計	10,438	730	7.0	10,994	814	7.4	9,175	660	7.2
75～79	男	2,984	257	8.6	3,025	300	9.9	2,457	223	9.1
	女	3,847	276	7.2	3,900	311	8.0	3,561	259	7.3
	計	6,831	533	7.8	6,925	611	8.8	6,018	482	8.0
80歳以上	男	2,171	231	10.6	2,409	276	11.5	2,442	279	11.4
	女	2,488	203	8.2	2,875	262	9.1	3,031	287	9.5
	計	4,659	434	9.3	5,284	538	10.2	5,473	566	10.3
合 計	男	29,335	2,136	7.3	30,856	2,375	7.7	34,068	2,507	7.4
	女	46,674	2,522	5.4	50,422	2,871	5.7	55,027	3,021	5.5
	計	76,009	4,658	6.1	81,278	5,246	6.5	89,095	5,528	6.2

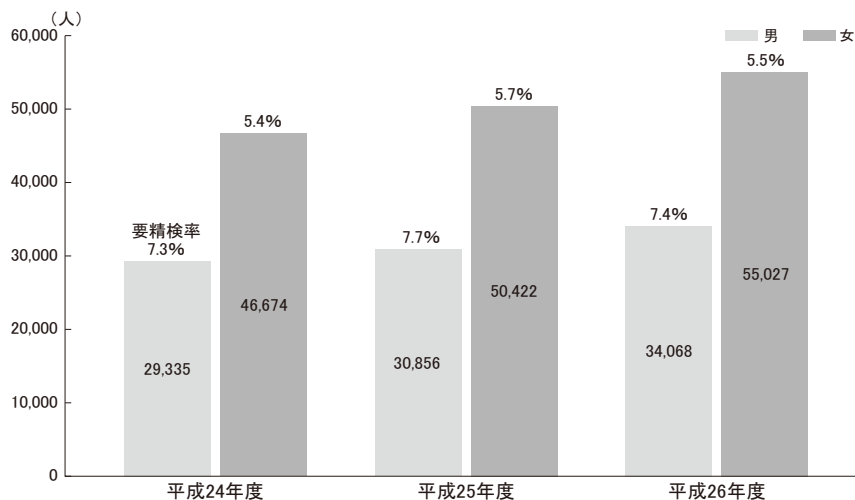


図1 大腸がん検診年度別受診者数と要精検率（便潜血）

(8) 前立腺がん検診

前立腺がん検診は通常の健康診査に追加可能なオプション検査として、または単独の前立腺がん検査としておこなわれている。血中PSA（前立腺特異抗原）を測

定する。特定健康診査受検年齢層のうち、高齢になるほど、特に60歳以降で要精検率は上昇している。

表1 前立腺がん検診（PSA）

年齢階級	平成24年度				平成25年度				平成26年度			
	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率(%)
34歳以下	5	5	0	0	2	2	0	0	3	3	0	0
35～39	116	113	3	2.6	116	112	4	3.4	127	124	3	2.4
40～44	166	163	3	1.8	199	194	5	2.5	196	192	4	2.0
45～49	229	226	3	1.3	215	210	5	2.3	234	230	4	1.7
50～54	439	427	12	2.7	432	420	12	2.8	470	452	18	3.8
55～59	517	489	28	5.4	547	516	31	5.7	516	487	29	5.6
60～64	1,445	1,309	136	9.4	1,298	1,186	112	8.6	1,164	1,047	117	10.1
65～69	2,777	2,523	254	9.1	2,851	2,575	276	9.7	3,054	2,717	337	11.0
70～74	2,984	2,753	231	7.7	3,224	2,963	261	8.1	3,324	3,026	298	9.0
75～79	904	820	84	9.3	1,013	917	96	9.5	1,189	1,078	111	9.3
80歳以上	174	146	28	16.1	211	180	31	14.7	278	244	34	12.2
計	9,756	8,974	782	8.0	10,165	9,379	786	7.7	10,555	9,600	955	9.0

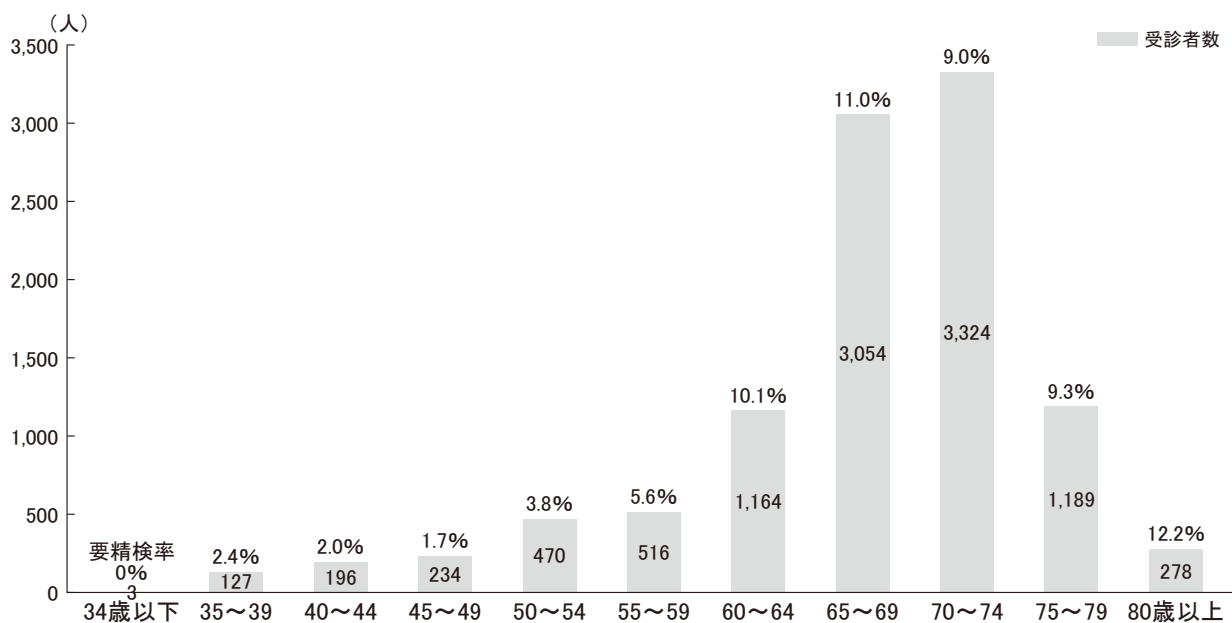


図1 前立腺がん検診年齢階級別受診者数と要精検率

(9) 結核健診（神戸市）

神戸市より委託を受け、各種結核健診を実施した。

受診者数は下記のとおりである。

市民健診同時実施分

感染症法第53条の2に基づく結核定期健診。15歳以上の市民を対象者として神戸市市民健診と同時に実施し、保健衛生、公衆衛生の確保をおこなうとともに、結核患者の早期発見およびまん延防止を図る。

管理健診

感染症法第53条の13に基づいて、保健所長が結核登録者に対して実施する健康診断（精密検査）。治療終了者の再発防止のための早期発見および治療放置患者あるいは病状不明の登録者に対する病状把握や悪化防止、治療復帰への指導を目的とする。

接触者健診

感染症法第17条に基づき、結核患者が発見された場合にその周囲の者に対しておこなう健康診断。感染者の早期発見および患者の感染源の追求により、新たな感染防止を図る。

ハイリスク者健診

結核を発病する率が高いとされる、社会的経済的弱者および外国人や若年のフリーター、ホームレスなど、受診機会のない人々に対しておこなう健康診断。画像診断モニター積載デジタル検診車を用い、その場で要精密者に対し適切な医療の提供、指導をおこない、結核患者の早期発見およびまん延防止を図る。

表1 神戸市結核健診

結核検診種類内訳	結核定期健診 (市民健診同時実施分)	管理健診	接触者健診	ハイリスク者健診
平成24年度受診者数	49,032	244	912	1,838
平成25年度受診者数	50,258	274	959	1,640
平成26年度受診者数	51,494	240	750	1,495

表2 神戸市結核健診（市民健診同時実施分）結果

年度	受診者数	性別	計 (F)	正常 (A)	ほぼ正常 (B)	要検査 (C)	要医療 (D)	医療中 (E)	有所見率(%) (C+D+E)/F
平成 24年度	49,032	男	19,948	17,839	1,562	135	412	0	2.7
		女	29,084	27,344	1,220	133	386	1	1.8
		計	49,032	45,183	2,782	268	798	1	2.2
平成 25年度	50,258	男	20,104	17,912	1,623	170	398	1	2.8
		女	30,154	28,251	1,372	189	341	1	1.8
		計	50,258	46,163	2,995	359	739	2	2.2
平成 26年度	51,494	男	20,527	18,184	1,663	232	443	5	3.3
		女	30,967	28,862	1,458	206	441	0	2.1
		計	51,494	47,046	3,121	438	884	5	2.6

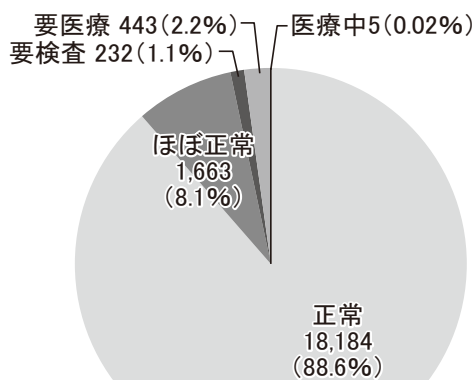


図1 結核健診受診結果（男）

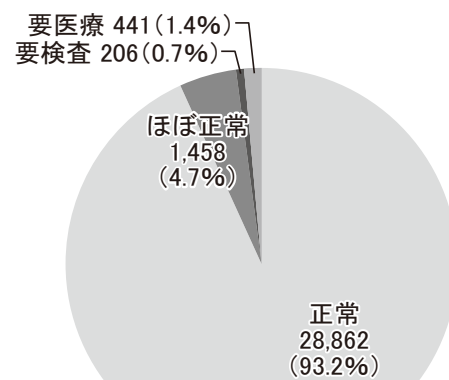


図2 結核健診受診結果（女）

(10) 肝炎検査（神戸市・芦屋市・伊丹市）

肝炎検査は、厚生労働省の定める「肝炎ウイルス検診など実施要領」に基づきおこなわれ、B型肝炎ウイルス（HBV）検査と、C型肝炎ウイルス（HCV）検査を実施する。B型肝炎ウイルスは、HBs抗原検査の結果により感染の有無を判定する。上記要領は平成25年4月に改

正され、C型肝炎ウイルスの判定過程は、図1から図2へ変更になった。各自治体ともに、陽性率は、B型肝炎ウイルスが1.0%付近を、C型肝炎ウイルスが0.5%付近を推移している。

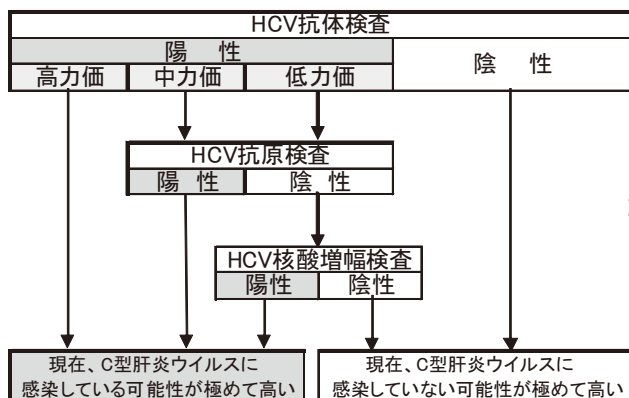


図1 C型肝炎ウイルス検査の流れ（改正前）

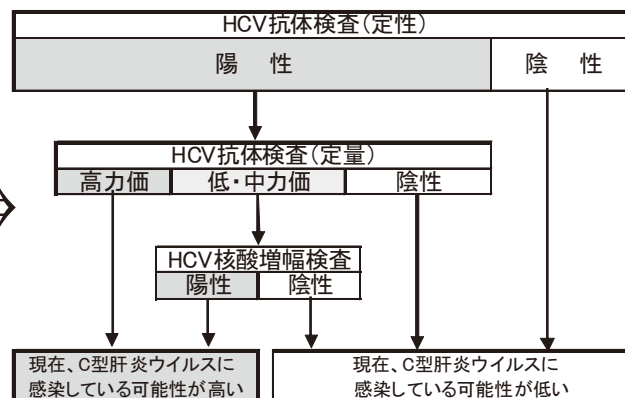


図2 C型肝炎ウイルス検査の流れ（改正後）

表1 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（神戸市）

検査項目	平成24年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体	7,675	98	1.3
HCV抗原	61	6	9.8
HCV核酸増幅	55	0	0

表2 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（神戸市）

検査項目	平成25年度			平成26年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体（定性）	8,478	81	1.0	9,039	76	0.8
HCV抗体（定量）	81	48	59.3	76	42	55.3
HCV核酸増幅	28	3	10.7	24	1	4.2

表3 肝炎検査陽性率の推移（神戸市）

検診項目	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)
B型肝炎ウイルス	7,675	67	0.9	8,478	57	0.7	9,039	61	0.7
C型肝炎ウイルス	7,675	43	0.6	8,478	23	0.3	9,039	19	0.2

表4 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（芦屋市）

検査項目	平成24年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体	619	3	0.5
HCV抗原	2	0	0
HCV核酸増幅	2	0	0

表5 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（芦屋市）

検査項目	平成25年度			平成26年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体（定性）	653	9	1.4	414	5	1.2
HCV抗体（定量）	9	5	55.6	5	4	80.0
HCV核酸増幅	4	0	0	4	1	25.0

表6 肝炎検査陽性率の推移（芦屋市）

検診項目	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)
B型肝炎ウイルス	618	6	1.0	653	5	0.8	413	2	0.5
C型肝炎ウイルス	619	1	0.2	653	1	0.2	414	1	0.2

表7 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（伊丹市）

検査項目	平成24年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体	215	2	0.9
HCV抗原	2	1	50.0
HCV核酸増幅	1	0	0

表8 C型肝炎ウイルス検査関連項目件数と陽性率（伊丹市）

検査項目	平成25年度			平成26年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)
HCV抗体（定性）	170	3	1.8	198	2	1.0
HCV抗体（定量）	3	2	66.7	2	2	100.0
HCV核酸増幅	1	0	0	1	0	0

表9 肝炎検査陽性率の推移（伊丹市）

検診項目	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)	件 数	陽性数	陽性率(%)
B型肝炎ウイルス	215	3	1.4	170	0	0	198	2	1.0
C型肝炎ウイルス	215	1	0.5	170	1	0.6	198	1	0.5

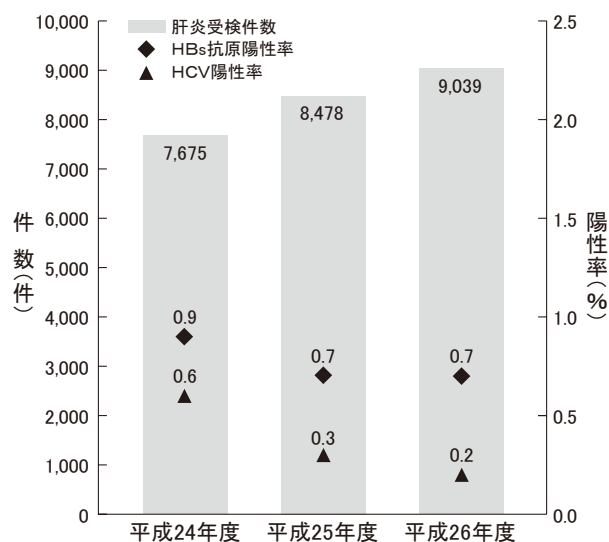


図3 年度別受検件数と陽性率※1率（神戸市）

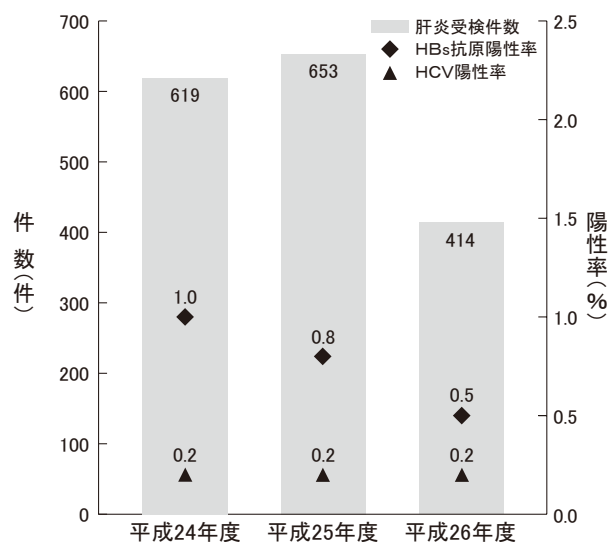


図4 年度別受検件数と陽性率※2（芦屋市）

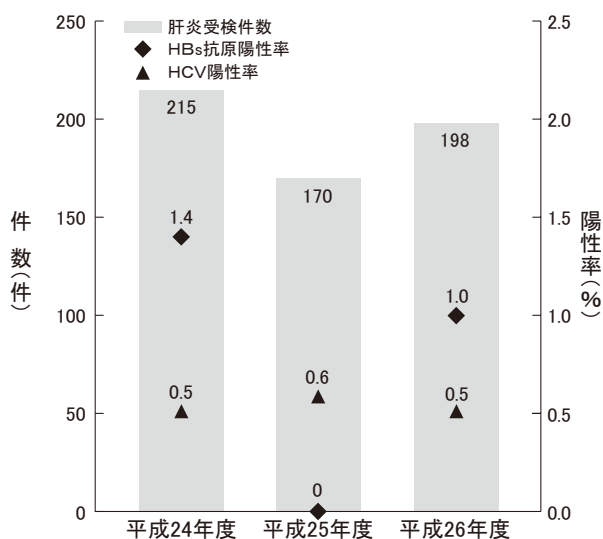


図5 年度別受検件数と陽性率（伊丹市）

※1 C型肝炎ウイルス検査は、最終判定が「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が（極めて）高い」となった検体を陽性とした。

※2 平成24年度、平成26年度において、B型肝炎ウイルスとC型肝炎ウイルスの受検件数が異なるため、C型肝炎ウイルス受検件数を肝炎受検件数とした。

（11）エイズ（HIV／AIDS）及びクラミジア・梅毒検査

神戸市から継続して受託している。夜間検査は予約不要で、毎週水曜日18時から、即日検査は事前予約制で毎月1～2回土曜日13時から実施している。夜間検査の検査項目は、HIV、クラミジア、梅毒である。即日検査は、平成24年7月に神戸市からの要請により定員を従来の30

名から45名に拡大した。さらに、平成25年4月よりB型肝炎検査も同時におこなうこととなった。HIVが判定保留となった場合は、確認試験を実施するため、結果報告が1週間後になるが、原則採血から1～2時間程度で結果が分かるシステムをとっている。

表1 夜間検査件数推移（件）

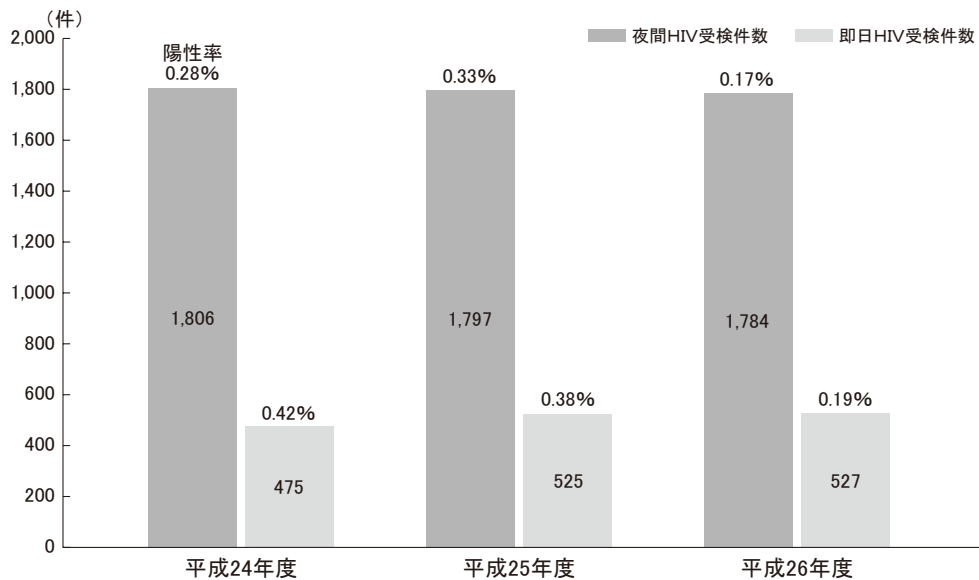
検査項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
HIV	1,806	1,797	1,784
クラミジア	1,741	1,371	1,446
梅毒	1,754	1,718	1,680

表2 即日検査件数と陽性率の推移

検診項目	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)	件数	陽性数	陽性率(%)
HIV	475	2	0.42	525	2	0.38	527	1	0.19
B型肝炎（HBs抗原）				525	3	0.57	527	1	0.19

表3 HIV陽性^{※1}の推移

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	陽 性	陽性率(%)	陽 性	陽性率(%)	陽 性	陽性率(%)
夜間	5	0.28	6	0.33	3	0.17
即日	2	0.42	2	0.38	1	0.19
陽性合計	7	0.31	8	0.34	4	0.17

図1 年度別HIV件数と陽性率^{※2}

※1 HIV陽性：確認試験を追加し、最終的に陽性となったもの

※2 陽性率：夜間検査および即日検査、それぞれの件数に対する陽性の割合

(12) 骨粗鬆症検診（骨量検査）

骨粗鬆症の早期発見および予防を目的に骨量測定（超音波法）による集団検診を実施し、早期治療および適切な健康教育に努めた。

性別	年齢階級	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
男	39歳以下	38	4	10.5	34	5	14.7	27	4	14.8
	40～44	75	8	10.7	100	10	10.0	87	3	3.4
	45～49	67	6	9.0	59	4	6.8	56	4	7.1
	50～54	92	3	3.3	86	8	9.3	118	6	5.1
	55～59	104	9	8.7	98	2	2.0	100	6	6.0
	60～64	316	22	7.0	298	15	5.0	229	14	6.1
	65～69	706	58	8.2	664	61	9.2	663	42	6.3
	70～74	896	54	6.0	885	67	7.6	847	69	8.1
	75～79	343	40	11.7	346	26	7.5	391	37	9.5
	80歳以上	84	16	19.0	100	21	21.0	129	24	18.6
計		2,721	220	8.1	2,670	219	8.2	2,647	209	7.9

性別	年齢階級	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
女	39歳以下	741	40	5.4	611	47	7.7	614	42	6.8
	40～44	369	11	3.0	409	25	6.1	468	26	5.6
	45～49	323	20	6.2	380	19	5.0	439	18	4.1
	50～54	416	11	2.6	520	13	2.5	581	11	1.9
	55～59	742	5	0.7	853	6	0.7	846	7	0.8
	60～64	2,037	42	2.1	2,073	51	2.5	1,888	33	1.7
	65～69	2,823	117	4.1	2,890	118	4.1	3,200	112	3.5
	70～74	2,784	132	4.7	2,967	167	5.6	2,964	168	5.7
	75～79	726	59	8.1	810	74	9.1	1,003	79	7.9
	80歳以上	164	24	14.6	190	33	17.4	207	24	11.6
計		11,125	461	4.1	11,703	553	4.7	12,210	520	4.3

性別	年齢階級	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
計	39歳以下	779	44	5.6	645	52	8.1	641	46	7.2
	40～44	444	19	4.3	509	35	6.9	555	29	5.2
	45～49	390	26	6.7	439	23	5.2	495	22	4.4
	50～54	508	14	2.8	606	21	3.5	699	17	2.4
	55～59	846	14	1.7	951	8	0.8	946	13	1.4
	60～64	2,353	64	2.7	2,371	66	2.8	2,117	47	2.2
	65～69	3,529	175	5.0	3,554	179	5.0	3,863	154	4.0
	70～74	3,680	186	5.1	3,852	234	6.1	3,811	237	6.2
	75～79	1,069	99	9.3	1,156	100	8.7	1,394	116	8.3
	80歳以上	248	40	16.1	290	54	18.6	336	48	14.3
計		13,846	681	4.9	14,373	772	5.4	14,857	729	4.9

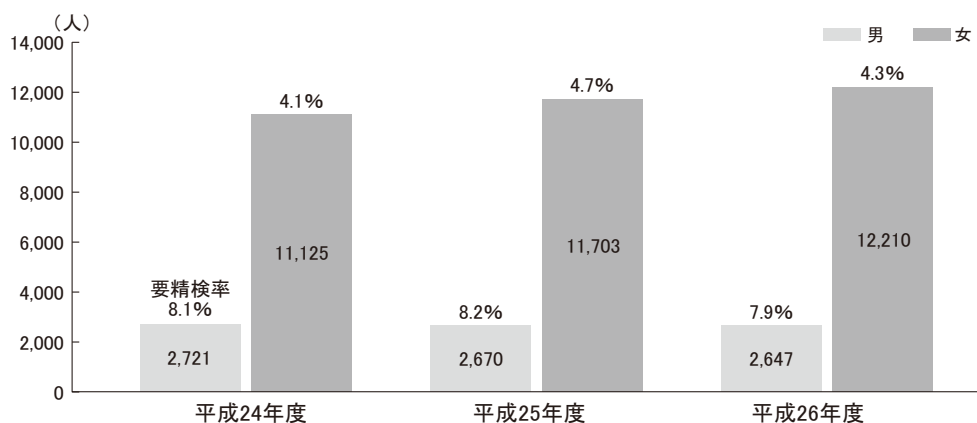


図1 骨粗鬆症検診年度別受診者数と要精検率

2. 学校保健

(1) 心臓検診

昭和50年から取りくんでいる学校心臓検診は、神戸市、宝塚市、西宮市、芦屋市、伊丹市、太子町、上郡町、兵庫県北部（宍粟市、朝来市、佐用町）、洲本市、南あわじ市の兵庫県下広域にわたり、一次検診を実施している。学校心臓検診は、地域により心臓検診システムに違い

があり、問診とともに6誘導心電図、12誘導心電図、4誘導心電図心音図、6誘導心電図心音図などのさまざまな検査方法によりおこなっている。平成26年度より、神戸市、宝塚市の中学生の誘導が4誘導心電心音図から12誘導心電図に変更された。

表1 小学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度			
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	
6誘導心電図方式	南あわじ市	男	397	4	1.0	371	7	1.9	389	8	2.1
		女	372	5	1.3	408	10	2.5	350	8	2.3
		計	769	9	1.2	779	17	2.2	739	16	2.2
	私立	男	45	2	4.4	21	0	0	37	1	2.7
		女	37	2	5.4	31	0	0	22	2	9.1
		計	82	4	4.9	52	0	0	59	3	5.1
	合計	男	442	6	1.4	392	7	1.8	426	9	2.1
		女	409	7	1.7	439	10	2.3	372	10	2.7
		計	851	13	1.5	831	17	2.0	798	19	2.4
12誘導心電図方式	伊丹市 (他学年含む)	男	54	9	16.7	35	8	22.9	45	4	8.9
		女	27	9	33.3	33	5	15.2	40	9	22.5
		計	81	18	22.2	68	13	19.1	85	13	15.3
	上郡町	男	46	2	4.3	65	2	3.1	57	1	1.8
		女	61	3	4.9	58	0	0	50	3	6.0
		計	107	5	4.7	123	2	1.6	107	4	3.7
	太子町	男	182	8	4.4	221	10	4.5	201	10	5.0
		女	181	8	4.4	190	5	2.6	165	6	3.6
		計	363	16	4.4	411	15	3.6	366	16	4.4
	芦屋市 (他学年含む)	男	853	23	2.7	824	21	2.5	876	23	2.6
		女	733	13	1.8	741	6	0.8	786	14	1.8
		計	1,586	36	2.3	1,565	27	1.7	1,662	37	2.2
	私立 (他学年含む)	男	183	5	2.7	140	4	2.9	128	4	3.1
		女	210	2	1.0	220	3	1.4	232	7	3.0
		計	393	7	1.8	360	7	1.9	360	11	3.1
合計	男	1,318	47	3.6	1,285	45	3.5	1,307	42	3.2	
	女	1,212	35	2.9	1,242	19	1.5	1,273	39	3.1	
	計	2,530	82	3.2	2,527	64	2.5	2,580	81	3.1	
心電・心音図方式	神戸市 (他学年含む)	男	6,502	405	6.2	6,532	370	5.7	6,541	426	6.5
		女	6,072	311	5.1	6,239	281	4.5	6,057	273	4.5
		計	12,574	716	5.7	12,771	651	5.1	12,598	699	5.5
	兵庫県北部 (他学年含む)	男	711	39	5.5	700	24	3.4	696	29	4.2
		女	707	19	2.7	672	22	3.3	603	17	2.8
		計	1,418	58	4.1	1,372	46	3.4	1,299	46	3.5
	宝塚市	男	1,046	64	6.1	1,062	55	5.2	1,051	55	5.2
		女	892	36	4.0	1,082	52	4.8	955	32	3.4
		計	1,938	100	5.2	2,144	107	5.0	2,006	87	4.3
	西宮市 (他学年含む)	男	2,372	61	2.6	2,454	23	0.9	2,460	38	1.5
		女	2,121	39	1.8	2,235	17	0.8	2,226	49	2.2
		計	4,493	100	2.2	4,689	40	0.9	4,686	87	1.9
	伊丹市	男	866	34	3.9	948	45	4.7	1,023	47	4.6
		女	926	24	2.6	916	37	4.0	947	36	3.8
		計	1,792	58	3.2	1,864	82	4.4	1,970	83	4.2
私立	男	－	－	－	14	0	0	19	0	0	
	女	－	－	－	9	0	0	15	3	20.0	
	計	－	－	－	23	0	0	34	3	8.8	
合計	男	11,497	603	5.2	11,710	517	4.4	11,790	595	5.0	
	女	10,718	429	4.0	11,153	409	3.7	10,803	410	3.8	
	計	22,215	1,032	4.6	22,863	926	4.1	22,593	1,005	4.4	

表2 中学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度			
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	
6誘導心電図方式	南あわじ市	男	411	4	1.0	452	0	0	405	6	1.5
		女	455	5	1.1	405	2	0.5	435	6	1.4
		計	866	9	1.0	857	2	0.2	840	12	1.4
	私立 (他学年含む)	男	98	0	0	41	0	0	38	0	0
		女	92	3	3.3	36	2	5.6	34	1	2.9
		計	190	3	1.6	77	2	2.6	72	1	1.4
	合　　計	男	509	4	0.8	493	0	0	443	6	1.4
		女	547	8	1.5	441	4	0.9	469	7	1.5
		計	1,056	12	1.1	934	4	0.4	912	13	1.4
12誘導心電図方式	神戸市 (他学年含む)	男	—	—	—	—	—	6,146	442	7.2	
		女	—	—	—	—	—	5,662	286	5.1	
		計	—	—	—	—	—	11,808	728	6.2	
	宝　塚　市	男	—	—	—	—	—	958	48	5.0	
		女	—	—	—	—	—	935	41	4.4	
		計	—	—	—	—	—	1,893	89	4.7	
	県立 (他学年含む)	男	41	0	0	37	1	2.7	52	2	3.8
		女	118	2	1.7	123	1	0.8	107	0	0
		計	159	2	1.3	160	2	1.3	159	2	1.3
	伊　丹　市 (他学年含む)	男	953	22	2.3	935	21	2.2	913	22	2.4
		女	980	20	2.0	899	24	2.7	880	11	1.3
		計	1,933	42	2.2	1,834	45	2.5	1,793	33	1.8
	上　郡　町	男	80	1	1.3	59	1	1.7	78	1	1.3
		女	71	1	1.4	67	1	1.5	75	1	1.3
		計	151	2	1.3	126	2	1.6	153	2	1.3
	太　子　町	男	174	5	2.9	182	2	1.1	210	6	2.9
		女	192	7	3.6	208	4	1.9	218	1	0.5
		計	366	12	3.3	390	6	1.5	428	7	1.6
	芦　屋　市 (他学年含む)	男	301	5	1.7	272	9	3.3	276	3	1.1
		女	240	5	2.1	274	8	2.9	251	4	1.6
		計	541	10	1.8	546	17	3.1	527	7	1.3
	私　　立 (他学年含む)	男	1,393	17	1.2	1,453	34	2.3	1,425	33	2.3
		女	1,077	14	1.3	1,046	26	2.5	1,033	18	1.7
		計	2,470	31	1.3	2,499	60	2.4	2,458	51	2.1
	合　　計	男	2,942	50	1.7	2,938	68	2.3	10,058	557	5.5
		女	2,678	49	1.8	2,617	64	2.4	9,161	362	4.0
		計	5,620	99	1.8	5,555	132	2.4	19,219	919	4.8
心電・心音図方式	神戸市 (他学年含む)	男	6,273	357	5.7	6,109	399	6.5	—	—	—
		女	5,919	255	4.3	5,869	294	5.0	—	—	—
		計	12,192	612	5.0	11,978	693	5.8	—	—	—
	兵庫県北部	男	489	27	5.5	442	18	4.1	452	19	4.2
		女	420	15	3.6	434	20	4.6	381	15	3.9
		計	909	42	4.6	876	38	4.3	833	34	4.1
	宝　塚　市	男	893	34	3.8	945	40	4.2	—	—	—
		女	943	50	5.3	931	49	5.3	—	—	—
		計	1,836	84	4.6	1,876	89	4.7	—	—	—
	西　宮　市 (他学年含む)	男	2,095	35	1.7	2,174	41	1.9	2,074	33	1.6
		女	1,865	16	0.9	1,891	39	2.1	1,905	23	1.2
		計	3,960	51	1.3	4,065	80	2.0	3,979	56	1.4
	私　　立	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
		女	297	14	4.7	292	5	1.7	257	11	4.3
		計	297	14	4.7	292	5	1.7	257	11	4.3
	合　　計	男	9,750	453	4.6	9,670	498	5.1	2,526	52	2.1
		女	9,444	350	3.7	9,417	407	4.3	2,543	49	1.9
		計	19,194	803	4.2	19,087	905	4.7	5,069	101	2.0

表3 高等学校検診結果

検診方式 ／学校名	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度			
		一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	一次検診	要精検者数	要精検率(%)	
6誘導心電図方式	私立	男	99	5	5.1	38	0	0	34	0	0
		女	122	1	0.8	33	1	3.0	33	1	3.0
		計	221	6	2.7	71	1	1.4	67	1	1.5
	合	男	99	5	5.1	38	0	0	34	0	0
		女	122	1	0.8	33	1	3.0	33	1	3.0
		計	221	6	2.7	71	1	1.4	67	1	1.5
12誘導心電図方式	県立 (他学年含む)	男	7,228	154	2.1	6,900	147	2.1	6,528	135	2.1
		女	7,584	152	2.0	7,318	107	1.5	6,699	111	1.7
		計	14,812	306	2.1	14,218	254	1.8	13,227	246	1.9
	伊丹市 西宮市 (他学年含む)	男	396	6	1.5	417	12	2.9	420	15	3.6
		女	448	5	1.1	423	5	1.2	458	12	2.6
		計	844	11	1.3	840	17	2.0	878	27	3.1
	神戸市 (他学年含む)	男	1,355	81	6.0	1,267	24	1.9	1,335	41	3.1
		女	1,067	40	3.7	1,092	17	1.6	1,074	17	1.6
		計	2,422	121	5.0	2,359	41	1.7	2,409	58	2.4
	私立 (他学年含む)	男	3,129	71	2.3	3,221	86	2.7	3,166	72	2.3
		女	2,805	56	2.0	2,892	60	2.1	3,358	83	2.5
		計	5,934	127	2.1	6,113	146	2.4	6,524	155	2.4
	合	男	12,108	312	2.6	11,805	269	2.3	11,449	263	2.3
		女	11,904	253	2.1	11,725	189	1.6	11,589	223	1.9
		計	24,012	565	2.4	23,530	458	1.9	23,038	486	2.1
心電・心音図方式	私立	男	0	0	－	0	0	－	0	0	－
		女	328	7	2.1	308	8	2.6	205	10	4.9
		計	328	7	2.1	308	8	2.6	205	10	4.9
	合	男	0	0	－	0	0	－	0	0	－
		女	328	7	2.1	308	8	2.6	205	10	4.9
		計	328	7	2.1	308	8	2.6	205	10	4.9

(2) 脊柱変形学校検診

神戸市、阪神間諸都市を中心に兵庫県一円における小学校5、6年生と中学校1、2年生の児童生徒を対象に実施している。^{※1}

検診の方式は、各会場校へモアレ写真撮影、専門医による視触診、X線直接撮影を全て出張検診でおこない、側弯症と診断された児童生徒には、保護者も含めて事後指導を実施している（右図）。^{※2}

本年度のモアレ検査受診者は31,581名で有所見者は4,397名。有所見率は13.9%であった（表1、3）。

協会実施のモアレ検査有所見者および学校医の指摘により受診した視触診者数は2,516名でX線直接撮影により側弯症と判定された者は257名で有所見率は12.4%であった（表2）。

過去3年度分のモアレ検診有所見率と性差、受診者総数と側弯有所見率をそれぞれ表3、表4に示している。

※1 対象学年は自治体により異なる。

※2 方式は自治体により異なる。

脊柱側弯症判定区分

管理区分	診断	わん曲度
A 要治療	脊柱側弯症 (中等度以上)	コブ角25度以上 構築性側弯
B1 要経過観察	脊柱側弯症 (軽度)	コブ角15度～24度 構築性側弯
B2 要経過観察	脊柱側弯症 の疑い	コブ角14度以下 構築性変化あり 構築性変化なし
C 要注意		
D 正常	異常なし	

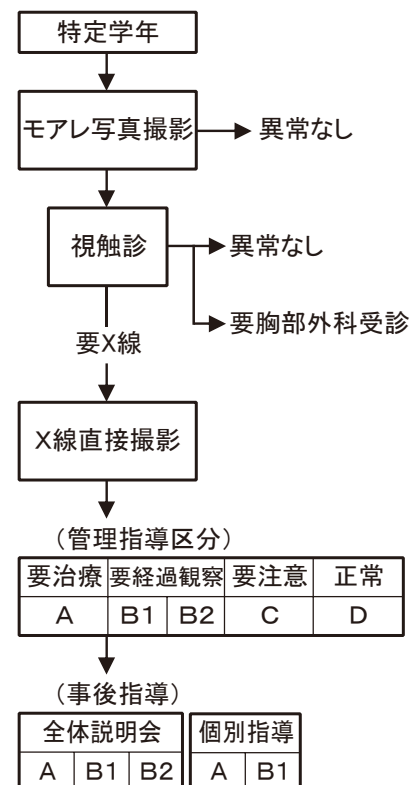


表1 脊柱検診集計表（モアレ法）

区分	学年	小学5年生			小学6年生			中学1年生			中学2年生		
	性別	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)	受診者数	モアレ 有所見者数	有所見率 (%)
神戸市 ※	男	0	0	－	6,801	755	11.1	0	0	－	0	0	－
	女	0	0	－	6,430	1,010	15.7	0	0	－	0	0	－
	計	0	0	－	13,231	1,765	13.3	0	0	－	0	0	－
宝塚市	男	1,133	160	14.1	0	0	－	0	0	－	919	147	16.0
	女	1,046	239	22.9	0	0	－	0	0	－	913	240	26.3
	計	2,179	399	18.3	0	0	－	0	0	－	1,832	387	21.1
尼崎市	男	0	0	－	0	0	－	1,668	165	9.9	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	1,574	348	22.1	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	3,242	513	15.8	0	0	－
明石市	男	0	0	－	0	0	－	1,357	41	3.0	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	1,255	110	8.8	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	2,612	151	5.8	0	0	－
伊丹市	男	0	0	－	0	0	－	886	84	9.5	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	844	154	18.3	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	1,730	238	13.8	0	0	－
三田市 ※	男	534	83	15.5	0	0	－	461	63	13.7	0	0	－
	女	479	81	16.9	0	0	－	509	96	18.9	0	0	－
	計	1,013	164	16.2	0	0	－	970	159	16.4	0	0	－
小野市 ※	男	0	0	－	0	0	－	227	7	3.1	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	240	22	9.2	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	467	29	6.2	0	0	－
相生市 ※	男	90	4	4.4	0	0	－	0	0	－	110	5	4.6
	女	114	10	8.8	0	0	－	0	0	－	107	17	15.9
	計	204	14	6.9	0	0	－	0	0	－	217	22	10.1
上郡市 ※	男	70	10	14.3	0	0	－	0	0	－	61	7	11.5
	女	62	10	16.1	0	0	－	0	0	－	62	8	12.9
	計	132	20	15.2	0	0	－	0	0	－	123	15	12.2
猪名川	男	200	34	17.0	0	0	－	0	0	－	191	24	12.6
	女	180	18	10.0	0	0	－	0	0	－	152	30	19.7
	計	380	52	13.7	0	0	－	0	0	－	343	54	15.7
加東市 ※	男	0	0	－	168	17	10.1	171	17	9.9	0	0	－
	女	0	0	－	188	22	11.7	169	28	16.6	0	0	－
	計	0	0	－	356	39	11.0	340	45	13.2	0	0	－
芦屋市	男	403	60	14.9	0	0	－	0	0	－	287	25	8.7
	女	373	52	13.9	0	0	－	0	0	－	264	49	18.6
	計	776	112	14.4	0	0	－	0	0	－	551	74	13.4
国・私立 学校9校 ※	男	58	7	12.1	23	7	30.4	98	16	16.3	0	0	－
	女	100	12	12.0	12	4	33.3	452	74	16.4	140	25	17.9
	計	158	19	12.0	35	11	31.4	550	90	16.4	140	25	17.9
合 計	男	2,488	358	14.4	6,992	779	11.1	4,868	393	8.1	1,568	208	13.3
	女	2,354	422	17.9	6,630	1,036	15.6	5,043	832	16.5	1,638	369	22.5
	計	4,842	780	16.1	13,622	1,815	13.3	9,911	1,225	12.4	3,206	577	18.0

注 総数：31,581名、男子：15,916名、女子：15,665名、小学生：18,464名、中学生：13,117名

※モアレ検査のみ施行の自治体

表2 視触診受診者数と側弯症有所見率

学年	性別	視 触 診			管 理 指 導 区 分						有所見	
		受診者数	要X線 撮影者数	%	A（要治療）		B1（要経過）		B2（要経過）		側弯 症数	有所見率* （%）
					人数	%	人数	%	人数	%		
小学生	男	266	46	17.3	0	0	3	1.1	3	1.1	6	2.3
	女	320	85	26.6	2	0.6	12	3.8	16	5.0	30	9.4
	計	586	131	22.4	2	0.3	15	2.6	19	3.2	36	6.1
中学生	男	529	82	15.5	2	0.4	12	2.3	8	1.5	22	4.2
	女	963	364	37.8	33	3.4	102	10.6	64	6.6	199	20.7
	計	1,492	446	29.9	35	2.3	114	7.6	72	4.8	221	14.8
合 計	男	795	128	16.1	2	0.3	15	1.9	11	1.4	28	3.5
	女	1,283	449	35.0	35	2.7	114	8.9	80	6.2	229	17.8
	計	2,078	577	27.8	37	1.8	129	6.2	91	4.4	257	12.4

※視触診受診者数に対する比率

表3 モアレ検査受診者数と有所見率

学年	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
小学生	男	9,494	1,151	12.1	9,450	1,222	12.9	9,480	1,137	12.0
	女	9,151	1,549	16.9	8,761	1,442	16.5	8,984	1,458	16.2
	計	18,645	2,700	14.5	18,211	2,664	14.6	18,464	2,595	14.1
中学生	男	6,611	775	11.7	6,606	731	11.1	6,436	601	9.3
	女	7,043	1,720	24.4	6,665	1,397	21.0	6,681	1,201	18.0
	計	13,654	2,495	18.3	13,271	2,128	16.0	13,117	1,802	13.7
合 計	男	16,105	1,926	12.0	16,056	1,953	12.2	15,916	1,738	10.9
	女	16,194	3,269	20.2	15,426	2,839	18.4	15,665	2,659	17.0
	計	32,299	5,195	16.1	31,482	4,792	15.2	31,581	4,397	13.9

表4 受診者総数と側弯症有所見率（除西宮市）

学年	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	B2以上数と有所見率(%)		受診者数	B2以上数と有所見率(%)		受診者数	B2以上数と有所見率(%)	
小学生	男	1,707	11	0.6	1,678	13	0.8	1,736	6	0.3
	女	1,645	26	1.6	1,557	43	2.8	1,599	30	1.9
	計	3,352	37	1.1	3,235	56	1.7	3,335	36	1.1
中学生	男	5,312	27	0.5	5,295	27	0.5	5,308	22	0.4
	女	5,213	245	4.7	4,981	218	4.4	5,002	199	4.0
	計	10,525	272	2.6	10,276	245	2.4	10,310	221	2.1
合 計	男	7,019	38	0.5	6,973	40	0.6	7,044	28	0.4
	女	6,858	271	4.0	6,538	261	4.0	6,601	229	3.5
	計	13,877	309	2.2	13,511	301	2.2	13,645	258	1.9

注：西宮市においては、モアレは実施せず、学校定期健診における内科検診の結果、有所見者に対して視触診をおこな
い、さらにその中の有所見者を対象として、脊柱X線を実施する方式となっている。

(3) 腎臓・糖尿病検診

腎臓病検診の検査項目は学校保健法施行規則では、『尿中の蛋白などについて試験紙法により検査する』こととなっており、蛋白検査は必須であるが、潜血検査は蛋白検査と併せておこなうことが望ましいに留まっている。しかし、腎炎の初期や治療期には血尿だけしか症状

がない腎臓病も多く知られており、潜血検査は重要な項目の一つである。一方、糖尿病においては、糖尿病検診として平成4年度から尿検査で尿糖の検査も併せておこなうことが義務づけられた。

腎臓病検診（尿蛋白・潜血）

表1 学校区別受検者数

学 校 区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保育園・幼稚園	52,919	54,719	57,409
小 学 校	240,485	286,745	286,250
中 学 校	95,706	99,114	97,596
高 等 学 校	72,130	72,306	71,128
大学・短大	1,866	621	624
養護学校他	4,354	4,539	4,656
合 計	467,460	518,044	517,663

表2 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）一次検査件数と陽性率

学 校 区 分	性別	受検者数	陽性者数	陽性率（％）
保育園・幼稚園	男	29,628	56	0.19
	女	27,781	175	0.63
	計	57,409	231	0.40
小 学 校	男	147,625	357	0.24
	女	138,625	967	0.70
	計	286,250	1,324	0.46
中 学 校	男	49,507	368	0.74
	女	48,089	823	1.71
	計	97,596	1,191	1.22
高 等 学 校	男	34,669	218	0.63
	女	36,459	540	1.48
	計	71,128	758	1.07
大学・短大	男	10	0	0
	女	614	10	1.63
	計	624	10	1.60
養護学校他	男	2,679	25	0.93
	女	1,977	34	1.72
	計	4,656	59	1.27
合 計	男	264,118	1,024	0.39
	女	253,545	2,549	1.01
	計	517,663	3,573	0.69

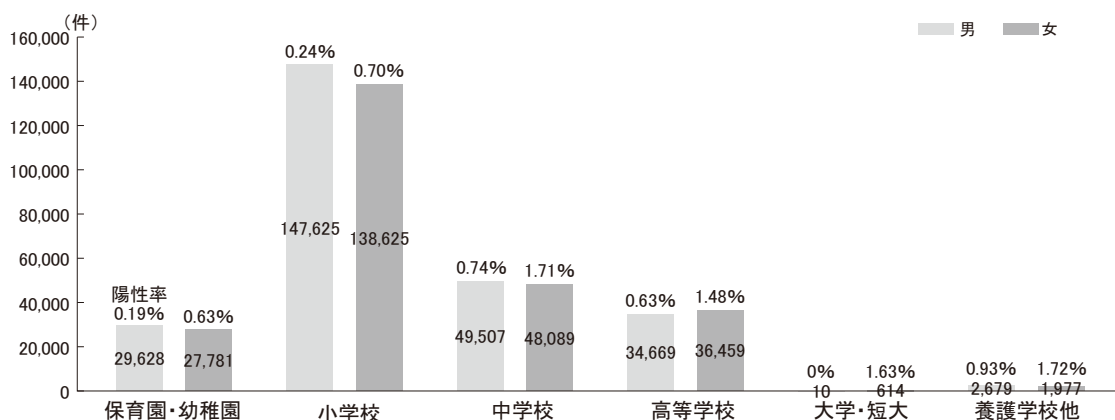


図1 腎臓病検診（尿蛋白・潜血）一次検査件数と陽性率

糖尿病検診（尿糖）

表3 学校区別受検者数

学 校 区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
保育園・幼稚園	52,919	54,719	57,409
小 学 校	240,485	286,745	286,250
中 学 校	95,706	99,114	97,596
高 等 学 校	72,130	72,306	71,128
大学・短大	1,866	621	624
養護学校他	4,354	4,539	4,656
合 計	467,460	518,044	517,663

表4 糖尿病検診（尿糖）一次検査件数と陽性率

学 校 区 分	性別	受検者数	陽性者数	陽性率（％）
保育園・幼稚園	男	29,628	2	0.01
	女	27,781	15	0.05
	計	57,409	17	0.03
小 学 校	男	147,625	185	0.13
	女	138,625	488	0.35
	計	286,250	673	0.24
中 学 校	男	49,507	186	0.38
	女	48,089	448	0.93
	計	97,596	634	0.65
高 等 学 校	男	34,669	26	0.07
	女	36,459	51	0.14
	計	71,128	77	0.11
大学・短大	男	10	0	0
	女	614	0	0
	計	624	0	0
養護学校他	男	2,679	5	0.19
	女	1,977	10	0.51
	計	4,656	15	0.32
合 計	男	264,118	404	0.15
	女	253,545	1,012	0.40
	計	517,663	1,416	0.27

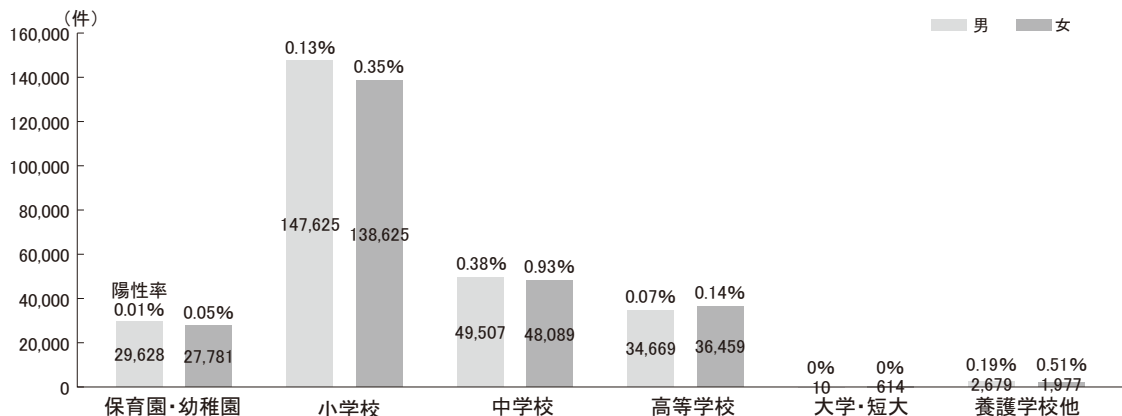


図2 糖尿病検診（尿糖）一次検査件数と陽性率

(4) 結核検診（胸部X線）

兵庫県内の市町村教育委員会、独立行政法人、学校法人からの委託を受け、学校保健安全法に基づく結核健診

を、児童生徒、学生を対象に実施している。要精検率は0.10%前後で推移している。

表1 児童・生徒

学校区分	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
小学校	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	—	0	0	—	0	0	—
中学校	男	15	0	0	10	0	0	13	0	0
	女	35	0	0	23	0	0	36	2	5.56
	計	50	0	0	33	0	0	49	2	4.08
高等学校	男	11,692	15	0.03	11,363	16	0.14	11,091	16	0.14
	女	12,084	4	0.09	11,834	9	0.08	11,302	14	0.12
	計	23,776	19	0.06	23,197	25	0.11	22,393	30	0.13
大学・専門学校	男	31,427	37	0.11	29,222	22	0.08	29,157	65	0.22
	女	33,126	35	0.08	32,003	26	0.08	33,217	42	0.13
	計	64,553	72	0.09	61,225	48	0.08	62,374	107	0.17
養護学校	男	205	0	0	199	0	0	138	2	1.45
	女	101	0	0	110	1	0.91	104	0	0
	計	306	0	0	309	1	0	242	2	0.83
計	男	43,339	52	0.12	40,794	38	0.09	40,399	83	0.21
	女	45,346	39	0.09	43,970	36	0.08	44,659	58	0.13
	計	88,685	91	0.10	84,764	74	0.09	85,058	141	0.17

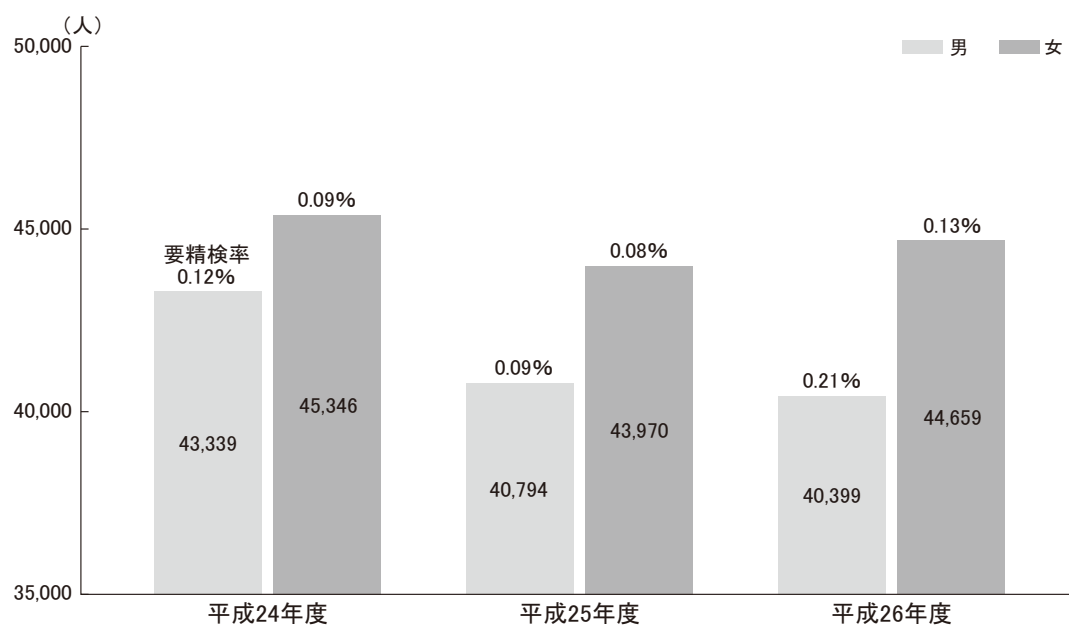


図1 結核検診年度別受診者数と要精検率

(5) ぎょう虫卵検査

学校保健安全法に基づき、幼稚園および小学校低学年（1～3年生）に対して実施している。

平成25年度は0.06%の保有率であったが、平成26年度は約0.03%となっている。

平成26年4月に「学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令」が公布され、児童生徒などの健康診断にお

ける検査項目の見直しの中で、半世紀にわたり継続されてきた「寄生虫卵検出検査」が、必須項目から削除されることとなった。また、この省令の施行は平成28年4月1日であることから、平成28年度以降のぎょう虫検査依頼は、大幅減少が予想される。

表1 年度別検査件数と陽性率

年 度	受検者数	陽性者数	陽性率(%)
平成24年度	91,407	95	0.10
平成25年度	92,699	51	0.06
平成26年度	149,967	49	0.03

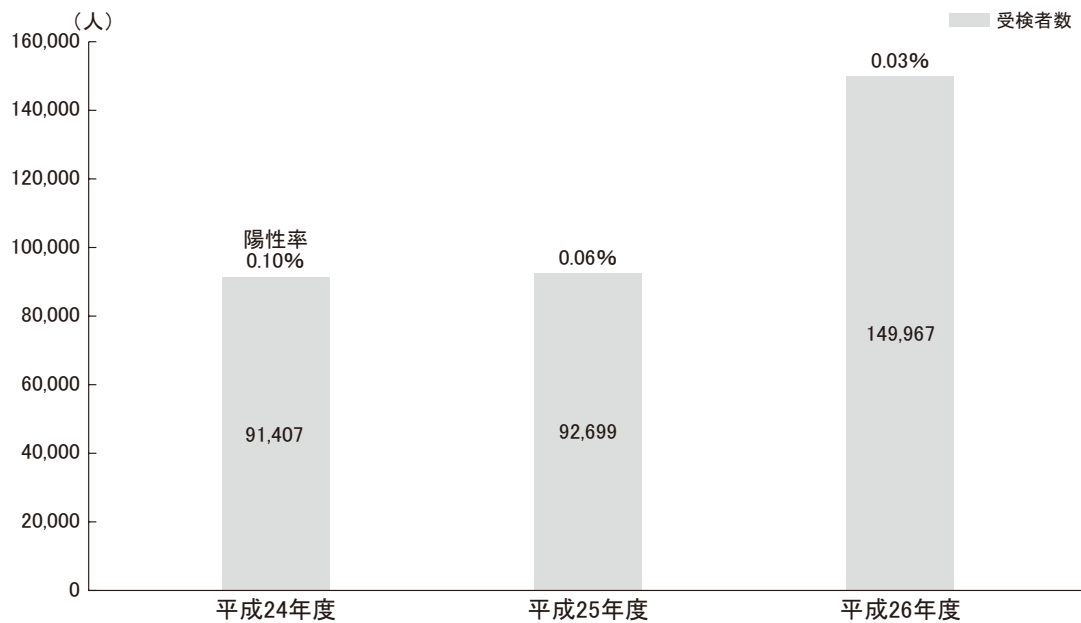


図1 ぎょう虫卵検査年度別受検者数と陽性率

3. 産業保健

(1) 労働安全衛生法・じん肺法に基づく健康診断

労働安全衛生法に基づく定期健康診断をはじめ雇入れ時健診、特定業務従事者健診など、労働安全衛生規則に掲げる業務従事者への健診、また有害業務従事者健診、さらには通達によって示された行政指導による健診、そしてじん肺法によるじん肺健診も実施している。

有所見率を全国で見ると平成20年に50%を超え、その

後も徐々に増えつつあることを踏まえ、平成22年には厚生労働省から「定期健康診断有所見率の改善のための取組」（基発0325第3号）が出された。兵庫県の有所見率は全国よりも0.5%前後低いところで推移しているが、右肩上がりの傾向は全国と同じである。

表1 定期健康診断等受診結果

年齢階級	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
24歳以下	男	6,069	1,017	16.8	4,330	612	14.1	4,077	582	14.3
	女	7,826	1,543	19.7	4,999	927	18.5	4,608	865	18.8
	計	13,895	2,560	18.4	9,329	1,539	16.5	8,685	1,447	16.7
25～29	男	7,862	1,407	17.9	7,356	1,383	18.8	7,517	1,264	16.8
	女	8,278	1,655	20.0	7,636	1,543	20.2	7,582	1,543	20.4
	計	16,140	3,062	19.0	14,992	2,926	19.5	15,099	2,807	18.6
30～34	男	8,432	2,068	24.5	7,747	1,932	24.9	8,127	1,818	22.4
	女	6,708	1,532	22.8	6,117	1,573	25.7	5,897	1,349	22.9
	計	15,140	3,600	23.8	13,864	3,505	25.3	14,024	3,167	22.6
35～39	男	8,140	2,882	35.4	8,294	3,231	39.0	8,193	2,875	35.1
	女	6,250	1,809	28.9	5,682	1,901	33.5	5,745	1,778	30.9
	計	14,390	4,691	32.6	13,976	5,132	36.7	13,938	4,653	33.4
40～44	男	8,136	3,642	44.8	9,120	4,443	48.7	9,839	4,164	42.3
	女	6,708	2,399	35.8	6,381	2,588	40.6	7,418	2,628	35.4
	計	14,844	6,041	40.7	15,501	7,031	45.4	17,257	6,792	39.4
45～49	男	7,471	3,757	50.3	8,303	4,653	56.0	9,146	4,426	48.4
	女	6,573	2,606	39.6	6,299	2,874	45.6	7,871	3,159	40.1
	計	14,044	6,363	45.3	14,602	7,527	51.5	17,017	7,585	44.6
50～54	男	6,721	3,719	55.3	7,588	4,690	61.8	8,571	4,526	52.8
	女	6,356	2,722	42.8	5,814	2,935	50.5	7,454	3,189	42.8
	計	13,077	6,441	49.3	13,402	7,625	56.9	16,025	7,715	48.1
55～59	男	6,449	3,858	59.8	6,706	4,468	66.6	7,229	4,236	58.6
	女	5,745	2,675	46.6	5,172	2,935	56.7	6,812	3,271	48.0
	計	12,194	6,533	53.6	11,878	7,403	62.3	14,041	7,507	53.5
60～64	男	6,724	4,293	63.8	7,092	4,901	69.1	7,200	4,703	65.3
	女	3,978	1,966	49.4	3,679	2,140	58.2	4,663	2,473	53.0
	計	10,702	6,259	58.5	10,771	7,041	65.4	11,863	7,176	60.5
65歳以上	男	3,577	2,411	67.4	5,120	3,749	73.2	5,520	4,041	73.2
	女	1,824	1,144	62.7	2,466	1,740	70.6	2,784	1,932	69.4
	計	5,401	3,555	65.8	7,586	5,489	72.4	8,304	5,973	71.9
合 計	男	69,581	29,054	41.8	71,656	34,062	47.5	75,419	32,635	43.3
	女	60,246	20,051	33.3	54,245	21,156	39.0	60,834	22,187	36.5
	計	129,827	49,105	37.8	125,901	55,218	43.9	136,253	54,822	40.2

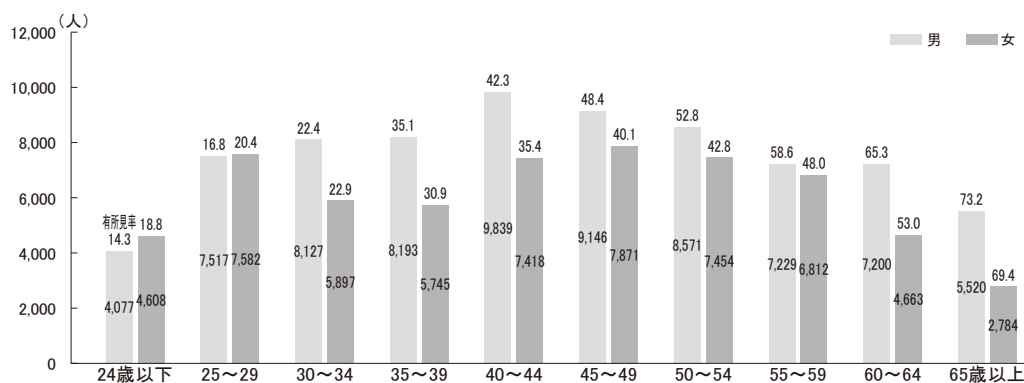


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

(2) 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診（協会けんぽ健診）

全国健康保険協会管掌健康保険の被保険者のうち、35 歳以上の方を対象とした健康診断。 兵庫県下全体では毎年20万人以上の方が受診している。

表1 協会けんぽ健診受診結果

年齢階級	性別	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
35～39	男	2,394	1,145	47.8	2,386	1,113	46.6	2,285	1,025	44.9
	女	1,103	455	41.3	1,102	439	39.8	1,098	508	46.3
	計	3,497	1,600	45.8	3,488	1,552	44.5	3,383	1,533	45.3
40～44	男	2,659	1,464	55.1	2,740	1,440	52.6	2,957	1,547	52.3
	女	1,369	660	48.2	1,384	651	47.0	1,454	714	49.1
	計	4,028	2,124	52.7	4,124	2,091	50.7	4,411	2,261	51.3
45～49	男	2,038	1,259	61.8	2,153	1,213	56.3	2,293	1,326	57.8
	女	1,312	692	52.7	1,290	672	52.1	1,404	730	52.0
	計	3,350	1,951	58.2	3,443	1,885	54.7	3,697	2,056	55.6
50～54	男	1,868	1,220	65.3	1,868	1,189	63.7	1,868	1,302	69.7
	女	1,360	771	56.7	1,292	711	55.0	1,292	776	60.1
	計	3,228	1,991	61.7	3,160	1,900	60.1	3,160	2,078	65.8
55～59	男	1,650	1,179	71.5	1,677	1,169	69.7	1,995	1,143	57.3
	女	1,095	636	58.1	1,132	680	60.1	1,426	727	51.0
	計	2,745	1,815	66.1	2,809	1,849	65.8	3,421	1,870	54.7
60～64	男	2,062	1,604	77.8	1,827	1,353	74.1	1,671	1,314	78.6
	女	867	556	64.1	833	526	63.1	1,213	544	44.8
	計	2,929	2,160	73.7	2,660	1,879	70.6	2,884	1,858	64.4
65～69	男	930	753	81.0	997	756	75.8	1,125	849	75.5
	女	250	180	72.0	258	168	65.1	319	208	65.2
	計	1,180	933	79.1	1,255	924	73.6	1,444	1,057	73.2
70歳以上	男	245	193	78.8	277	223	80.5	286	225	78.7
	女	53	40	75.5	54	39	72.2	76	55	72.4
	計	298	233	78.2	331	262	79.2	362	280	77.3
合 計	男	13,846	8,817	63.7	13,925	8,456	60.7	14,480	8,731	60.3
	女	7,409	3,990	53.9	7,345	3,886	52.9	8,282	4,262	51.5
	計	21,255	12,807	60.3	21,270	12,342	58.0	22,762	12,993	57.1

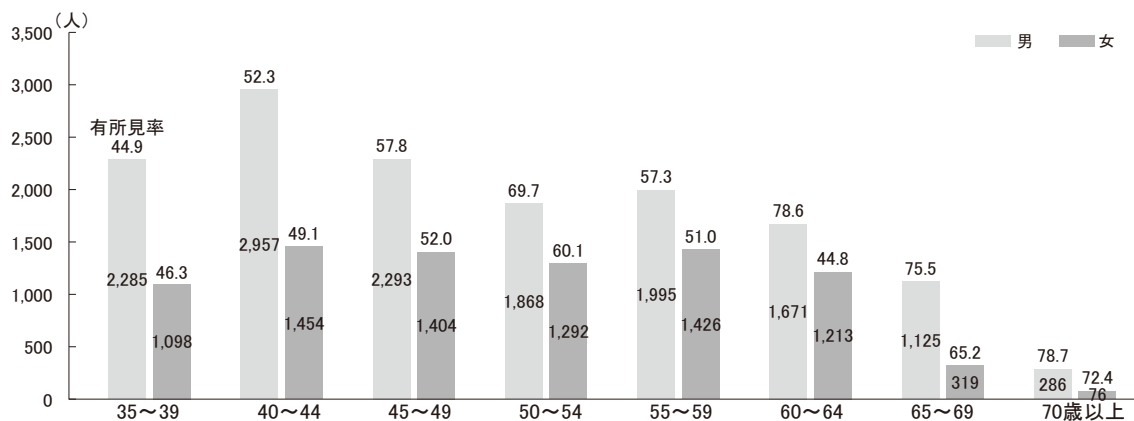


図1 年齢階級別受診者数と有所見率

(2) 労災保険二次健康診断（労災二次健診）

本健診は、労働安全衛生法に基づいておこなわれる定期健康診断の直近のもの（以下、一次健診とする）において、脳・心臓の動脈硬化性疾患に関連する一定の項目に異常が認められた場合に、二次健康診断給付としておこなわれるものである。

対象となる条件は、一次健診結果で、血圧、血中脂質、血糖、BMI（Body mass index）または腹囲、のすべてに異常がある場合、あるいは、すべてに異常が認められなくても産業医が必要と認めた場合である（ただし脳・心臓疾患を有する場合は対象外）。

二次健診の内容は、脳・心臓の動脈硬化性疾患のリスク評価と予防に結びつけるための、血液検査（空腹時血糖、HbA1c、空腹時血中脂質）、頸動脈エコー図検査、

心エコー図検査、一次健診で尿蛋白陽性例では尿中微量アルブミン定量などの検査と、特定保健指導である。

平成26年度は、本健診の受診案内の対象となった事業所での定期検診受診者89,698人の中で、受診対象の上記条件に相当し受診案内をおこなった受診者数は1,134人、そのうち当協会での二次健診受診者数は113人であった。二次健診結果を、表1、2に示す。動脈硬化関連所見が、頸動脈エコー図検査では受診者の7割以上に、心エコー図では半数近くに認められた。受診者の半数以上は、高血圧、糖尿病、脂質異常症などで受診中であった。残りのうち約8割において、生活習慣病で医療機関受診を必要とした。すべての受診者について、生活習慣の改善に関する保健指導をおこなった。

表1 労災二次健診受診者の臨床背景・血液生化学所見（n=113）

年齢（歳）	55±10
性別 男／女	95／18
現在喫煙中	29（26%）
現在受診中	65（58%）
高血圧	47（42%）
糖尿病	26（23%）
脂質異常症	12（11%）
その他	19（17%）
BMI（kg/m ² ）	28.0±3.6
腹囲（cm）	95.4±8.5
収縮期血圧（mmHg）	143±16
拡張期血圧（mmHg）	94±10
HDLコレステロール（mg/dl）	50±11
LDLコレステロール（mg/dl）	134±34
中性脂肪（mg/dl）	171±126
空腹時血糖（mg/dl）	143±46
HbA1c（%）	6.7±1.4

表2 労災二次健診受診者の頸動脈エコー図・心エコー図検査所見

頸動脈エコー図検査	n=113
プラーク	39（35%）
内中膜厚（IMT*）増大	82（73%）
異常所見なし	24（21%）
最大IMT（mm）	1.58±0.82
総頸動脈の平均IMT（mm）	0.99±0.36
心エコー図検査	n=113
左室肥大	32（28%）
大動脈弁硬化	26（23%）
大動脈弁逆流（全例軽度以下）	17（15%）
異常所見なし	44（39%）

*IMT：intima-media thickness

4. がん検診（産業保健巡回健診、施設健診）

（1）胃がん検診

事業所単位の胃がん検診希望者に対し、胃部X線検査を
検診車による出張検診（産業保健巡回健診）あるいは

協会での施設健診としておこなった。胃部X線検査は、
胃がんの死亡率減少効果がありとして推奨されている。

表1 胃部X線検査（産業保健巡回健診）

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	2,208	27	1.2	2,044	19	0.9	1,896	48	2.5
	女	723	9	1.2	630	9	1.4	604	19	3.1
	計	2,931	36	1.2	2,674	28	1.0	2,500	67	2.7
40～44	男	2,366	70	3.0	2,168	50	2.3	1,966	72	3.7
	女	922	25	2.7	780	17	2.2	722	20	2.8
	計	3,288	95	2.9	2,948	67	2.3	2,688	92	3.4
45～49	男	2,200	75	3.4	1,956	49	2.5	1,788	61	3.4
	女	841	34	4.0	722	10	1.4	696	25	3.6
	計	3,041	109	3.6	2,678	59	2.2	2,484	86	3.5
50～54	男	2,147	84	3.9	1,941	71	3.7	1,801	90	5.0
	女	829	34	4.1	680	15	2.2	641	26	4.1
	計	2,976	118	4.0	2,621	86	3.3	2,442	116	4.8
55～59	男	1,936	109	5.6	1,749	78	4.5	1,613	106	6.6
	女	646	25	3.9	576	14	2.4	557	25	4.5
	計	2,582	134	5.2	2,325	92	4.0	2,170	131	6.0
60～64	男	1,773	117	6.6	1,445	85	5.9	1,406	137	9.7
	女	349	15	4.3	289	9	3.1	290	22	7.6
	計	2,122	132	6.2	1,734	94	5.4	1,696	159	9.4
65～69	男	599	35	5.8	449	27	6.0	479	56	11.7
	女	84	6	7.1	71	2	2.8	73	6	8.2
	計	683	41	6.0	520	29	5.6	552	62	11.2
70～74	男	177	13	7.3	132	8	6.0	136	13	9.6
	女	22	1	4.5	11	0	0	12	1	8.3
	計	199	14	7.0	143	8	5.6	148	14	9.5
75歳以上	男	48	0	0	4	1	25.0	12	2	16.7
	女	64	0	0	7	1	14.3	6	0	0
	計	112	0	0	11	2	18.2	18	2	11.1
合 計	男	13,454	530	3.9	11,888	388	3.3	11,097	585	5.3
	女	4,480	149	3.3	3,766	77	2.0	3,601	144	4.0
	計	17,934	679	3.8	15,654	465	3.0	14,698	729	5.0

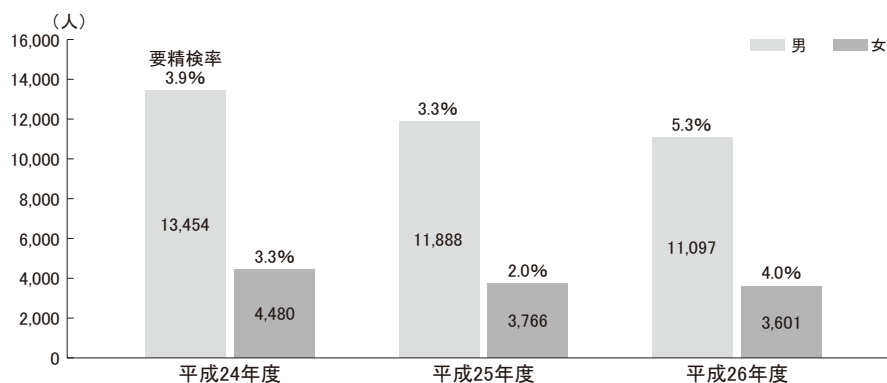


図1 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（産業保健巡回健診）

表2 胃部X線検査（施設健診）

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	1,566	42	2.7	1,706	40	2.3	1,792	59	3.3
	女	897	29	3.2	998	25	2.5	991	27	2.7
	計	2,463	71	2.9	2,704	65	2.4	2,783	86	3.1
40～44	男	1,597	49	3.1	1,603	51	3.2	1,903	62	3.3
	女	1,007	37	3.7	985	29	2.9	1,128	42	3.7
	計	2,604	86	3.3	2,588	80	3.1	3,031	104	3.4
45～49	男	1,305	46	3.5	1,337	50	3.7	1,653	78	4.7
	女	922	42	4.6	890	28	3.1	1,086	37	3.4
	計	2,227	88	4.0	2,227	78	3.5	2,739	115	4.2
50～54	男	1,158	62	5.4	1,077	60	5.6	1,402	77	5.5
	女	769	45	5.9	719	35	4.9	904	39	4.3
	計	1,927	107	5.6	1,796	95	5.3	2,306	116	5.0
55～59	男	960	57	5.9	878	64	7.3	1,162	101	8.7
	女	528	34	6.4	536	31	5.8	686	46	6.7
	計	1,488	91	6.1	1,414	95	6.7	1,848	147	8.0
60～64	男	902	78	8.6	797	75	9.4	941	76	8.1
	女	445	34	7.6	377	29	7.7	420	26	6.2
	計	1,347	112	8.3	1,174	104	8.9	1,361	102	7.5
65～69	男	444	44	9.9	393	47	12.0	516	44	8.5
	女	145	6	4.1	129	9	7.0	191	15	7.9
	計	589	50	8.5	522	56	10.7	707	59	8.3
70～74	男	174	13	7.5	141	14	9.9	204	17	8.3
	女	56	6	10.7	45	1	2.2	63	9	14.3
	計	230	19	8.3	186	15	8.1	267	26	9.7
75歳以上	男	21	2	9.5	12	1	8.3	24	4	16.7
	女	5	1	20.0	3	1	33.3	8	1	12.5
	計	26	3	11.5	15	2	13.3	32	5	15.6
合 計	男	8,127	393	4.8	7,944	402	5.1	9,597	518	5.4
	女	4,774	234	4.9	4,682	188	4.0	5,477	242	4.4
	計	12,901	627	4.9	12,626	590	4.7	15,074	760	5.0

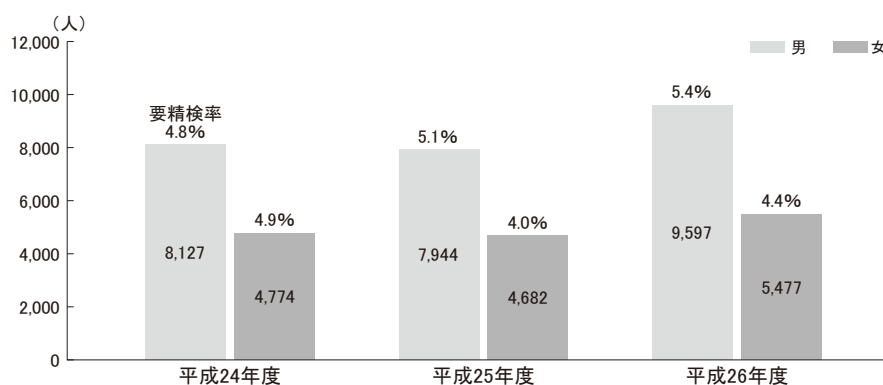


図2 胃がん検診年度別受診者数と要精検率（施設健診）

(2) 肺がん検診

肺がんはがん対策上、重要ながんの一つとなっている。肺がん検診は、胸部X線撮影と喀痰細胞診によっておこなわれている。喀痰細胞診はX線では発見しにくい肺門部肺がんの早期発見のため、喫煙指数（1日の本数×喫

煙年数）600以上、又は過去6カ月以内に血痰のあった受診者におこなうことが勧められている。当協会の職域検診もこれに準じておこなわれている。

表1 肺がん検診 ―胸部X線―

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	286	0	0	226	1	0.4	229	0	0
	女	205	0	0	168	0	0	143	0	0
	計	491	0	0	394	1	0.3	372	0	0
40～44	男	417	1	0.2	342	0	0	313	2	0.6
	女	362	2	0.6	348	0	0	324	1	0.3
	計	779	3	0.4	690	0	0	637	3	0.5
45～49	男	448	3	0.7	447	3	0.7	447	4	0.9
	女	410	2	0.5	426	2	0.5	438	2	0.5
	計	858	5	0.6	873	5	0.6	885	6	0.7
50～54	男	401	2	0.5	403	4	1.0	391	3	0.8
	女	409	3	0.7	396	4	1.0	404	6	1.5
	計	810	5	0.6	799	8	1.0	795	9	1.1
55～59	男	396	4	1.0	372	9	2.4	362	5	1.4
	女	402	6	1.5	399	6	1.5	388	5	1.3
	計	798	10	1.3	771	15	1.9	750	10	1.3
60～64	男	299	9	3.0	279	4	1.4	256	0	0
	女	40	0	0	37	0	0	25	0	0
	計	339	9	2.7	316	4	1.3	281	0	0
65～69	男	21	0	0	19	1	5.3	17	0	0
	女	4	0	0	4	0	0	0	0	0
	計	25	0	0	23	1	4.3	17	0	0
70～74	男	0	0	－	0	0	－	1	0	0
	女	0	0	－	0	0	－	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	1	0	0
75歳以上	男	0	0	－	0	0	－	0	0	－
	女	0	0	－	0	0	－	0	0	－
	計	0	0	－	0	0	－	0	0	－
合 計	男	2,268	19	0.8	2,088	22	1.1	2,016	14	0.7
	女	1,832	13	0.7	1,778	12	0.7	1,722	14	0.8
	計	4,100	32	0.8	3,866	34	0.9	3,738	28	0.7

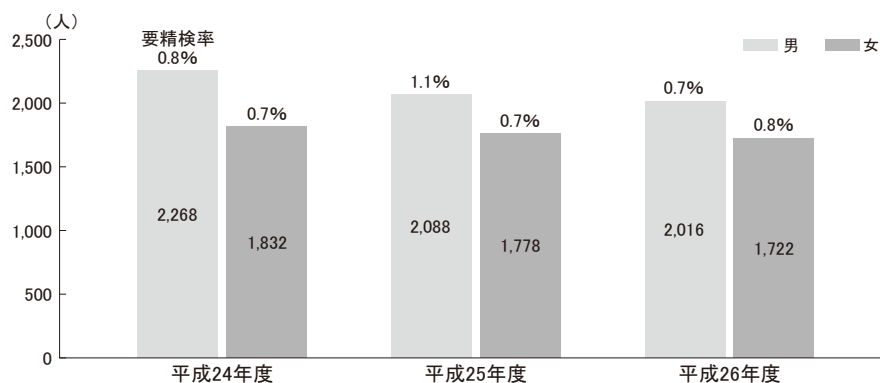


図1 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 ―胸部X線―

表2 肺がん検診 一喀痰検査一

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	41	0	0	32	0	0	19	0	0
	女	4	0	0	7	0	0	6	0	0
	計	45	0	0	39	0	0	25	0	0
40～44	男	85	0	0	74	0	0	51	0	0
	女	14	0	0	25	1	4.0	16	0	0
	計	99	0	0	99	1	1.0	67	0	0
45～49	男	115	0	0	85	0	0	69	0	0
	女	14	0	0	20	0	0	16	0	0
	計	129	0	0	105	0	0	85	0	0
50～54	男	159	0	0	146	0	0	115	0	0
	女	34	0	0	36	0	0	23	0	0
	計	193	0	0	182	0	0	138	0	0
55～59	男	146	0	0	142	2	1.4	109	0	0
	女	10	0	0	16	0	0	13	0	0
	計	156	0	0	158	2	1.3	122	0	0
60～64	男	135	1	0.7	135	0	0	79	0	0
	女	7	0	0	11	0	0	7	0	0
	計	142	1	0.7	146	0	0	86	0	0
65～69	男	48	0	0	69	1	1.4	29	0	0
	女	5	0	0	4	0	0	5	0	0
	計	53	0	0	73	1	1.4	34	0	0
70～74	男	23	0	0	27	0	0	18	1	5.6
	女	2	0	0	2	0	0	4	0	0
	計	25	0	0	29	0	0	22	1	4.5
75歳以上	男	39	0	0	30	1	3.3	29	0	0
	女	2	0	0	6	0	0	3	0	0
	計	41	0	0	36	1	2.8	32	0	0
合 計	男	791	1	0.1	740	4	0.5	518	1	0.2
	女	92	0	0	127	1	0.8	93	0	0
	計	883	1	0.1	867	5	0.6	611	1	0.2

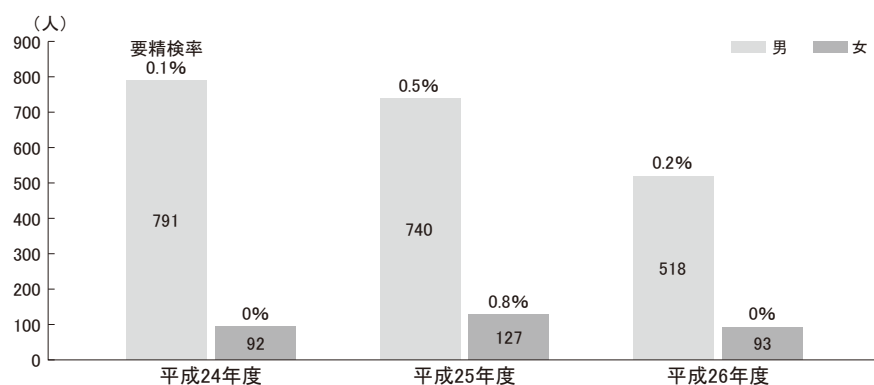


図2 肺がん検診年度別受診者数と要精検率 一喀痰検査一

(3) 大腸がん検診

施設健診および事業所の健診に付随して便潜血検査をおこなった。

近年、食生活の欧米化に伴い大腸がんは急増しているものの、早期がんの段階で発見、治療すれば予後は良好

で、5年生存率は90%以上と言われており、労働安全衛生法による定期健康診断と同時に実施するなど、受診率を高める必要がある。

表1 大腸がん検診（便潜血検査）〈施設〉

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	904	34	3.8	942	30	3.2	1,022	30	2.9
	女	458	19	4.1	460	19	4.1	534	17	3.2
	計	1,362	53	3.9	1,402	49	3.5	1,556	47	3.0
40～44	男	1,068	42	3.9	1,056	53	5.0	1,100	48	4.4
	女	520	22	4.2	556	19	3.4	552	33	6.0
	計	1,588	64	4.0	1,612	72	4.5	1,652	81	4.9
45～49	男	854	30	3.5	906	32	3.5	928	33	3.6
	女	484	17	3.5	478	19	4.0	502	27	5.4
	計	1,338	47	3.5	1,384	51	3.7	1,430	60	4.2
50～54	男	755	33	4.4	781	36	4.6	824	40	4.9
	女	456	18	3.9	431	19	4.4	457	24	5.3
	計	1,211	51	4.2	1,212	55	4.5	1,281	64	5.0
55～59	男	652	32	4.9	673	54	8.0	692	42	6.1
	女	346	16	4.6	360	14	3.9	399	15	3.8
	計	998	48	4.8	1,033	68	6.6	1,091	57	5.2
60～64	男	558	44	7.9	535	46	8.6	489	33	6.7
	女	285	17	6.0	273	20	7.3	252	10	4.0
	計	843	61	7.2	808	66	8.2	741	43	5.8
65～69	男	339	30	8.8	311	28	9.0	283	27	9.5
	女	128	6	4.7	126	3	2.4	129	4	3.1
	計	467	36	7.7	437	31	7.1	412	31	7.5
70～74	男	127	7	5.5	149	4	2.7	135	13	9.6
	女	56	2	3.6	58	5	8.6	45	1	2.2
	計	183	9	4.9	207	9	4.3	180	14	7.8
75～79	男	56	2	3.6	26	1	3.8	28	3	10.7
	女	2	2	100.0	6	1	16.7	0	0	－
	計	58	4	6.9	32	2	6.3	28	3	10.7
80歳以上	男	8	0	0	6	1	16.7	0	0	－
	女	6	0	0	8	0	0	0	0	－
	計	14	0	0	14	1	7.1	0	0	－
合 計	男	5,321	254	4.8	5,385	285	5.3	5,498	269	4.9
	女	2,741	119	4.3	2,756	119	4.3	2,882	131	4.5
	計	8,062	373	4.6	8,141	404	5.0	8,380	400	4.8

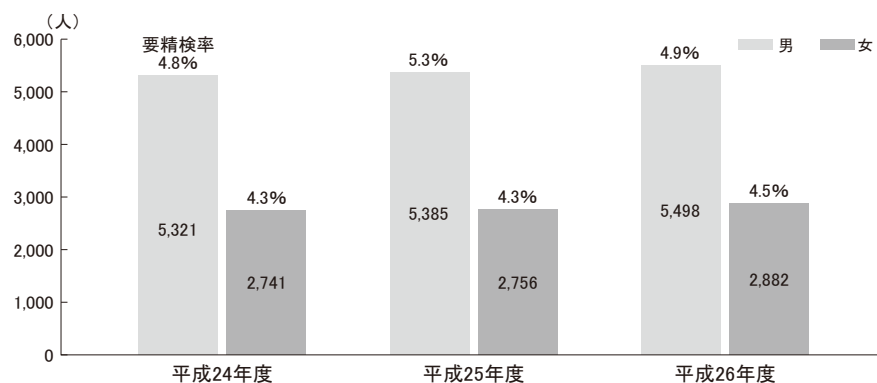


図1 大腸がん検診（便潜血検査）年度別受診者数と要精検率〈施設〉

表2 大腸がん検診（便潜血検査）〈職域〉

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	受診者数	要精検者数	要精検率(%)
39歳以下	男	7,600	255	3.4	4,401	150	3.4	5	0	0
	女	3,019	122	4.0	2,579	132	5.1	8	1	12.5
	計	10,619	377	3.6	6,980	282	4.0	13	1	7.7
40～44	男	5,176	188	3.6	4,539	179	3.9	3,689	162	4.4
	女	3,884	177	4.6	3,332	154	4.6	7,060	384	5.4
	計	9,060	365	4.0	7,871	333	4.2	10,749	546	5.1
45～49	男	4,308	144	3.3	3,818	186	4.9	3,316	161	4.9
	女	3,464	199	5.7	3,195	134	4.2	5,990	282	4.7
	計	7,772	343	4.4	7,013	320	4.6	9,306	443	4.8
50～54	男	4,196	199	4.7	3,581	186	5.2	3,253	196	6.0
	女	3,510	160	4.6	3,050	122	4.0	6,108	271	4.4
	計	7,706	359	4.7	6,631	308	4.6	9,361	467	5.0
55～59	男	4,042	227	5.6	3,495	228	6.5	3,573	233	6.5
	女	2,993	117	3.9	2,888	130	4.5	6,664	306	4.6
	計	7,035	344	4.9	6,383	358	5.6	10,237	539	5.3
60～64	男	4,056	247	6.1	3,505	238	6.8	5,721	459	8.0
	女	2,253	115	5.1	1,989	71	3.6	9,334	477	5.1
	計	6,309	362	5.7	5,494	309	5.6	15,055	936	6.2
65～69	男	1,699	130	7.7	1,794	144	8.0	4,102	289	7.0
	女	718	30	4.2	764	39	5.1	6,371	351	5.5
	計	2,417	160	6.6	2,558	183	7.2	10,473	640	6.1
70～74	男	611	51	8.3	653	59	9.0	5,055	442	8.7
	女	295	20	6.8	283	20	7.1	6,560	376	5.7
	計	906	71	7.8	936	79	8.4	11,615	818	7.0
75～79	男	116	14	12.1	106	6	5.7	2,917	286	9.8
	女	79	5	6.3	73	3	4.1	3,909	287	7.3
	計	195	19	9.7	179	9	5.0	6,826	573	8.4
80歳以上	男	47	5	10.6	57	7	12.3	2,442	279	11.4
	女	70	4	5.7	79	5	6.3	3,031	287	9.5
	計	117	9	7.7	136	12	8.8	5,473	566	10.3
合 計	男	31,851	1,460	4.6	25,949	1,383	5.3	34,073	2,507	7.4
	女	20,285	949	4.7	18,232	810	4.4	55,035	3,022	5.5
	計	52,136	2,409	4.6	44,181	2,193	5.0	89,108	5,529	6.2

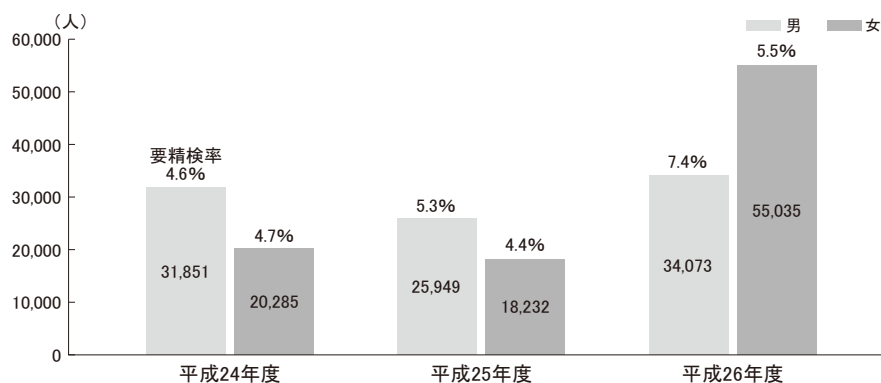


図2 大腸がん検診（便潜血検査）年度別受診者数と要精検率〈職域〉

5. 人間ドック

当協会開設以来の事業である「人間ドック」は、精度管理を徹底し「優良総合健診施設」の認定を受け実施している。

本年度の受診者数は、前年度より約500人減少した。

これは、新館への移転の影響というより阪神間の人間ドック実施施設の増加により、受診者がより身近でさまざまな点で自身にとって魅力的な施設を選択できるようになったことが大きな原因と考えられる。

有所見率については、男女ともこれまでより高い結果となった。インターネットなどのメディアを通じ膨大な

健康情報を得ることが可能となった現在、受診者の「健康」への関心はますます高くなり「健康寿命の延伸」を目的とした人間ドックにも精度だけでなくあらゆるサービスを含めたコスト・パフォーマンスの高さを求めていると考えられる。

このような状況を踏まえ当協会は、高い精度とさまざまなニーズに応える豊富なオプション検査や充実した事後指導、心温まる接遇で受診者から選ばれる施設となるよう努力しなければならない。

表1 半日ドック等

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
34歳以下	男	73	39	53.4	70	30	42.9	63	31	49.2
	女	68	28	41.2	67	30	44.8	78	46	59.0
	計	141	67	47.5	137	60	43.8	141	77	54.6
35～39	男	411	228	55.5	435	243	55.9	376	218	58.0
	女	318	178	56.0	317	163	51.4	279	167	59.9
	計	729	406	55.7	752	406	54.0	655	385	58.8
40～44	男	818	534	65.3	734	464	63.2	680	421	61.9
	女	610	325	53.3	585	315	53.8	548	304	55.5
	計	1,428	859	60.2	1,319	779	59.1	1,228	725	59.0
45～49	男	797	542	68.0	853	553	64.8	792	547	69.1
	女	596	346	58.1	576	360	62.5	537	343	63.9
	計	1,393	888	63.7	1,429	913	63.9	1,329	890	67.0
50～54	男	792	543	68.6	856	573	66.9	815	584	71.7
	女	666	398	59.8	624	361	57.9	597	404	67.7
	計	1,458	941	64.5	1,480	934	63.1	1,412	988	70.0
55～59	男	768	516	67.2	765	522	68.2	737	517	70.1
	女	568	356	62.7	596	362	60.7	567	380	67.0
	計	1,336	872	65.3	1,361	884	65.0	1,304	897	68.8
60～64	男	555	397	71.5	550	398	72.4	513	393	76.6
	女	366	249	68.0	341	212	62.2	305	215	70.5
	計	921	646	70.1	891	610	68.5	818	608	74.3
65～69	男	281	213	75.8	284	210	73.9	277	201	72.6
	女	179	117	65.4	163	105	64.4	167	125	74.9
	計	460	330	71.7	447	315	70.5	444	326	73.4
70～74	男	150	120	80.0	164	124	75.6	150	120	80.0
	女	81	53	65.4	79	56	70.9	81	56	69.1
	計	231	173	74.9	243	180	74.1	231	176	76.2
75歳以上	男	62	50	80.6	59	47	79.7	53	45	84.9
	女	31	26	83.9	36	28	77.8	36	29	80.6
	計	93	76	81.7	95	75	78.9	89	74	83.1
合 計	男	4,707	3,182	67.6	4,770	3,164	66.3	4,456	3,077	69.1
	女	3,483	2,076	59.6	3,384	1,992	58.9	3,195	2,069	64.8
	計	8,190	5,258	64.2	8,154	5,156	63.2	7,651	5,146	67.3

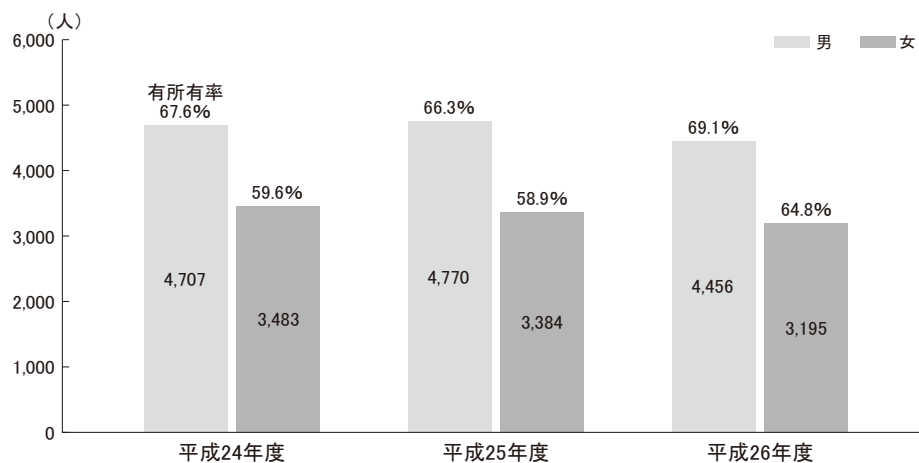


図1 半日ドック等年度別受診者数と有所見率

表2 脳ドック

年齢階級		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
		受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)	受診者数	有所見者数	有所見率(%)
34歳以下	男	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	女	2	1	50.0	0	0	—	0	0	—
	計	2	1	50.0	0	0	—	0	0	—
35～39	男	2	2	100.0	0	0	—	3	1	33.3
	女	1	0	0	3	0	0	1	1	100.0
	計	3	2	66.7	3	0	0	4	2	50.0
40～44	男	1	0	0	3	1	33.3	4	2	50.0
	女	5	1	20.0	4	2	50.0	2	0	0
	計	6	0	0	7	3	42.9	6	2	33.3
45～49	男	4	1	25.0	7	1	14.3	9	1	11.1
	女	5	1	20.0	8	2	25.0	4	1	25.0
	計	9	2	22.2	15	3	20.0	13	2	15.4
50～54	男	30	12	40.0	43	10	23.3	20	7	35.0
	女	34	13	38.2	40	14	35.0	14	4	28.6
	計	64	25	39.1	83	24	28.9	34	11	32.4
55～59	男	40	9	22.5	41	18	43.9	32	12	37.5
	女	34	20	58.8	46	13	28.3	28	7	25.0
	計	74	29	39.2	87	31	35.6	60	19	31.7
60～64	男	3	2	66.7	17	6	35.3	11	3	27.3
	女	12	6	50.0	16	4	25.0	12	6	50.0
	計	15	8	53.3	33	10	30.3	23	9	39.1
65～69	男	4	0	0	5	1	20.0	1	0	0
	女	3	1	33.3	1	1	100.0	3	3	100.0
	計	7	1	14.3	6	2	33.3	4	3	75.0
70～74	男	2	1	50.0	2	2	100.0	3	2	66.7
	女	1	0	0	0	0	—	0	0	—
	計	3	1	33.3	2	2	100.0	3	2	66.7
75歳以上	男	2	0	0	3	3	100.0	0	0	—
	女	1	1	100.0	2	0	0	2	2	100.0
	計	3	1	33.3	5	3	60.0	2	2	100.0
合 計	男	88	27	30.7	121	42	34.7	83	28	33.7
	女	98	44	44.9	120	36	30.0	66	24	36.4
	計	186	71	38.2	241	78	32.4	149	52	34.9

脳ドックにおける受診者数を年齢別にみると50歳代が最も多く、全体の63.1%（男性62.7%、女性63.6%）を占め、有所見者数も全体の57.7%（男性67.9%、女性45.8%）と多い。

50歳代の各判定所見をみると、頭部MRIでは無症候性脳梗塞が多く17.0%（男性18.8%、女性13.3%）、次に腫瘍が10.6%（男性9.4%、女性13.3%）、以下、のう胞が4.3%（男性4.3%、女性－%）、脳梗塞が2.1%（男性2.1%、女性は－%）、水頭症が2.1%（男性－%、女性2.1%）、解離が2.1%（男性2.1%、女性－%）という結果であり、

また、耳鼻咽喉所見については6.4%（男性6.3%、女性6.7%）という結果であった。

頭部MRAでは動脈瘤が多く40.4%（男性34.4%、女性53.3%）、次に動脈狭窄が2.1%（男性2.1%、女性－%）、動静脈瘻が2.1%（男性2.1%、女性－%）という結果であった。

頸部MRAでは動脈狭窄が多く6.4%（男性6.4%、女性－%）、次に解離が2.1%（男性2.1%、女性－%）、壁不整が2.1%（男性－%、女性2.1%）という結果であった。

表3 脳ドック判定別有所見数

年齢階級		受診者数	有所見者数	有所見数(※1)	頭部MRI								頭部MRA				頸部MRA			
					無症候性脳梗塞	脳梗塞	腫瘍(※2)	のう胞	硬膜下血腫	耳鼻咽喉(※2)	水頭症	解離	血管の集簇	動脈狭窄	動脈瘤	動静脈瘻	早期描出	動脈狭窄	解離	壁不整
39歳以下	男	3	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	計	4	2	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
40～44	男	4	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	女	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
45～49	男	9	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	女	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	計	13	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
50～54	男	20	7	11	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0
	女	14	4	6	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	計	34	11	17	4	0	3	2	0	0	1	0	0	0	6	1	0	0	0	0
55～59	男	32	12	21	3	1	1	0	0	2	0	1	0	1	8	0	0	3	1	0
	女	28	7	9	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1
	計	60	19	30	4	1	2	0	0	3	0	1	0	1	13	0	0	3	1	1
60～64	男	11	3	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0
	女	12	6	12	5	0	0	1	0	1	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0
	計	23	9	18	7	0	0	1	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0
65～69	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	3	7	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	計	4	3	7	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
70～74	男	3	2	5	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	2	5	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
75歳以上	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	2	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	計	2	2	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
合 計	男	83	28	51	12	1	3	3	1	5	0	1	0	1	15	2	1	5	1	0
	女	66	24	41	12	0	2	1	0	4	1	0	1	3	14	1	0	1	0	1
	計	149	52	92	24	1	5	4	1	9	1	1	1	4	29	3	1	6	1	1

※1 有所見者数から各判定ごとの有所見数（複数所見あり）

※2 腫瘍は皮膚所見等も含む/耳鼻咽喉所見の腫瘍は耳鼻咽喉に含む

新規ドック「いきいきライフドック」は、要介護予防を目的に、認知機能や運動機能（ロコモティブシンドローム）の低下、栄養状態の悪化（フレイル）、動脈硬化のリスクを検査する。その結果により、当日の医師の結果説明と保健指導、さらに6カ月間の継続支援とその後のフォロー（確認）検査など、受診者個人の状態に合わせてサポート（生活指導）をおこなう。

6カ月間の継続支援には、受診者の状態に合わせて、

もの忘れ・身体バランス（ロコモ）・栄養バランス・動脈硬化の4つの支援コースを設けている。

フォロー（確認）検査では6カ月間の効果を確認し、その結果から今後の生活改善の取り組み内容を再度、医師・保健師と相談する。

今年度の受診者数は28名（男性11名、女性17名）で、リスク判定の結果はもの忘れ1名、ロコモ2名、栄養低下3名、動脈硬化15名、リスクなし7名であった。

表4 いきいきライフドック受診者数およびリスク判定結果

年齢階級		受診者数	リスク判定結果				
			リスクなし	もの忘れ	ロコモ	栄養低下	動脈硬化
50歳代	男	2	1	0	0	0	1
	女	1	0	0	0	1	0
	計	3	1	0	0	1	1
60歳代	男	8	2	0	0	0	6
	女	6	2	0	0	0	4
	計	14	4	0	0	0	10
70歳代	男	1	0	0	1	0	0
	女	10	2	1	1	2	4
	計	11	2	1	2	2	4
合 計	男	11	3	0	1	0	7
	女	17	4	1	1	3	8
	計	28	7	1	2	3	15

6. 保健指導

(1) 特定保健指導事業

特定保健指導とは、生活習慣病の予防を目的とした事業で、特定健診受診者をレベルに応じて階層化し、動機付け支援レベルおよび積極的支援レベルに該当した対象者に指導をおこなう。積極的支援の対象者は40歳以上65

歳未満である。勧奨後終了者数と最終評価実施者数を合わせたものを終了者数とした。

平成26年度の特定保健指導は実施中のため、平成25年に実施した特定保健指導の状況について示す。

i. 地域保健

神戸市国民健康保険から委託された特定健診受診者を階層化し、対象者を選定した。対象者には案内を送付し、希望者に特定保健指導を実施した。また申し込みのな

かった対象者には電話で参加勧奨をおこなった。

平成25年度から集団健診の受診者だけでなく、個別健診の受診者についても医療機関より希望があれば、特定保健指導を実施している。

表1 特定保健指導実施状況（動機付け支援）

年齢階級	性別	対象者数	初回 実施者数	終了者数	最終評価 実施者数
40～44	男	125	6	5	5
	女	44	2	2	2
	計	169	8	7	7
45～49	男	72	2	1	1
	女	46	5	4	2
	計	118	7	5	3
50～54	男	73	4	4	3
	女	51	4	4	4
	計	124	8	8	7
55～59	男	88	7	7	6
	女	73	3	3	3
	計	161	10	10	9
60～64	男	159	11	10	10
	女	194	27	27	25
	計	353	38	37	35
65～69	男	962	53	50	48
	女	472	36	33	31
	計	1,434	89	83	79
70～74	男	927	79	74	73
	女	378	39	35	29
	計	1,305	118	109	102
合 計	男	2,406	162	151	146
	女	1,258	116	108	96
	計	3,664	278	259	242

表2 特定保健指導実施状況（積極的支援）

年齢階級	性別	対象者数	初回 実施者数	最終評価 実施者数
40～44	男	176	6	5
	女	17	1	0
	計	193	7	5
45～49	男	161	5	4
	女	17	1	1
	計	178	6	5
50～54	男	152	7	7
	女	25	2	2
	計	177	9	9
55～59	男	167	4	3
	女	41	4	4
	計	208	8	7
60～64	男	350	14	12
	女	114	8	4
	計	464	22	16
合 計	男	3,412	36	31
	女	1,472	16	11
	計	4,884	52	42

ii. 産業保健

平成25年度は出張実施として6つの医療保険者から、施設実施として集合契約を結んだ医療保険者などから委託を受け、特定保健指導を実施した。

表1 特定保健指導実施状況（動機付け支援）

年齢階級	性別	初回 実施者数※	終了者数	最終評価 実施者数
40～44	男	12	8	7
	女	8	7	6
	計	20	15	13
45～49	男	8	5	5
	女	5	3	3
	計	13	8	8
50～54	男	12	8	8
	女	3	3	3
	計	15	11	11
55～59	男	5	4	4
	女	1	1	1
	計	6	5	5
60～64	男	5	3	2
	女	0	0	0
	計	5	3	2
65～69	男	11	6	6
	女	0	0	0
	計	11	6	6
70～74	男	6	5	5
	女	0	0	0
	計	6	5	5
合計	男	59	39	37
	女	17	14	13
	計	76	53	50

※初回支援のみ契約で実施した人数も含む

表2 特定保健指導実施状況（積極的支援）

年齢階級	性別	初回 実施者数	最終評価 実施者数
40～44	男	30	14
	女	1	0
	計	31	14
45～49	男	19	11
	女	0	0
	計	19	11
50～54	男	15	10
	女	0	0
	計	15	10
55～59	男	15	9
	女	2	0
	計	17	9
60～64	男	7	5
	女	0	0
	計	7	5
合計	男	86	49
	女	3	0
	計	89	49

（2）健康相談事業

生活習慣病対策は、健康寿命を延伸するために極めて重要である。勤務形態や生活習慣を見直し、健康的な習

慣を作り出していただくことを目的として健康相談をおこなっている。

i. 地域保健

a. がん検診勧奨事業

神戸市からの委託を受け、神戸市市民健診会場に保健師が出務し、がん検診の受診勧奨をおこなっている（表1）。出務回数は112回あった。

b. 当日健康相談

神戸市市民健診会場に保健師が出務し、医師の指示があったものおよび希望者の相談に応じている（表2）。出務回数は112回あった。

表1 がん検診勧奨事業

種別	実施人数
胃がん	5,677
大腸がん	5,439
乳がん	5,570
子宮頸がん	3,866
肺がん	4,700
計	25,252

表2 当日健康相談

種別	実施人数
受診勧奨	64
健康相談	659
その他	140
延べ合計	863
実数合計	749

c. 相談業務

健診結果、諸検査、検査の意味、所見、および日常生活の改善点に関する質問や疑問については電話と面接で対応している（表3、4）。

表3 電話・面接健康相談

相談方法	実施人数
電 話	1,149
面 接	0
計	1,149

表4 健康相談内容

相談内容	相談件数
身体（BMI・腹囲）	12
血圧	39
脂質（中性脂肪・HDL・LDL）	162
肝機能（AST・ALT・ γ GTP）	57
糖代謝（血糖・HbA1c・尿糖）	104
腎機能（尿蛋白・尿潜血・Cre・eGFR）	91
貧血（RBC・血色素量・Ht値）	31
尿酸	27
肝炎（B型・C型）	11
胸部X線	35
心電図	58
眼底	63
骨粗鬆症	28
睡眠時無呼吸症候群	5
各種がん検診	228
その他	167
計	1,118

ii. 産業保健

a. 施設内健康相談

施設内健康相談には、半日ドック、一泊ドックの結果説明時に実施する健康相談や労災二次健診における健康相談などがある。二次検査および受診の勧奨や運動・栄養などの生活習慣改善の相談を実施している（表5、6）。

表5 結果説明および健康相談

事業名	実施人数
半日ドック	445
一泊ドック	179
労災二次	107
計	731

表6 半日ドック健康相談内容

相談項目	相談件数
ダイエット	169
脂質異常	12
高血圧	23
糖尿病	39
不眠	24
肝障害	58
腰痛	11
アルコール	11
高尿酸血症	2
慢性疲労	1
禁煙	1
更年期	8
眼精疲労	14
貧血	6
関節疾患	2
アレルギー	20
乳腺疾患	17
子宮疾患	2
メンタル（全般）	17
その他	235
計	672

b. 出張健康相談

依頼のあった事業所1カ所に対して、健康診断の結果に基づき抽出した受診者や希望者に実施している。

iii. その他

地域保健や産業保健以外で、骨粗鬆健診やドックの受診者に対して、医師による結果説明の後に運動・栄養などの生活習慣改善相談を実施している（表7）。

表7 その他の結果説明および健康相談

事業名	実施人数
骨粗しょう症健診	106
半日ドック	101
一泊ドック	8
計	215

7. 細胞診

神戸市の委託を受け、「神戸市子宮頸がん検診」および「神戸市肺がん検診」における“細胞診部門”を実施している。

また、神戸市内医療機関が一般診療として実施する「子宮がん細胞診（一般診療）」を受託している。

（１）子宮がん細胞診

ⅰ 神戸市子宮頸がん検診

昭和47年、神戸市の委託を受けて、「神戸市子宮がん細胞診センター」が当協会に設置され、細胞診は子宮頸がん検診における主軸をなしてきた。検診体制は、昭和58年度の老人保健法施行、平成11年度一般財源化、平成17年度の検診対象条件改正（年齢が30歳以上から20歳以上、受診間隔が通年から隔年）を経てきた。さらに平成21年度から5年間、20、25、30、35、40歳を対象に「女性特有のがん検診」が実施された。平成26年度は、このうち平成21～24年度の未受診者と20歳を対象に、無料クーポン券による検診が実施された。

【神戸市子宮頸がん検診システム】

日本産婦人科医会の方式に基づき、神戸市指定医療機関（約95施設）で採取された検体は、神戸市医師会医療センターが収集し、当協会へ搬入される。検査成績は、このルートにより、当該医療機関へ報告する。

細胞診成績の報告様式は、平成22年より、従来のクラス分類にベセスダシステムによる分類（表3）を併記していたが、厚生労働省の通達を受け、平成27年度よりベ

セスダシステムに統一される。判定結果が要精検の場合、医療機関宛に追跡調査を実施し、統計表を月次集計表と同様に、神戸市へ報告する。また、各医療機関へ神戸市および医療機関毎の集計表を報告するなど、連携して検診事業の精度向上に努めている。

平成26年度の「神戸市子宮頸がん検診細胞診成績」を表1と図1に示した。44歳以下の若年層において検査数が多いのは、「無料クーポン検診」によるものである。神戸市が独自に実施している「40歳総合健診」（無料）により40～44歳で、妊娠を契機としたものと思われる25～39歳で特に多くなっている。要精検数は、44歳以下が全体の79.4%を占め、その成績は“ASC-US”が42.1%を占めており、HPV検査への対応が必要と思われる。また、不適正検体減少のため関係機関との協力が重要である。

過去3年間の「細胞診実施状況推移」を表2に示した。平成26年度は「無料クーポン検診」により、検査数は大幅に増加した。また、要精検率は概ね一定の値で推移している。

表1 神戸市子宮頸がん検診 細胞診成績（ベセスダシステム）

年齢 階級	検査数	不適正 検体率 (%)	NILM	扁平上皮系					腺系			Other malig	要精検 者数	要精 検率 (%)
				ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Ad.ca			
20～24	2,759	7.2	2,480	40	6	27	7	0	0	0	0	0	80	2.9
25～29	4,118	7.2	3,702	49	10	35	22	1	1	0	0	0	118	2.9
30～34	6,071	8.7	5,402	67	13	26	31	2	3	0	0	0	142	2.3
35～39	6,269	8.7	5,586	41	17	23	42	6	4	0	3	0	136	2.2
40～44	7,356	7.5	6,640	73	17	27	40	2	6	0	1	0	166	2.3
45～49	2,063	8.3	1,849	21	3	7	10	0	2	0	0	0	43	2.1
50～54	2,497	10.4	2,186	18	2	7	16	3	5	0	0	0	51	2.0
55～59	1,399	12.7	1,209	8	1	1	1	0	1	0	0	0	12	0.9
60～64	1,818	12.0	1,574	9	4	3	6	1	2	0	0	1	26	1.4
65～69	1,340	11.7	1,167	6	3	1	3	2	0	0	0	1	16	1.2
70～74	1,272	12.7	1,095	8	3	1	1	1	2	0	0	0	16	1.3
75～79	373	14.5	318	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.3
80歳以上	310	14.2	264	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.7
計	37,645	8.9	33,472	340	79	158	179	21	26	0	4	2	809	2.2

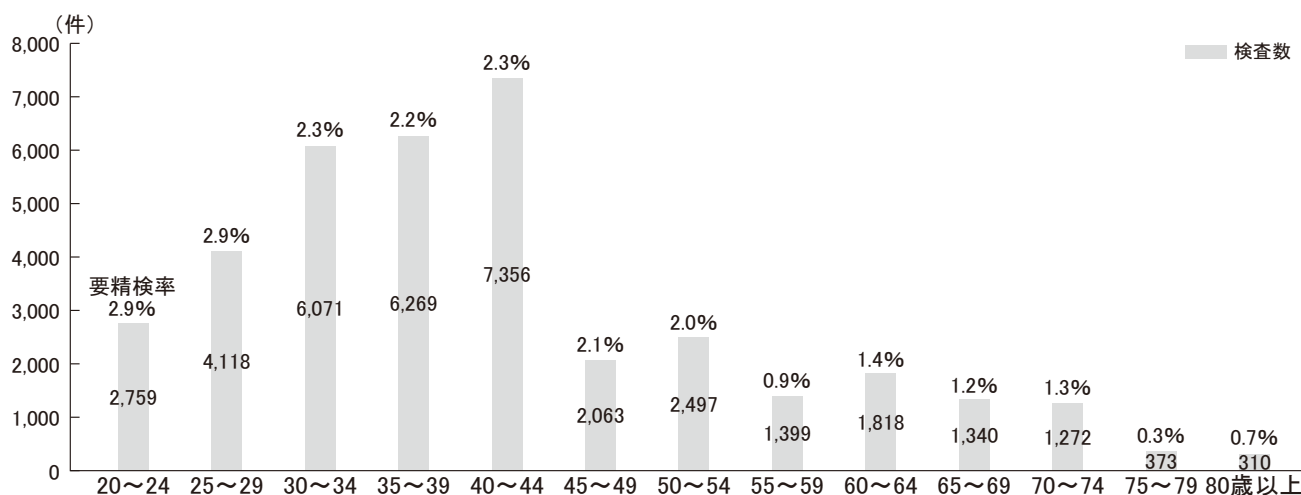


図1 神戸市子宮頸がん検診検査数と要精検率（細胞診成績）

表2 神戸市子宮頸がん検診
細胞診実施状況推移

	検査数	要精検 者数	要精検率 (%)
平成24年度	32,936	737	2.2
平成25年度	31,773	699	2.2
平成26年度	37,645	809	2.2

表3 ベセスダシステム分類

分類名	意 味
NILM	正常な細胞のみ
ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い
ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い
LSIL	軽度扁平上皮内病変
HSIL	高度扁平上皮内病変
SCC	扁平上皮がんと考えられる細胞を認める
AGC	腺細胞系に悪性を疑う細胞を認める
AIS	腺細胞系に悪性の可能性が高い細胞を認める
Adenocarcinoma	腺細胞系に悪性と考えられる細胞を認める
Other malig	悪性と考えられる細胞を認める

ii. 子宮がん細胞診（一般診療）

医療機関において一般診療として実施される子宮がん細胞診を受託し、神戸市子宮頸がん検診システムに準じて運用している。標本作製方法は従来法（直接塗抹法）に加え、平成23年度より要望に応じて液状検体処理法（LBC）を採用している。検体採取部位は、従来法では子宮頸部と体部、LBCでは頸部のみである。

表4に平成26年度の「子宮がん細胞診成績・一般診療」を、表5に「子宮がん細胞診実施状況推移（一般診療）」を表した。

表5に「子宮がん細胞診実施状況推移（一般診療）」を表した。

検査数は、子宮頸部の従来法で40歳代、LBCで30歳代、子宮体部（従来法）は40・50歳代で多くなっている。子宮頸部でみると、不適正検体率は、従来法で13.0%、LBCで0.5%、要精検率は、従来法で3.8%、LBCで5.4%であった。LBCによる検診の精度の高さを明確に示したと思われる。

表4 子宮がん細胞診成績・一般診療

標本作製法 採取部位	LBC				従来法（直接塗抹法）							
	子宮頸部				子宮頸部				子宮体部			
年齢階級	検査数	不適正 検体率 (%)	要精検 者数	要精 検率 (%)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精検 者数	要精 検率 (%)	検査数	不適正 検体率 (%)	要精検 者数	要精 検率 (%)
19歳以下	15	6.7	1	6.7	5	20.0	1	20.0	0	—	0	—
20～24	147	0	6	4.1	51	9.8	3	5.9	2	0	0	0
25～29	276	0.4	20	7.3	100	13.0	1	1.0	5	0	0	0
30～34	367	0.3	22	6.0	118	7.6	7	5.9	13	0	0	0
35～39	408	0.2	19	4.7	141	12.1	7	5.0	34	0	2	5.9
40～44	302	0.7	19	6.3	163	10.4	4	2.5	87	0	2	2.3
45～49	204	0.5	10	4.9	171	8.8	3	1.8	121	0	8	6.6
50～54	161	0	6	3.7	145	14.5	3	2.1	137	0	8	5.8
55～59	91	1.1	9	9.9	138	15.2	4	2.9	63	0	6	9.5
60～64	68	1.5	4	5.9	81	18.5	6	7.4	19	0	0	0
65～69	86	2.3	1	1.2	66	19.7	2	3.0	17	0	2	11.8
70～74	62	0	0	0	52	21.2	3	5.8	12	0	1	8.3
75～79	40	0	2	5.0	39	12.8	3	7.7	8	0	1	12.5
80歳以上	22	0	3	13.6	30	20.0	2	6.7	5	0	0	0
計	2,249	0.5	122	5.4	1,300	13.0	49	3.8	523	0	30	5.7

表5 子宮がん細胞診実施状況推移（一般診療）

	標本作製法	採取部位	検査数	要精検率 (%)	採取部位	検査数	要精検率 (%)
平成24年度	直接塗抹法	子宮頸部	2,641	3.8	子宮体部	966	4.8
	LBC	子宮頸部	2,387	7.0			
平成25年度	直接塗抹法	子宮頸部	2,016	4.0	子宮体部	953	6.5
	LBC	子宮頸部	2,563	6.2			
平成26年度	直接塗抹法	子宮頸部	1,300	3.8	子宮体部	523	5.7
	LBC	子宮頸部	2,249	5.4			

（２）喀痰細胞診

神戸市肺がん検診 喀痰細胞診

昭和62年、老人保健法に基づく肺がん検診が導入され、神戸市より委託を受けて、当協会が「喀痰細胞診」を実施している。

神戸市指定医療機関（約450施設）から提出された受診者の喀痰は、神戸市医師会医療センターが収集し、当協会に搬入される。検査結果は神戸市肺がん検診読影委員会へ報告し、胸部X線検査結果と併せて総合判定される。

平成26年度の検査数および検査状況（表1・図1）を見ると、男女ともに45～59歳の受診者が少なく、60～74歳で多くなっている。一方、40～44歳で多く特に女性では際立っているが、これは神戸市が「肺癌集団検診の手

引き」より対象者を40歳以上に拡大し、さらに「40歳総合健診」（無料）を実施しているためである。要精検は男性3例、女性1例であった。

- [補足] ・要精検者数＝判定区分D（悪性疑）＋E（悪性）
 ・要精検率％＝要精検者数／検査数－判定区分A（材料不適）
 ・判定区分B（正常）・C（良性）

年度別の検査状況推移（表2）では、検査数は概ね一定しており、毎年少数ながら要精検者が見つかった。

肺がん検診は、胸部X線検査および高危険群への喀痰細胞診の併用で、死亡数減少効果があるとされている。今後は、検診効率を高めるためにも、喫煙者や高齢者などの高危険群に対する受診勧奨を強化すべきと思われる。

表1 男女別年齢階級別検査状況

年齢階級		検査数	要精検者数	要精検率 (%)
35～39	男	2	0	0
	女	2	0	0
	計	4	0	0
40～44	男	465	0	0
	女	1,156	1	0.09
	計	1,621	1	0.06
45～49	男	144	0	0
	女	220	0	0
	計	364	0	0
50～54	男	157	0	0
	女	226	0	0
	計	383	0	0
55～59	男	162	0	0
	女	262	0	0
	計	424	0	0
60～64	男	388	1	0.26
	女	406	0	0
	計	794	1	0.13
65～69	男	747	1	0.13
	女	651	0	0
	計	1,398	1	0.07
70～74	男	980	1	0.10
	女	723	0	0
	計	1,703	1	0.06
75～79	男	396	0	0
	女	323	0	0
	計	719	0	0
80歳以上	男	293	0	0
	女	252	0	0
	計	545	0	0
合 計	男	3,734	3	0.08
	女	4,221	1	0.02
	計	7,955	4	0.05

表2 年度別検査状況推移

	性別	検査数	要精検者数	要精検率 (%)
平成24年度	男	3,610	1	0.03
	女	4,053	1	0.04
	計	7,663	2	0.04
平成25年度	男	3,467	3	0.09
	女	4,058	0	0
	計	7,525	3	0.04
平成26年度	男	3,734	3	0.08
	女	4,221	1	0.02
	計	7,955	4	0.05

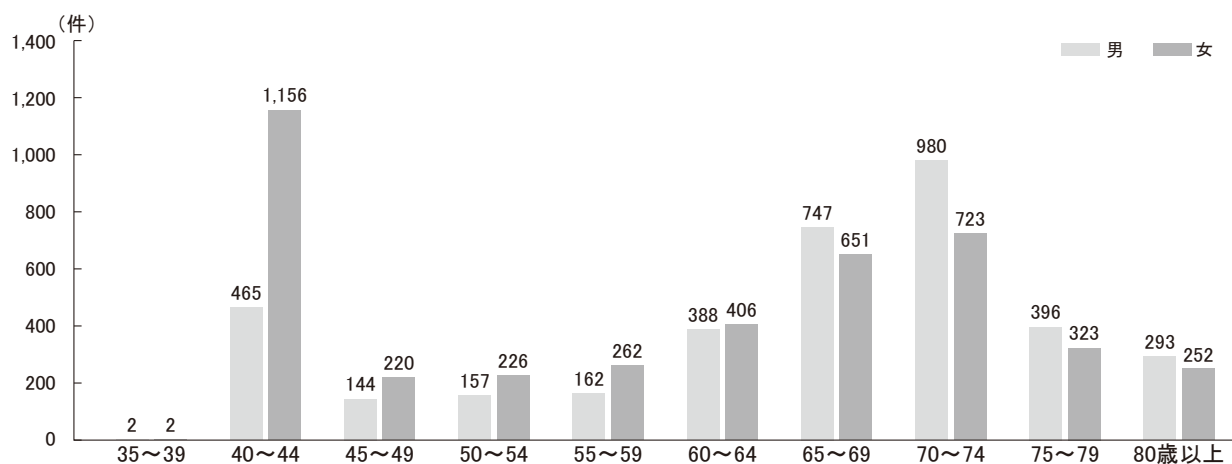


図1 肺がん検診年齢階級別検査数（喀痰細胞診）

8. 腸内細菌検査

腸内細菌検査は、主として食品取り扱い者（給食従事者を含む）からの依頼に応じて実施している。また、平成15年より神戸市の感染症関連業務の一部の4項目（赤痢菌・腸チフス菌・パラチフス菌・腸管出血性大腸菌 O-157）を継続受託している。

平成26年度におこなったサルモネラ保菌検査は86,980件で、16件の検出があった。一方、腸管出血性大腸菌保

菌検査は86,309件で、8件の検出があった。また、赤痢保菌検査は86,953件で、検出は一切なかった。

協会では、サルモネラ食中毒防止の疫学的解析の一つとなると考え、保菌者検索で分離した株の血清群を確認している。平成26年度は、O7群56.3%、O4群18.8%、O8群18.8%、その他6.1%であった。

表1 腸内細菌年度別検査件数と陽性件数

年 度	検査件数			陽性件数		
	赤痢菌	サルモネラ属菌	腸管出血性大腸菌	赤痢菌	サルモネラ属菌	腸管出血性大腸菌
平成24年度	107,342	107,372	112,471	0	61	1
平成25年度	94,096	94,124	98,683	0	29	14
平成26年度	86,953	86,980	86,309	0	16	8

表2 年度別神戸市保健所受託検査件数

平成24年度	赤痢菌	9	陽性者なし			
	腸チフス菌	7	陽性者なし			
	パラチフス菌	0	陽性者なし			
	腸管出血性大腸菌 O-157	57	VT I のみ（1名）			
平成25年度	赤痢菌	8	陽性者なし			
	腸チフス菌	0	陽性者なし			
	パラチフス菌	6	陽性者なし			
	腸管出血性大腸菌 O-157	136	VT I・II（13名） VT II のみ（1名）			
平成26年度	赤痢菌	4	陽性者なし			
	腸チフス菌	4	陽性者なし			
	パラチフス菌	0	陽性者なし			
	腸管出血性大腸菌 O-157	69	VT I・II（2名）	VT I のみ（3名）	VT II のみ（3名）	

9. 環境測定

1. 作業環境測定

労働安全衛生法に基づく作業環境測定をおこなう機関として、有害物取扱事業所の労働衛生管理の一翼を担い、特殊健康診断と連携して働く人のより快適な職場環境づくりに協力している。

また、測定精度の維持、向上のため、（公社）日本作業環境測定協会の「総合精度管理事業」、各種講習会などに継続して参加し、「粉じん計の較正」の実施と併せ、適正な測定業務の遂行に努めている。

平成26年度の測定件数は表1に示すとおり、測定受託事業所数57、年2回の実施を含めた延べ事業場数は115と前年度に比べて増加した。これは、印刷、洗浄、塗装業務などに使用される有機溶剤並びに特別有機溶剤などを対象とする測定の増加によるところが大きい。

測定結果の報告に加えて、作業場の作業環境改善の具体策についても助言を実施した。測定・評価の結果、前年度と同様に、作業環境管理の状態について改善を要すると判断された作業場の割合は、騒音、特定化学物質順で高く、改善が進んでいない状況が続いており施設設備改善の難しさも一因であると推察される。

2. 事務所衛生基準規則などの空気環境測定

作業環境測定機関の他に、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく空気環境測定業の登録をおこない、特定建築物に該当する施設、その他事業所の事務所などにおける空気環境の測定をおこない、環境管理の支援をおこなっている。

表2に今年度の実施数を示す。

表1 作業環境測定件数（指定作業場）

		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
事業所数（延べ数）		42（76）		46（95）		57（115）	
測定項目	測定箇所数	単位作業場	測定点	単位作業場	測定点	単位作業場	測定点
粉 じ ん	重量法	19	19	23	23	22	22
	相対濃度法	19	200	23	155	22	152
	個人暴露	6	11	3	7	4	8
特定化学物質（金属類を除く）		56	359	78	506	80	532
特定化学物質（金属類）		0	0	0	0	23	149
金 属 類		7	71	4	26	5	58
分 析 の み		5	117	4	78	2	54
有 機 溶 剤		48	349	76	548	93	647
騒 音 測 定		17	178	19	191	11	113
局 所 排 気 装 置		6	96	6	96	6	96
計		183	1,400	236	1,630	268	1,831

表2 空気環境測定等件数（測定点数）

測 定 項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事 務 所 衛 生 基 準	915	911	897
喫 煙 対 策	4	2	0
熱 中 症 対 策	7	7	0
計	926	920	897

10. 食品検査

1. はじめに

厚生労働省登録を受けた食品検査機関であり、主として地域の食品関連事業者における自主衛生管理をサポートする種々の検査を実施している。

微生物検査を中心とするさまざまな検査を実施しており、食品工場や飲食店の施設設備や加工食品の微生物汚染の検査を通して衛生管理をサポートしている。また、衛生レベルの向上と食中毒事故の防止を目的とした助言や衛生講習会をおこなっている。

行政関連としては、平成16年度より引続き、神戸市内の公・私立保育所（園）の給食室を対象とした衛生調査を実施しており、食の安全・安心に対する関心が高まっている中、公益性の高い業務の実施に努めている。

2. 業務内容

食品の微生物および理化学的成分について、次の検査と検査結果に基づく衛生指導助言をおこなっている。

- (1) 食品の品質および安全性に関する検査
- (2) 食品の苦情などに基づく異物の同定検査
- (3) 食品の品質保持期限などの設定のための保存検査
- (4) 調理器具類、従事者手指などのふき取り検査（衛生調査）、検査結果に基づく衛生指導（文書、現場指導）

3. 結果

平成26年度の検査実績は、検体数で3,672件、検査項目数で10,606件であり（表1）、内訳は微生物検査が8,448項目（表2）、理化学検査が2,158項目（表3）であった。前年度比では、検体数が30%の減少となったものの、項目数では10%の増加となった。

衛生調査は、のべ約350施設に対し実施し、現場での助言、文書助言、衛生講習会などを実施し、改善指導を支援した。

表1 食品検査検体数および検査項目数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
検 体 数	6,232	5,473	3,672
延べ検査項目数	11,541	9,749	10,606

（検体数、延べ検査項目数には、ふき取り検査件数が含まれる。）

表2 細菌検査件数

検査項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大 腸 菌 群	2,430	2,721	3,201
一 般 生 菌 数	3,068	2,026	2,490
腸 炎 ビ ブ リ オ	225	122	108
黄 色 プ ド ウ 球 菌	1,316	1,542	1,150
サ ル モ ネ ラ	385	297	237
腸管出血性大腸菌	421	344	274
大 腸 菌 (<i>E.coli</i>)	172	170	104
カンピロバクター	126	48	74
セ レ ウ ス 菌	332	22	16
真 菌 検 査	444	328	350
そ の 他	82	60	444
計	9,001	7,680	8,448

表3 理化学検査件数

項 目		平成24年度	平成25年度	平成26年度
栄養成分	水分	297	269	333
	たんぱく質	11	19	9
	脂質	18	15	6
	炭水化物	326	306	421
	エネルギー	9	17	6
	無機質	23	31	11
	ビタミン	6	2	0
乳・乳製品	乳脂肪分	1	1	0
	無脂乳固形	7	7	0
添 加 物		26	19	17
汚染物質	無機化合物	185	118	1
	有機化合物	0	1	0
	残留農薬	72	96	0
	動物用医薬品	0	0	0
保存・変質	水分活性	295	260	323
	pH値	318	262	348
	VBN・アミン類	3	24	17
	油脂酸化	641	531	650
そ の 他	異物	92	44	0
	器具・容器包装	158	0	0
	おもちゃ	0	0	0
	その他	52	44	16
計		2,540	2,066	2,158

11. 水質検査

水質検査は、飲用水検査として水質基準に照らされる建築物衛生管理や貯水槽水道、飲用井戸管理の検査のほか、遊泳プール、公衆浴場などの衛生管理上の検査である。平成26年度の実施件数は2,223件であった（表1）。

水道事業体対象の水質検査および計量証明事業を廃業した関係で大幅な減少があった。

飲用水検査、プール衛生管理検査において水質基準或いは管理基準を超過する割合（不適率）は毎年ほぼ同程度であったが、平成26年度は飲料水簡易検査において不適率の増加が見られた。これは掘削直後と思われる井戸水検査の高い不適率に起因している。

表1 水質検査実施件数推移

検 査 項 目	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	件数	不適	不適率(%)	件数	不適	不適率(%)	件数	不適	不適率(%)
井戸水等精密検査	34	6	17.6	35	6	17.1	1	0	0
建築物環境衛生関係検査	80	0	0	75	0	0	24	0	0
飲料水簡易検査(10・11項目)	375	25	6.7	392	4	1.0	287	41	14.3
プール水(学校・一般)	177	7	4.0	128	0	0	116	0	0
レジオネラ検査	804	－	－	773	－	－	604	－	－
排水等計量証明検査	508	－	－	431	－	－	－	－	－
その他	1,284	－	－	1,247	－	－	1,191	－	－
計	3,262	－	－	3,081	－	－	2,223	－	－

12. 水道施設検査

1. 概 要

厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関として受水槽水道施設(簡易専用水道および小規模受水槽水道)の検査を実施し、安全で衛生的な水の確保に対する貢献を図っている。

簡易専用水道とは、水道事業の用に供する水道から供給を受ける水を水源とし、給水方式が受水槽方式であり、この受水槽の有効容量が10立方メートルを超えるものをいう。

設置者は供給される水の安全および衛生を確保するために、厚生労働省令で定める基準に従いその水道を管理し、さらに設置者自らが管理の適否について専門的な知識を有する者の検査を受けることと定められている。

一方、受水槽の有効容量が10立方メートル以下の施設においては法規制対象外であったため、管理の不徹底に起因した衛生上の問題が発生する可能性が指摘されてきた。その後、各自治体では受水槽水道衛生管理指導要綱などを整備し、受水槽の有効容量が10立方メートル以下の施設に対しても、簡易専用水道と同等の管理をおこなうよう規定し、受水槽の有効容量の区別を設けることなく安全で衛生的な飲料水の確保を図っている。

2. 検査内容および実施結果

検査内容は、大きくは次の3つに分けられる。

○施設の外観検査

○給水栓における水質検査

○書類検査

施設の外観検査を主とするが、検査項目としては74あり、それぞれの項目について判定し3段階の総合判定を決める。

簡易専用水道検査は平成26年度においても、県内の広い範囲で3,572施設の検査を実施した(表1、表2)。全体で「良好」の判定は2,855施設(79.9%)、「やや良(概ね良好)」が715施設(20.0%)、「要改善(速やかに改善を要する)」が2施設(0.1%)であった。良好施設の割合は、ここ数年横ばいであったが、平成26年度は増加に転じた。

小規模受水槽水道では、法的な検査義務がないこともあり、880施設の検査を実施した(表2、表3)。

検査後、改善が必要な施設については実務担当者などに具体的な改善方法などを例示、提案し、補修および改善の参考となるよう助言をおこなっている。また、所轄監督行政機関との連携を深めることにより、受検を促し、安全で衛生的な水の確保への貢献に努めている。

表1 受検施設数の推移(簡易専用水道)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受 検 施 設 数	3,945	3,748	3,572
良 好 施 設 数	3,098	2,920	2,855
良好施設割合(%)	78.5	77.9	79.9

良好施設割合(%)=(良好施設数/受検施設数)

表2 地域別受検施設数および検査結果

検査対象地域	検査施設数	検査結果（総合判定）								小規模施設数
		良 好		やや良(概ね良好)		要改善				
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)			
神戸市	1,557	1,282	82.3	274	17.7	1	0.1	715		
宝塚市	296	233	78.7	63	21.3	0	0	40		
芦屋市	279	227	81.4	52	18.6	0	0	22		
明石市	349	270	77.4	79	22.6	0	0	19		
三田市	170	130	76.5	40	23.5	0	0	9		
川西市	177	137	77.4	40	22.6	0	0	12		
川辺郡猪名川町	33	28	84.8	5	15.2	0	0	5		
篠山市	40	32	80.0	8	20.0	0	0	8		
丹波市	44	39	88.6	5	11.4	0	0	4		
洲本市	41	29	70.7	11	29.3	1	2.4	3		
淡路市	53	40	75.5	13	24.5	0	0	1		
南あわじ市	42	30	71.4	12	28.6	0	0	0		
西宮市	387	296	76.5	91	23.5	0	0	19		
伊丹市	18	16	88.9	2	11.1	0	0	3		
尼崎市	34	25	73.5	9	26.5	0	0	9		
姫路市	26	23	88.5	3	11.5	0	0	5		
三木市	8	4	50.0	4	50.0	0	0	1		
加古川市	8	7	87.5	1	12.5	0	0	3		
加西市	1	1	100.0	0	0	0	0	0		
加古郡播磨町	1	1	100.0	0	0	0	0	0		
高砂市	4	2	50.0	2	50.0	0	0	0		
朝来市	1	1	100.0	0	0	0	0	0		
小野市	2	2	100.0	0	0	0	0	1		
加東市	1	0	0	1	100.0	0	0	0		
赤穂市	0	0	－	0	－	0	－	1		
計	3,572	2,855	79.9	715	20.0	2	0.1	880		

表3 受検施設数の推移（小規模受水槽水道）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
受検施設数	991	919	880

Ⅲ 予防医学に関する 調査研究事業

調査・研究

1. 論文発表（総説論文、原著論文等）

- (1) 高橋かおる：自家製血球試料によるHbA1cの精度管理. 臨床検査 58：768-769, 2014
- (2) 朴貴志：X線学的胃粘膜萎縮度について－胃がん検診におけるハイリスクストラテジーとしての一考－. 予防医学ジャーナル 477：16-20, 2014
- (3) 金本栄美：学校心臓検診における心音図の役割－小学生と中学生でその役割は異なるのか？－. 予防医学ジャーナル 477：26-29, 2014
- (4) 亀井真由美：心身両面の健康評価に基づく事後指導－メンタルヘルスにおける1次予防実現に向けて－. 予防医学ジャーナル 477：66-70, 2014
- (5) 平田奈穂美：行動変容をめざした特定保健指導－教材として性格テストを取り入れた試み（中間報告）－. 予防医学ジャーナル 477：71-75, 2014
- (6) 高橋かおる：中性脂肪やコレステロールを検査する際の注意点は？. Nutrition Care メディカ 出版 vol.7 no.11：27-29, 2014
- (7) 伊藤光男：オフフレーバーの分析法（1）－データベースを用いた方法－. Foods & Food Ingredients journal of Japan vol.219：14-24, 2014
- (8) 池窪勝治：健診における甲状腺結節の早期診断とメディカルマネジメント－超音波検査を中心に－. 総合健診 vol.42：261-272, 2015

2. 学会報告等

- (1) 山浦泰子：無症状の大動脈弁逆流とメタボリックシンドローム－経胸壁心エコー図法による大動脈根径計測値の検討－, 第25回日本心エコー図学会学術集会, 金沢, 2014.4.17-19
- (2) 山浦泰子：健康診断や人間ドックにおける心エコー図法のあり方, 日本超音波医学会第87回学術集会, 横浜, 2014.5.9-11
- (3) 高橋かおる：安価で精度の高いHbA1cの精度管理 自家作製プール血球試料と市販品との比較, 第57回日本糖尿病学会, 大阪, 2014.5.22-24
- (4) 島屋真希：職域大腸がん検診における医療保険の影響, 第52回日本消化器がん検診学会大会, 神戸, 2014.10.23-26

- (5) 宮本祐見子：チェックリストからみた採血業務の現状分析，第49回予防医学技術研究会議，沖縄，2015.2.26－27
- (6) 猪又麻子：メンタルヘルスチェックを職場環境改善に活かすために－ストレスチェック義務化を見越して－，第49回予防医学技術研究会議，沖縄，2015.2.26－27
- (7) 山浦泰子：検診に生かす心エコー図検査，第26回日本心エコー図学会学術集会，北九州，2015.3.26－28

IV 健康支援のための健康増進 事業及び健康教育事業

1. 健康づくり事業

健康づくり事業は、自分の生活習慣を振り返る機会を講義や実践などを通して提供している。参加者がこの事業をきっかけに、望ましい生活習慣を身につけ、健康の

増進・維持、疾病の予防を図っていくために、年齢や性別などを考慮し、ニーズにあわせたさまざまな企画をおこなっている。

(1) 健康学習

i. 土曜健康科学セミナー

前期（4～9月）12回、後期（10～3月）12回開催し、認知症や肺炎、ロコモティブシンドロームなど高齢者に多い疾患や、生活習慣病予防、ガン予防などについて、

専門の講師にお話していただいた。

参加者は前期1,106名、後期1,202名であった。

今後も幅広いテーマを取り上げ、内容を深く発展させ、市民の健康に寄与していきたい。

開催日	テ　　マ	講　　師	参加人数
4月12日	脂質異常症（高脂血症）についてのウソホント －動脈硬化を防ぐコツ教えます－	神戸大学大学院医学研究科 循環器内科学特命教授 石田 達郎	132
4月26日	めまいの耳よりな話	兵庫医科大学 耳鼻咽喉科講師 坂 直樹	96
5月10日	高齢者のうつと認知症 －高齢者のメンタルヘルスを健康に保って 充実した毎日を－	神戸学院大学教授 神戸大学名誉教授 前田 潔	120
5月24日	消化器疾患における新しい診断法について	神戸大学大学院医学研究科 病因病態解析学分野長（准教授） 吉田 優	92
6月14日	本当に恐ろしいタバコの話 －タバコフリーライフの勧め－	NPO法人日本タバコフリー学会 代表理事 藺 潤	24
6月28日	PM2.5による大気汚染とその健康影響	兵庫医科大学 公衆衛生学主任教授 島 正之	78
7月12日	睡眠と健康 －眠りについて学ぼう－	大阪回生病院 睡眠医療センター部長 谷口 充孝	104
7月26日	変形性膝関節症とロコモティブシンドローム	神戸市立医療センター中央市民病院 整形外科部長 安田 義	109
8月2日	白内障 －どんな病気？どんな治療？－	神戸市立医療センター中央市民病院 眼科副医長 下園 正剛	81
8月23日	痒みや痛みを伴う皮膚病、伴わない皮膚病	西神戸医療センター 皮膚科部長 堀川 達弥	92
9月6日	喘息治療で金メダル	神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科部長 富井 啓介	59
9月27日	在宅医療と介護のこれから	神戸市看護大学教授 都筑 千景	119
10月11日	身近な救急と災害	神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センターセンター長 有吉 孝一	57
10月25日	もしかして認知症？ －予防と早期発見のコツ教えます－	神戸大学医学部附属病院 神経内科准教授 古和 久朋	130
11月1日	いきいきシルバーライフの食生活 －食べる喜びは元気の源－	武庫川女子大学 生活環境学部 食物栄養学科教授 前田佳予子	67
11月22日	肺炎は老人の友 －高齢者の誤嚥性肺炎の予防－	神戸市立医療センター西市民病院 呼吸器内科部長 富岡 洋海	123

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
12月6日	炎症性腸疾患 内科治療の最前線	兵庫医科大学 炎症性腸疾患内科教授 中村 志郎	53
12月13日	緩和ケア、いのちに関わる病気にかかったら －もしも、の時のことについてあらかじめ 話し合う－	神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科特命教授 木澤 義之	87
1月10日	寿命は血管の老化から －急性心筋梗塞や脳梗塞にならないための 秘訣－	神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 平田 健一 循環器内科学分野教授	162
1月24日	関節リウマチが治せる病気になってきました	医療法人社団神鋼会 神鋼病院 膠原病リウマチセンター 熊谷 俊一 センター長	75
2月14日	高齢者にやさしい低侵襲がん医療	神戸低侵襲がん医療センター 理事長・病院長 藤井 正彦	110
2月28日	不安障害 －パニック障害を中心に－	大野こころのクリニック院長 大野 顕子	109
3月14日	睪臓のがん －最新の診断と治療について－	神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科医長 和田 将弥	110
3月28日	かしこいがん検診の受け方	大阪大学大学院医学系研究科 予防環境医学専攻 祖父江友孝 社会環境医学講座教授	119

合計人数 2,308

ii. 健康づくりセミナー

健康に関するトピックスなどをテーマに、健診で用いられるさまざまな検査の意義などの情報を交えたシンポ

ジウムを3回開催した。

食に関する正しい知識の普及啓発と食育情報の発信として食育講演会も3回開催した。

開催日	テ ー マ	講 師	参加人数
6月21日	食育講演会 古くて新しいこんにゃくの世界	株式会社上野商店 代表取締役社長 上野 隆弘 寄ってっ亭輪楽主宰 介護支援専門員 澤田 公美	82
10月4日	食育講演会 大麦パワーで健康に －からだの中から美しく－	石橋工業株式会社 管理栄養士 中尾 奈津美 桑原とも子	67
11月29日	シンポジウム 検査でわかる腎臓病 －健診結果の見方・生かし方－	(公財)兵庫県予防医学協会 健診センター副センター長 中谷 利夫 臨床検査技師 西田 勝彦 臨床検査技師 玉田 幸恵 臨床検査技師 伊加 貴信	86
12月3日	はつらつ健康セミナー 健康長寿の秘訣とは	(公財)兵庫県予防医学協会会長 南部 征喜 落語家 笑福亭學光	100
3月7日	シンポジウム 消化器系の健康診断の受け方、 検査結果の見方・生かし方	(公財)兵庫県予防医学協会 常務理事 安田 敏成 診療放射線技師 下村 耕司 看護師 水津 京子 臨床検査技師 倉橋由里子	78
3月17日	食育講演会 チーズ業界注目新ジャンル 第3のチーズ	マリンフード株式会社 板井 吉規	54

合計人数 467

(2) 健康づくり教室

健康づくり教室では、運動や休養を主とした『トータルコース』と食生活を主とした『ライフキッチンコー

ス』を開催している。

i. トータルコース

トータルコースの目的は、自分の生活を振り返り、望ましい生活習慣を身につけ、健康増進・維持を図っていただけるようにすることである。

身体と心の両面から働きかけ、初心者から始めていけるようにさまざまなコースを設定している。教室の中では実践の場を設け、家庭でも続けて実行していけるようにしている。

教 室 名			実施回数	参加人数(延べ)
予防医学コース	検査で自分の状態を知り、運動や実習を通して疾病の予防や改善に取り組んでいく	認知症予防実践教室 頭にいいラジオ実践編	7	57
		50歳からの「脳力アップ」セミナー（全4回）	2	29
		膝痛なくなれ！運動教室（全6回）	2	17
		骨量測定付き骨粗しょう症予防運動教室（全4回）	3	17
		尿もれを体操で予防！！（全2回）	3	26
癒し・創作コース	ストレスに対処する方法を講話や実習を通して体験したり、創作によって五感や感覚刺激し、自らの心の健康の必要性を考え実践していく	自律訓練法	2	35
		腹式呼吸法	2	35
		認知行動療法	2	59
		瞑想法入門	2	37
		リンパマッサージ	2	39
		快眠法	2	28
		コミュニケーション講座〈コーチング〉（全3回）	2	33
		自己コントロール力を身につける（全2回）	1	10
		自律訓練法 心と体の緊張を緩和するリラクゼーション法（全4回）	1	12
		コミュニケーション講座〈心理学〉（全2回）	1	13
		プリザーブドフラワー	4	44
		フラワーアレンジメント クリスマスアレンジ	1	6
		つば押し&エアフレッシュナーづくり	1	13
		セルフリンパマッサージ	5	70
		フェイスリンパマッサージ&メイク	4	62
		音楽療法	12	149
運動コース	身体を動かすことで得られるリフレッシュ感や、自分の体力の衰えを実感することで、日常生活での運動の必要性を理解し実践していく	和太鼓のひびき 鑑賞&演奏体験	1	21
		歌って笑って♪健康体操	36	403
		歌って笑って♪健康体操 無料体験講座	3	31
		骨粗しょう症予防のための太極拳教室	3	25
		バランスボール&ストレッチポール	12	94
		和みのヨガ	42	506
		女性のためのフェロモンストレッチ、メリハリ☆ボディ	12	166
		自力整体	12	225
		自分でカンタンゆがみリセット	2	51
		エアロビ	1	7

合計人数 2,320

ii. ライフキッチンコース

ライフキッチンコースでは、初めて包丁を持つという料理初心者から、栄養バランスを考えた献立づくりを学びたい料理経験者まで、それぞれのレベルやニーズにあわせた講座を幅広く開催し、健康づくりのための食生活改善に楽しく取り組める機会を提供している。「美味し

く、安全に」を原則に、衛生管理の知識の啓発にも力を入れている。

今年度は、食生活講話と薄味体験などを合わせた疾病予防を目的とした教室をおこない、受診勧奨や予防啓発もおこなった。

開催日	時間帯	教室名	内 容	参加人数
4月10日～6月5日	夜間	料理の基礎コース	料理の基本技術をマスターし、料理がしてみたい入門編	15
7月10日～9月11日				17
10月9日～12月11日				17
1月29日～3月12日				16
4月22日～6月10日	夜間	はじめてクッキング	料理初級者を対象に、作ることと食べることの楽しさを覚え、食材に関する知識や栄養バランスを考えた食事づくりが学べるコース	10
7月8日～9月9日				9
10月28日～12月9日				13
1月27日～3月10日				11
4月25日	夜間	味わいごはん	『おいしい』はもちろん、からだにうれしい健康的な家庭料理を学べるコース	13
5月9日				17
5月23日				14
6月6日				13
7月25日				9
8月8日				10
8月22日				10
9月5日				11
10月17日				9
10月31日				10
11月14日				8
11月28日				11
1月30日				9
2月13日				11
2月27日				10
3月13日				10
4月9日	夜間	まんぞくクッキング 作って満足！ 楽しくて満足！ おいしくて満足！ 少しの手間で内容充実の献立づくりのコツを学びます	なつかしの定番料理	5
6月4日			豆パワーで夏を迎える 手作り豆腐&豆づくし	16
8月6日			川床風 夏は野菜でごちそう	18
10月1日			秋の味覚で中華	9
12月3日			欧州各国料理でクリスマス	23
2月4日			冬のあったかおばんざい	14

開催日	時間帯	教室名	内 容	参加人数
5月14日	午前	まんぞくクッキング アンコール まんぞくクッキングで人気のあったメニューを再びおさらいするコース	簡単お手軽フレンチ	21
7月9日			ピリ辛料理で夏バテ予防	7
9月10日			トマトの恵み丸かじり	16
11月12日			冬のおもてなし料理	16
1月14日			中華で代謝アップ	7
3月11日			陽気なイタリアン	9
4月16日	午前	いきいき食生活 ヘルシー料理食事会 健康的な生活の源は正しい知識と健全な食生活にあり！必要なエネルギーや塩分など体にやさしい食事を講話と試食で学ぶコース	健診結果から食生活改善	11
5月21日			骨は体の大黒柱	11
6月18日			健康のカギは“腸”にあり	13
7月16日			夏を乗り切ろう	9
8月20日			正しく知って防ごうロコモ	13
9月17日			血管の老化を防ごう	10
10月15日			賢いアブラの選び方	13
11月19日			冬の血圧管理術	12
12月17日			「朝食」で頭も体もスッキリ	11
1月21日			かくれ糖尿病にご用心	12
2月18日			身体を動かすと脳は鍛えられる	10
3月18日			お酒だけじゃない脂肪肝	15
4月17日	午前	いきいき食生活 ヘルシー料理を作る会 健康的な生活の源は正しい知識と健全な食生活にあり！必要なエネルギーや塩分など体にやさしい食事を講話と調理実習で学ぶコース	健診結果から食生活改善	7
5月22日			骨は体の大黒柱	9
6月19日			健康のカギは“腸”にあり	6
7月17日			夏を乗り切ろう	8
8月21日			正しく知って防ごうロコモ	15
9月18日			血管の老化を防ごう	12
10月16日			賢いアブラの選び方	15
11月20日			冬の血圧管理術	13
12月18日			「朝食」で頭も体もスッキリ	8
1月22日			かくれ糖尿病にご用心	10
2月19日			身体を動かすと脳は鍛えられる	10
3月19日			お酒だけじゃない脂肪肝	9
9月24日	午後	慢性腎臓病（CKD） 予防教室	健常者およびCKD予備群を対象に、予防、早期発見・治療の重要性を啓発し、受診勧奨をおこない重症化を予防する	24
10月7日				23
10月8日				22
12月2日				24
12月4日				24
12月19日				23
3月4日				24
3月6日				20
3月20日				19

開催日	時間帯	教 室 名	内 容		参加人数
4月5日	午前	お魚クッキング	春のおべんとう		26
6月28日			初夏の爽やかおもてなし料理		11
8月2日			栄養たっぷり明石ダコを使って和カフェランチ風に		15
10月4日			紅葉膳 おしゃれミニ懐石風に		16
12月6日			郷土料理 鯖のキズシ・鰯の味噌漬け		24
2月28日			飯ダコで作る明石のタコピザ		11
4月18日	午前	季節のごちそう	春爛漫 松花堂弁当		24
6月25日			我家の味・おばんざい		15
8月27日			夏本番 体にやさしいヘルシー中華		12
10月3日			心も体も温まる おしゃれな秋味		11
12月5日			迎春料理		29
2月20日			ひなまつり祝い膳		19
5月24日	午前	今さら聞けない?！ 料理の“基本のき”	初夏の中国料理		6
7月26日			夏のシンプル和食		11
9月13日			フレンチ風 狩人の収穫祭		4
11月15日			クリスマスディナー		19
1月10日			節分のお献立		16
3月14日			御馳走和食		16
11月29日	午前	ヘルシークッキング	基本のおせち料理		20
12月13日	午前	今話題の食品や昔ながらの 行事食をとおして、旬の素 材や四季の変化を感じる食 生活を学ぶコース	今年のおせちはひと工夫		22
3月7日	午後		珈琲くらぶ～サイフォンを使ったいれ方～		20
4月23日	午後	ヘルシークッキング 番外編	英国式紅茶を 楽しむ会	世界のいろいろな紅茶と テイスティング	9
7月23日				夏のおもてなし クリーミー・ティーシェイク	20
10月22日				秋に楽しむロイヤルミルクティー	16
1月28日				おもてなしの紅茶 気軽にティーパーティー	21
5月16日	午後	紅茶やコーヒーの歴史や入 れ方などを学び、食に対す る興味を高めるコース	本格珈琲の会	ホットもアイスもおいしく楽しく	7
9月26日				コーヒーをおいしく楽しく －抽出方法による味わいのちがい－	17
12月10日				コーヒーをおいしく楽しく －世界のコーヒーを味わいましょう－	14
4月11日	午前	美味しいコツのわかる お菓子教室	オムレット・オ・フレーズ&サクサク・ベリーサブレ		12
7月2日			クッキー・シュークリーム&シューケット		18
11月26日			ミニブッシュロールケーキ&パンナコッタ		13
2月6日			ボンブ・ラム&フロランタン		11

合計人数 1,414

2. 健康づくり支援事業

(1) 講師派遣など

健康づくり支援事業では、事業所・団体向けに健康教育のための教室の開催、講師派遣をおこなっている。

平成26年度も、講話や検査、運動実践や調理実習などを組み合わせた教室の開催やポピュレーションアプローチを目的とした講習会に、医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士、トレーナーなどの講師派遣をおこなった。

神戸市保健福祉局健康づくり支援課と全国健康保険協会からの依頼による糖尿病予防セミナーでは、講演と健

診フロアでおこなう健康チェックをおこなった。

また、機関紙などの依頼に、健康や栄養などをテーマに原稿を提供した。

これらの機会を通して、健康づくりへの知識の普及や取り組みへの動機付けをおこなうとともに、当協会が実施する各種健康診断や健康づくり教室を案内し、栄養・運動・休養をトータル的に実践できる施設として、健康ライフプラザのPRをおこなった。

実施月	依頼先	内容	回数	出務職種
4月	日本山村硝子株式会社	アサーションでコミュニケーションが変わる！	1	保健師
	兵庫県土建一般労働組合 姫路支部	意外とヘルシー！？ コンビニ食の上手な活用術	1	保健師
5月	川崎重工業健康保険組合	兵庫工場 36歳健康セミナー 食事からはじめるあなたの健康ライフ	1	管理栄養士
6月	神戸税関	生活習慣病対策～中食を上手に利用しよう～	1	保健師
	兵庫区保健福祉部保護課	健診結果の生かし方	1	保健師
	兵庫自動車販売店健康保険組合	健康管理推進委員会 太りにくい身体作りについて －プラス10－	1	健康運動指導士
7月	生活協同組合コープこうべ	健康教室 上手に食べて健康力アップ 楽しく身体を動かそう	3	管理栄養士 健康運動指導士
	川崎重工業健康保険組合	神戸本社 食生活改善セミナー 食事からはじめるあなたの健康ライフ	1	管理栄養士
	公益財団法人 神戸市公園緑化協会	王子動物園 職員向け健康づくり教室 背中すっきり！ 背中が楽になる身体の使い方を学ぼう	2	健康運動指導士
8月	川崎重工業健康保険組合	健康アップセミナー 家族の健康を守るのはあなた ～もう献立で悩まない～	4	管理栄養士
	明石市総務部職員厚生課	ライフプランセミナー 楽しい栄養学講座 運動実践	1	管理栄養士 トレーナー
	生活協同組合コープこうべ	健康教室 上手に食べて健康力アップ 楽しく身体を動かそう	1	管理栄養士 健康運動指導士
9月	地方独立行政法人 神戸市民病院機構	神戸市看護職員リフレッシュ研修 プリザーブドフラワー、リフレッシュ体操	2	専門講師 トレーナー
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	3	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	健診結果の見方・生かし方 リラックス体操	3	保健師
	川崎重工業健康保険組合	明石工場 25. 30歳従業員対象健康教室 食事からはじめるあなたの健康ライフ	2	管理栄養士

実施月	依 頼 先	内 容	回数	出務職種
9月	甲南土木建築労働組合	健診結果でわかる体のサイン	1	保健師
	生活協同組合コープこうべ	ファミリー倶楽部「D会員の集い」 認知症にならないために “50歳からの脳力アップセミナー”	1	医師 保健師 健康運動指導士
	神戸地方裁判所	気づいて防ぐ腰痛のセルフケア	1	保健師
	兵庫県市町村職員共済組合	退職予定者セミナー 退職後の健康づくりについて	1	管理栄養士
	川崎重工業株式会社	メンタルヘルスセミナー 体験して納得！ 人と自分との上手な付き合い方	1	保健師
10月	兵庫県市町村職員共済組合	退職予定者セミナー 退職後の健康づくりについて	5	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	知って得する！？ 太りにくい食べ方とは 簡単ストレッチ	2	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	7	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	よりよい睡眠を得るために 安眠を誘うストレッチ	2	保健師
	日工株式会社 日工健康保険組合	健康教室 疲労回復に役立つストレッチ ～目、肩、腰などの疲れをためない方法～	1	健康運動指導士
	明石市総務部職員厚生課	ヘルシー料理講座 楽うまヘルシーメニュー	1	管理栄養士
	地方独立行政法人 神戸市民病院機構	神戸市看護職員リフレッシュ研修 プリザーブドフラワー、リフレッシュ体操	3	専門講師 トレーナー
	神戸市兵庫区まちづくり推進部 まちづくり課	兵庫区スポーツまつり 区民運動会 簡易骨密度測定・血圧測定・光学式ヘモグロビン測定	1	保健師 看護師 トレーナー
	神戸市建設局西部建設事務所	体力測定	1	トレーナー
	神戸市職員共済組合	知っておきたい「うまい」アルコールとの付き合い方 リラックス体操	1	管理栄養士
	健康保険組合連合会兵庫連合会	生活習慣病予防セミナー 講演 生活習慣病と動脈硬化 ～アンチエイジングは血管から～ 講話 動脈硬化を食事で予防 ヘルシー料理試食、健康度測定	1	医師 管理栄養士 看護師 診療放射線技師 臨床検査技師
	公益財団法人 先端医療振興財団	神戸医療産業都市一般公開来場者対象 健康チェック 簡易骨密度測定・自動式血圧測定・簡易認知機能検査・ 光学式ヘモグロビン測定・体組成測定	1	臨床検査技師 保健師 トレーナー
	尼崎市総務局人事管理部 給与課	労働衛生月間事業研修会 ロコモティブシンドロームの予防について	1	健康運動指導士
11月	尼崎市総務局人事管理部 給与課	尼崎市保育士等特別健康診断事後指導 腰痛予防教室	12	健康運動指導士 保健師
	神戸市職員共済組合	知って得する！？ 太りにくい食べ方とは 簡単ストレッチ	3	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	よりよい睡眠を得るために 安眠を誘うストレッチ	3	保健師
	日本山村硝子株式会社	健康情報を読み解く力を身につけよう ～知って得するウソ・ホント～	1	保健師

実施月	依 頼 先	内 容	回数	出務職種
11月	社会福祉法人 神戸市北区社会福祉協議会	ボランティアスキルアップ講座 今日から使える健康体操	1	健康運動指導士
	明石市総務部職員厚生課	睡眠で心と体のエネルギー補給	1	保健師
	川崎重工業健康保険組合	からだサポートセミナー 血糖値を上げないために	1	管理栄養士
	地方独立行政法人 神戸市民病院機構	神戸市看護職員リフレッシュ研修 プリザーブドフラワー、リフレッシュ体操	2	専門講師 トレーナー
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	1	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	知っておきたい「うまい」アルコールとの付き合い方 リラックス体操	2	管理栄養士
	兵庫県市町村職員共済組合	退職予定者セミナー 退職後の健康づくりについて	2	管理栄養士
12月	尼崎市総務局人事管理部給与課	尼崎市保育士等特別健康診断事後指導 腰痛予防教室	7	保健師
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	2	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	知っておきたい「うまい」アルコールとの付き合い方 リラックス体操	2	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	健診結果の見方・生かし方 リラックス体操	1	保健師
	神戸市職員共済組合	よりよい睡眠を得るために 安眠を誘うストレッチ	1	保健師
1月	尼崎市総務局人事管理部給与課	尼崎市保育士等特別健康診断事後指導 腰痛予防教室	6	保健師
	神戸市職員共済組合	知っておきたい「うまい」アルコールとの付き合い方 リラックス体操	2	管理栄養士
	神戸市職員共済組合	よりよい睡眠を得るために 安眠を誘うストレッチ	2	保健師
	神戸市職員共済組合	背中すっきり！ ～背中が楽になる体の使い方を学ぼう 腰痛肩こり予防体操	3	健康運動指導士
	健康保険組合連合会兵庫連合会	生活習慣病予防セミナー 講演 健康長寿のための血圧管理 講話 おいしく上手に血圧管理 ヘルシー料理試食、健康度測定	1	医師 管理栄養士 看護師 診療放射線技師 臨床検査技師
	川崎重工業健康保険組合	株式会社KCM ダイエットセミナー 3カ月後に効果が実感できるダイエット	1	管理栄養士
2月	神戸市保健福祉局健康部 健康づくり支援課 全国健康保険協会兵庫支部	こうすれば怖くない糖尿病セミナー 地域で糖尿病と仲良く付き合うには ～みんなで力を合わせて～	1	医師 管理栄養士 保健師 看護師 臨床検査技師
	神戸市環境局庶務課	腰痛防止講習会	5	健康運動指導士
	神戸市職員共済組合	知っておきたい「うまい」アルコールとの付き合い方 リラックス体操	1	管理栄養士

実施月	依 頼 先	内 容	回数	出務職種
2月	神戸市保健福祉局健康部 健康づくり支援課	健康増進事業従事者研修会 調理実習「かるしおレシピ」	1	管理栄養士
	川崎重工業健康保険組合	西神戸工場 25歳従業員研修会 25歳の今、気をつけたいこと	1	管理栄養士
	一般財団法人 神戸市老人クラブ連合会	認知症について	1	保健師
	神戸市職員共済組合	健診結果の見方・生かし方 リラックス体操	1	保健師
3月	神戸市環境局庶務課	腰痛防止講習会	1	健康運動指導士
	神戸土木建築労働組合	元気のコツは食事から ストレッチ体操	1	保健師
	神戸税関	睡眠と健康 ～よりよい睡眠を得るために～	1	保健師
	兵庫県土建一般労働組合 阪神支部	すっきり ぐっすり 熟睡のコツ ～寝ても疲れがとれないあなたへ～	1	保健師

神戸市消防局 機関紙「雪」	第96回 春と自律神経	4月号
	第97回 ボールを使ったエクササイズ	5月号
	第98回 いま注目の栄養素 リコピン	6月号
	第99回 青竹で足裏エクササイズ	7月号
	第100回 体温	8月号
	第101回 いま注目の栄養素 ルテイン	9月号
	第102回 ラジオ体操	10月号
	第103回 心の健康	11月号
	第104回 いま注目の栄養素 ムチン	12月号
	第105回 手指の体操	1月号
	第106回 思考のパターンを知る	2月号
	第107回 いま注目の栄養素 食物繊維	3月号
CO-OPステーション	40歳からの、健康学 第56回年末年始の健康管理	1月号

V 沿革・概要

1. 沿革

昭和46年4月 予防医学事業推進のため神戸市医師会と神戸市衛生局が協議、渡邊一九 志賀一清 青井立夫 石垣四郎 鹿野昭二 前島健治らが発起人となり「兵庫予防医学協会」を設立
事務所を神戸市生田区加納町1丁目5神戸市衛生研究所内に置く
会長 渡邊一九就任

6月 児童・生徒の寄生虫卵検査開始

9月 「兵庫県予防医学協会」と変更
財団法人予防医学事業中央会及び財団法人日本寄生虫予防会の兵庫県支部となる
灘神戸生活協同組合 組合員健診開始
児童・生徒の尿検査開始

11月 予防医学講演会開催

昭和47年4月 事務所を神戸市東灘区御影本町6丁目5-2に移転

5月 診療所開設、健診・検査開始

7月 事業所の定期健診、特殊健診開始

11月 神戸市胃部X線車による、胃がん検診開始

12月 「神戸市子宮がん細胞診センター」業務開始

昭和48年6月 「財団法人兵庫県予防医学協会」設立
基本財産 1,200万円
出捐は 兵 庫 県 300万円
神 戸 市 500万円
灘神戸生活協同組合 100万円
渡邊元会長 100万円
兵庫県予防医学協会 200万円

7月 機関誌「あすの健康」第1号発行
法人設立記念講演会として「健康を守る婦人大会」を開催

9月 登録衛生検査所となる

10月 灘神戸生活協同組合より健診車・X線車生協すこやか号の寄贈を受ける

11月 社団法人全国労働衛生団体連合会加入

昭和49年4月 循環器検診、住民健診、予防接種開始

8月 灘神戸生活協同組合 各店舗事務所基準環境測定開始
灘神戸生活協同組合従業員健診開始

昭和50年10月 健康保険法 保険医療機関となる

昭和51年5月 創立5周年記念「健康をめざす婦人大会」開催
基本財産を増額し、1,500万円となる
第1回予防医学講座開催

9月 灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか3号の寄贈を受ける

11月 第2回予防医学講座開催

12月 国民健康保険被保険者対象 胃検診開始

昭和52年6月 第3回予防医学講座開催

7月 細菌検査部門開設

10月 中央労働災害防止協会 中小企業労働者特殊健康診断機関となる

12月 兵庫労働基準局作業環境（測定粉じん）測定登録機関となる

昭和53年4月 葺合区仮施設へ移転

8月 新館建設計画
資金
日本船舶振興会 7,020万円
兵庫県 1,500万円
神戸市 2,000万円
借入金 22,000万円
自己資金 3,380万円
計35,900万円

鉄筋コンクリート5階建
敷地面積 654㎡
(神戸市より借地)
建築面積 443.82㎡
建築床面積 2,117.5㎡

昭和54年1月 厚生大臣指定 簡易専用水道検査機関となる

3月 厚生大臣指定 空気環境測定・飲料水の水質検査機関となる

4月 新館竣工

5月 中央労働災害防止協会 中小企業労働者健康管理事業助成制度
「じん肺・石綿・クロム・鉛」に係る健康診断機関となる

7月 婦人科検診開始
喀痰細胞診開始
胃部精密検査開始

10月 成人病総合健診『人間ドック』開始

11月	間接断層X線撮影装置による肺がん検診開始 肺がんをなくす会発足	昭和62年4月	ビル管法適用施設について簡易専用水道検査開始 レジオネラ属菌検査開始
昭和55年2月	予防医学事業推進近畿・北陸・東海地区検査室会議開催	9月	保健環境検査センター東灘区田中町へ移転 登録衛生検査所再登録
4月	脊柱検診開始 消化器内視鏡検査開始 公益法人会計基準による会計に移行	11月	予防医学事業推進近畿・東海・北陸地区会議開催
5月	渡邊会長、吉田哲夫医師叙勲受章	昭和63年2月	予防医学事業中央会全国業務研修会開催
6月	作業環境測定に「有機溶剤・金属・特定化学物質」を追加	4月	ホロンピア'88「新しい健康福祉づくり展」参加
8月	脊柱検診専門委員会発足 予防医学事業推進全国大会において、渡邊会長が感謝状を受ける	5月	神戸新聞奨励賞受賞
		7月	政府管掌健康保険成人病予防健診機関となる
昭和58年1月	学校腎臓専門委員会設置	平成元年3月	基本財産を増額し1億円となる 出捐は
4月	健康指導室新設		兵庫県 300万円
8月	神戸市長より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける		神戸市 3,400万円
			灘神戸生活協同組合 670万円
昭和59年1月	日本船舶振興会補助事業 胃部X線検診車すこやか22号完成		渡邊元会長 100万円
3月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか7号の寄贈を受ける		兵庫県予防医学協会 5,530万円
5月	厚生大臣指定 食品検査機関となる 保健環境検査センターを開設し環境化学分析、細胞診等の検体検査部門を統合	9月	フェスピック神戸大会組織委より大会への貢献に対し、感謝状を受ける
7月	全国飲用牛乳取引協議会指定検査機関となる	10月	労働安全衛生法改正により特殊健診に尿代謝物・血中鉛等の生体試料検査追加、定期健診に心電図・聴力検査・血液検査追加
昭和60年3月	骨粗鬆症検診MD法により、全国に先駆け、検診を開始	平成2年4月	健康ライフプラザ準備室開設
4月	学校心臓検診「心音心電図検査」開始	8月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車すこやか19号完成
8月	灘神戸生活協同組合より胸部X線車すこやか9号の寄贈を受ける	12月	予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催
9月	神戸市長よりユニバーシアード神戸大会への貢献に対し、感謝状を受ける	平成3年5月	会長 青井立夫 名誉会長 渡邊一九 就任
10月	予防医学事業推進全国大会開催	6月	創立20周年感謝の集い開催
昭和61年5月	中央労働災害防止協会 中小企業共同安全衛生改善事業助成制度に係る作業環境測定機関となる	7月	生活協同組合コープこうべよりDXA車すこやか20号の寄贈を受ける
6月	全国労働衛生団体連合会 鉛検査機関となる	9月	DXA車による骨量測定開始
9月	日本自転車振興会補助事業 胸部X線車すこやか12号完成	10月	THP推進委員会設置
10月	VDT検診開始	平成4年1月	予防医学事業中央会 全国生理機能検査研修会開催
		10月	予防医学事業推進全国大会において、青井会長が感謝状を受ける
		11月	日本自転車振興会補助事業 肺がん検診車すこやか10号完成

	神戸市大腸がん検診開始	平成9年4月	一泊二日ドック開始
12月	天長島村酒造株式会社と事務所棟建設のため1,490.08㎡の借地契約締結	8月	日本自転車振興会補助事業 胸部検診車2号完成
平成5年6月	中央労働災害防止協会 労働者健康保持増進サービス機関となる	平成10年2月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ開業に伴う受託事業開始
9月	事務所棟竣工 建築面積 477.15㎡ 建築床面積 1,249.15㎡	3月	磁気共鳴診断装置（MRI）設置
12月	厚生大臣指定水質検査指定機関となる	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザの業務全面開始 産業保健専門委員会設置
平成6年1月	予防医学技術研究会学術賞「児玉賞」受賞 「1次検診におけるランニング運動付加心電図検査」	5月	計量証明事業（濃度）開始
2月	高速らせん型CT装置設置	7月	全衛連近畿地方協議会第1回開催
7月	神戸市より医学振興への貢献に対し、感謝状を受ける 兵庫県指定水質検査機関となる	9月	日本総合健診医学会 優良総合健診施設に認定される
8月	公益事業「元気な骨をつくるキャンペーン」を実施	平成11年1月	予防医学技術研究会学術賞「児玉賞」受賞 「水におけるクリプトスポリジウム検出法の検討」
10月	日中医療技術協力に参加	2月	全衛連近畿地方協議会第2回開催
平成7年1月	阪神・淡路大震災発生 保健環境検査センター全壊 第29回予防医学事業技術研究会中止 出張健診再開	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ1泊2日ドック開始
2月	外来健診再開 総合健診再開保健環境検査センター代替施設建設決定	7月	全衛連近畿地方協議会第3回開催
4月	中央労働災害防止協会 中小企業安全衛生活動促進事業助成制度による 健康診断および作業環境測定機関となる	9月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ政府管掌健康保険生活習慣病予防健診実施機関に認定される
11月	保健環境検査センター竣工 建築面積 300.76㎡ 建築床面積 837.72㎡	11月	社団法人日本作業環境測定協会より作業環境管理への尽力に対し、感謝状を受ける 労働衛生評価機構より評価基準達成の認定
12月	社会保険庁より政府管掌健康保険および厚生年金事業発展への功績に対し、青井会長が表彰状を受ける	平成12年2月	全国労働衛生団体連合会近畿地方協議会第4回開催
平成8年2月	保健環境検査センターの業務全面開始 登録衛生検査所再登録	7月	健診センター、労働者災害補償保険法の規定による療養の給付をおこなう診療所（労働者災害補償保険指定医療機関）に指定 神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー100回を迎える
5月	厚生大臣指定食品検査機関となる	9月	生化学自動分析装置（日立7600-110）導入 自動血球分析装置（SysmexSE9000）導入
12月	日本自転車振興会補助事業 自動血球計数装置設置 予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催	11月	得意先向健診データ管理支援システム「Life-Net」完成 健康ライフプラザ 日本総合健診医学会優良総合健診施設に認定される
		平成13年1月	予防医学技術研究会学術賞「児玉賞」受賞 「超音波による骨量測定の基準値について」

4月	頸動脈超音波装置（GE横河メディカル社 VIVID 3）導入	4月	睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査開始
5月	当協会創立30周年記念講演会を神戸新聞松方ホールにて開催 同時に記念出版として健康ライフプラザ土曜健康科学セミナーの100回分をまとめた『21世紀の「生命」を考える－これからの健康科学～岡田安弘編著・金芳堂』を発行	5月	兵庫県予防医学協会 灘分室開設
6月	労働者災害補償保険（労災保険）二次健診等給付指定医療機関となる	11月	第49回予防医学事業推進全国大会を神戸で開催
平成14年1月	第36回予防医学技術研究集会「神戸からの発信－予知の医学をめざして－」を兵庫・神戸で開催	平成17年3月	胸部X線車すこやか14号完成 X線骨密度測定装置（DXA：米国HOLOGIC社）導入
2月	中央労働災害防止協会機器整備補助事業X線装置（DHF-153HⅡ）を導入	4月	緑内障スクリーニング検診開始
3月	神経芽細胞腫検査専用機（東ソ－LC-726VMAⅢ）導入	6月	NPO法人 J-POSH寄贈 乳がん検診車すこやか55号完成
4月	財団法人先端医療振興財団 先端医療センターと提携し、人間ドックのオプションとしてPET検診開始	平成18年1月	予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催
7月	日本財団補助事業 胸部X線車すこやか12号完成	3月	保健環境センター ISO9001（JISQ9001：2000）認証取得
8月	胸部X線車すこやか13号完成	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ指定管理制度により受託
9月	全自動糖分析装置（シノテストGlucoroder MAX）導入	9月	日本自転車振興会 補助事業 胃部X線検診車すこやか21号車完成
11月	財団法人日本公衆衛生協会 第6回地域保健全国大会（富山県）において、平成14年度公衆衛生事業功労者表彰団体表彰を受ける	10月	便中ヘリコバクターピロリ菌抗原検査開始
12月	高速自動遠心分離機（ABBOTT）導入	平成19年2月	プライバシーマーク認証取得
平成15年2月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザレディースドック開始 HbA1c分析装置（東ソ－HLC-723G7）導入	3月	KEMSこうべ環境マネジメントシステム（ステップ1）認証取得
3月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー200回を迎える	5月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー300回を迎える 会長 近藤武久 名誉会長 青井立夫 就任
4月	神戸市住民健診事業の全面委託を受ける 自動免疫測定装置（富士レビオLUMIPULSE）導入	7月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ、トレーニングジム利用者100万人達成
7月	生化学自動分析装置（日立7700）導入	10月	特定健診・特定保健指導事業推進本部の設置
11月	自動免疫測定装置（ABBOTT ARCHITECT i2000SR）導入	平成20年3月	ノロウイルス検査（リアルタイムRT-PCR法＝遺伝子検出）開始 灘区岩屋北町の土地（新館建設予定地）のJR西日本株式会社との取得・処分実施
平成16年1月	胸部X線車すこやか3号、胃部X線車すこやか27号完成	4月	神戸市住民健診から特定健診・特定保健指導制度に移行
3月	細隙灯顕微鏡導入	平成21年3月	胸部撮影用デジタルX線検診車すこやか15号完成 高性能HbA1c分析装置（DM-JACK Ex）導入
		平成22年1月	マルチスライスCT装置（日立社ECLOS）設置
		4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ指定管理制度により受託（第2期）

6月	生化学自動分析装置（日本電子BM8020）導入	号完成	
	採血管準備システム（テクノメディカBC・ROBO-888）導入	上部消化管汎用スコープ（オリンパスGIF-PQ260）導入	
7月	自動血球装置（シスメックスXT188i）導入	4月	公益財団法人へ移行
	X線骨密度測定装置（HOLOGIC ExplorerC）導入	11月	新館竣工
8月	会長 松村陽右 就任		建築面積 1,697.74㎡
			建築床面積 6,970.54㎡
平成23年1月	財団法人JKA補助事業 胸部デジタルX線検診車すこやか17号完成		デジタル胸部X線撮影（日立メディコDHF-155H4、キャノンFPD-CXDI）設置
2月	予防医学技術研究会議開催を神戸で開催	12月	健診センター 診療所開設
3月	子宮がん細胞診液状検体処理装置（BDプレップステインフルセット）導入	平成26年1月	健診センター落成
	印刷機（富士ゼロックス 700Dijital Color Press）導入		保険医療機関指定
7月	基本財産を増額し255,979千円となる		協会けんぽ健診実施機関指定
	出捐は		御影健診センター改修工事開始
	兵庫県 3,000千円	3月	1.5T磁気共鳴断層撮影装置（シーメンス・ジャパンMAGNETOM ESSENZA A Tim+Dot System）設置
	神戸市 34,000千円	4月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ指定管理制度により、(株)オーグスポーツ、(株)日立ビルシステムとの共同体で受託（第3期）
	生活協同組合コープこうべ 6,700千円		要介護予防事業の一環として、「頭にいいラジオ」（ラジオ関西）放送開始
	渡邊一九 前名誉会長 1,000千円	5月	上部消化管汎用スコープ（オリンパスGIF-PQ260）導入
	兵庫県予防医学協会 211,279千円	6月	御影健診センター竣工
8月	ガスクロマトグラフ（GC-2010PlusAF）導入		建築面積 443.88㎡
10月	神戸市健康づくりセンター健康ライフプラザ土曜健康科学セミナー400回を迎える		建築床面積 2,033.95㎡
12月	便潜血自動免疫化学分析装置（DIANA）導入	8月	内視鏡ビデオシステム（EVIS-LUCERA ELITE）導入
平成24年2月	胸部X線撮影デジタルシステム導入	9月	いきいきライフドック開始
3月	胸部デジタルX線検診車すこやか18号完成	12月	予防医学事業推進 近畿・東海・北陸地区会議開催
6月	上部消化管内視鏡検査システム（オリンパス EVIS LUCERA CV-260）、上部消化管汎用ビデオスコープ（オリンパスGIF-PQ260）導入		旧2、3号館の借地を返還
	胸部デジタルX線検診車すこやか12号、14号完成	平成27年3月	胃部デジタルX線検診車すこやか24号完成
8月	神戸市灘区岩屋北町に、新館建設着工		胸部デジタルX線検診車すこやか1号完成
	鉄筋コンクリート5階建		全自動免疫測定装置（シスメックス HISCL-5000）導入
	敷地面積 4,429.91㎡		
	建築面積 1,697.74㎡		
	建築床面積 6,970.54㎡		
12月	会長 南部征喜 就任		
平成25年3月	デジタル胃部X線撮影装置（東芝Raffine DREX-RF50101）設置		
	胸部デジタルX線検診車すこやか19号完成		
	胃部デジタルX線検診車すこやか23号、27		

2. 施設概要

健診センター

所在地		神戸市灘区岩屋北町1丁目8-1
敷地面積		4,429.91㎡
建物	構造	鉄筋コンクリート、5階建
	建築面積	1,697.74㎡
	延床面積	6,970.54㎡

御影健診センター

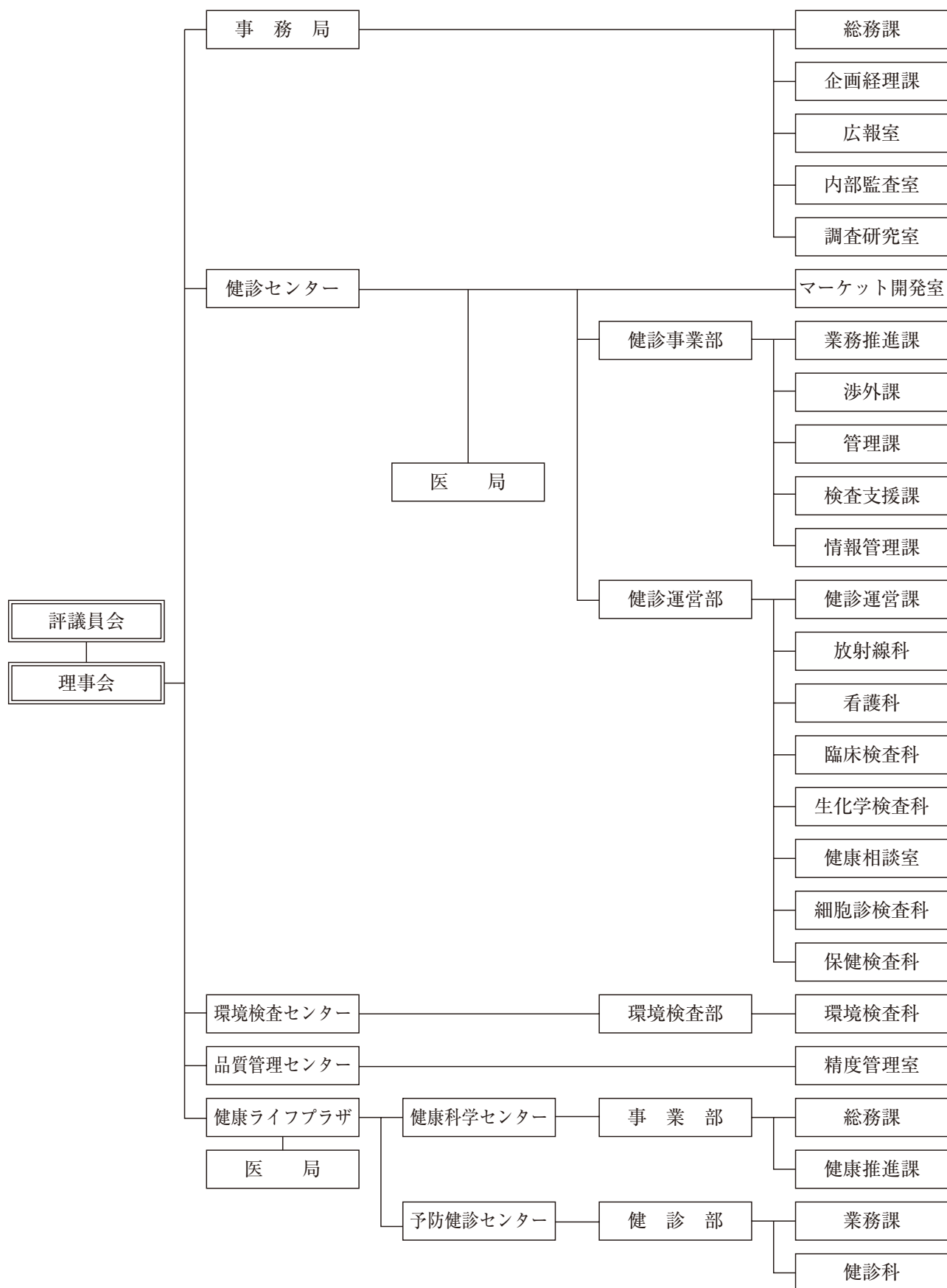
所在地		神戸市東灘区御影本町6丁目5-2
敷地面積		652.50㎡
建物	構造	鉄筋コンクリート、6階建
	建築面積	443.88㎡
	延床面積	2,033.95㎡

神戸市健康づくりセンター 健康ライフプラザ

所在地		神戸市兵庫区駅南通5丁目1番2-300号
敷地面積		8,099.95㎡
建物	構造	鉄筋コンクリート
	建築面積	4,878.06㎡
	延床面積	6,771.43㎡

3. 組織図

平成27年5月31日現在



4. 名簿

(1) 役員名簿

平成27年5月31日現在

役 職	氏 名	公 職 等	備 考
会 長	南 部 征 喜		
副 会 長	西 田 芳 矢		
〃	楨 村 博 之	一般社団法人神戸市医師会副会長	
常務理事	岡 秀 次		
〃	西 尾 利 一		
〃	安 田 敏 成		
理 事	岡 田 泰 長	一般社団法人神戸市医師会副会長	
〃	木 田 克 也	生活協同組合コープこうべ常務理事	
〃	田 中 良 樹	一般社団法人兵庫県医師会常任理事	
〃	池 窪 勝 治		
〃	石 原 享 介		
〃	泉 佳 延		
監 事	尾 崎 一 夫	尾崎会計事務所 税理士	
〃	中 嶋 徹	中嶋法律事務所 弁護士	

合計14名（理事12名 監事2名）

[任 期]

理 事 平成25年4月1日から平成27年6月定時評議員会の終結時まで

（石原理事：平成27年4月1日から平成28年6月定時評議員会の終結時まで）

監 事 平成25年4月1日から平成29年6月定時評議員会の終結時まで

(2) 評議員名簿

(五十音順)

平成27年5月31日現在

氏 名	公 職 等	備 考
岡 田 弘三郎	一般社団法人兵庫県医師会参与	
置 塩 隆	一般社団法人神戸市医師会 会長	
渋谷 和 久	株式会社神戸新聞社 地域活動局長	
太 城 力 良	学校法人兵庫医科大学副理事長	
野 原 秀 晃	兵庫県健康福祉部健康局長	
深 谷 隆	一般財団法人神戸市地域医療振興財団 理事長 兼 西神戸医療センター院長	
藤 澤 正 人	神戸大学医学部附属病院長	
細 谷 亮	神戸市立医療センター中央市民病院副院長	
三 木 孝	神戸市保健福祉局長	
水 谷 隆 志	生活協同組合コープこうべ健康管理室統括部長	

合計10名

[任 期] 平成25年4月1日から平成29年6月の定時評議員会の終結時まで

(3) 顧問・名誉会長名簿

平成27年5月31日現在

役 職	氏 名	公 職 等
顧 問	井 戸 敏 三	兵庫県知事
〃	久 元 喜 造	神戸市長
〃	川 島 龍 一	一般社団法人兵庫県医師会会長
〃	高 士 薫	株式会社神戸新聞社代表取締役社長
〃	石 垣 四 郎	元公益財団法人兵庫県予防医学協会副会長
〃	藤 田 拓 男	神戸大学名誉教授
〃	河 野 通 雄	神戸大学名誉教授
〃	住 野 公 昭	神戸大学名誉教授
〃	中 村 肇	神戸大学名誉教授
〃	野 田 起一郎	近畿大学名誉学長
〃	多田羅 浩 三	大阪大学名誉教授
〃	松 村 陽 右	前公益財団法人兵庫県予防医学協会会長
〃	柴 谷 昭 治	元公益財団法人兵庫県予防医学協会副会長
〃	森 脇 潤	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会理事
〃	岡 田 安 弘	神戸大学名誉教授

役 職	氏 名	公 職 等
名誉会長	青 井 立 夫	元公益財団法人兵庫県予防医学協会会長

5. 有資格者一覧

平成27年5月31日現在

医師	14名	細胞検査士	5名
保健師	5名	超音波検査士	2名
看護師	16名	マンモグラフィ検診認定技師	3名
管理栄養士	4名	胃がん検診専門技師	8名
臨床検査技師	42名	消化器内視鏡技師	7名
診療放射線技師	14名	選別聴力検査員	6名
環境計量士	3名	簡易専用水道検査員	18名
作業環境測定士（第一種）	3名	健康運動指導士	2名
衛生管理者	31名	労働衛生コンサルタント	2名
産業医	7名		

平成26年度 事業年報

第32号

平成27年 5 月31日 発行

発行人 南 部 征 喜

編集人 東 塚 伸 一
事業年報編集委員会

発行所 公益財団法人 兵庫県予防医学協会
〒657-0846 神戸市灘区岩屋北町1-8-1
電話 078(855)2716

印刷所 水山産業株式会社

